投映型フルカラープロジェクタ

NEC

ViewLight® ビューライト VT770J

取扱説明書

本機を安全にお使いいただくために
ご使用の前に必ずお読みください

1. 添付品や名称を確認する 1
2. 設置と接続 2
3. 映像を投写する（基本操作） 3
4. 便利な機能 4
5. ビューワを使う 5
6. Dynamic Image Utilityを使う 6
7. オンスクリーンメニュー 7
8. 本体のお手入れ／ランプの交換 8
9. 付録 9

はじめに

このたびは、NEC 投映型フルカラープロジェクタVT770J（以降「VT770J本体」を「本機」と呼びます）をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
本製品は、NEC PC98-NXシリーズやDOS/V対応機（IBM PC/AT互換機）、Apple Macintoshなどに接続して、文字や図形をスクリーンに鮮明に投映するプロジェクタです。
本機を安全に正しく使用していただくため、ご使用の前に、この取扱説明書（本書）をよくお読みください。取扱説明書は、いつでも見られる所に大切に保存してください。万一ご使用中にわからないことや不具合が生じたときにお読みください。
本製品には「保証書」を添付しています。保証書は、お買い上げの販売店から必ずお受け取りのうえ、取扱説明書とともに、大切に保存してください。
本機は、日本国内向けモデルです。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。
この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

・ViewLight、ビューライト、AccuBlend、SQUARE SHOTは、NECビューテクノロジー株式会社の登録商標です。
・IBM、PC/ATは、米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
・Macintosh、PowerBookは、米国Apple Computer, Inc.の商標です。
・Microsoft、Windows、PowerPointは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
・その他取扱説明書に記載のメーカー名および商品名は、各社の登録商標または商標です。

ご注意

（1）本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
（2）本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
（3）本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことがありましたらご連絡ください。
（4）本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、当社では（3）項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本機を安全にお使いいただくために、ご使用の前に必ずお読みください

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡や大けがをするなど人身事故の原因となります。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり周囲の家財に損害をあたえたりすることがあります。

絵表示の例

	⚠記号は注意（警告を含む）をうながすことを表しています。 図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⃠記号はしてはいけないことを表しています。 図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	● 記号はしなければならないことを表しています。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠警告

本機は日本国内専用です

国内では交流100ボルト以外使用禁止

● 日本国内で使用する場合は交流100ボルトで使用してください。
添付の電源コードは国内使用専用です。
日本国外で本機を使用する場合は、電源コードの仕様を確認してください。使用する国の規格・電源電圧に適合した電源コードを使用すれば、海外でも使用可能です。電源コードは必ず使用する国の規格・電源電圧に適合したものを使ってください。
詳細に関してはNECプロジェクタ・カスタマサポートセンターまでお問い合わせください。

電源コードの取り扱いは大切に

● 電源コードは大切に取り扱ってください。コードが破損すると、火災・感電の原因となります。
- 添付されているもの以外の電源コードは使用しない
- コードの上に重い物をのせない
- コードをプロジェクタの下敷きにしない
- コードの上を敷物などで覆わない
- コードを傷つけない、加工しない
- コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
- コードを加熱しない

電源コードが傷んだら（芯線の露出・断線など）販売店に交換をご依頼ください。

故障したときは電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜く

● 煙が出ている、変なにおいや音がする場合やプロジェクタを落したり、キャビネットを破損した場合は、本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となります。販売店へ修理をご依頼ください。

水場や水にぬれるような所には置かない

水ぬれ禁止

● 次のような水にぬれるようなおそれがある所では使用しないでください。またプロジェクタの上に水の入った容器を置かないでください。火災・感電の原因となります。
- 雨天や降雪中、海岸や水辺で使用しない
- 風呂やシャワー室で使用しない
- プロジェクタの上に花びん、植木鉢を置かない
- プロジェクタの上にコップ、化粧品、薬品を置かない

万一プロジェクタの内部に水などが入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

次のような所では使用しない

● 次のような所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- ぐらついた台の上、傾いた所など、不安定な場所
- 暖房の近くや振動の多い所
- 湿気やほこりの多い場所
- 油煙や湯気の当たるような場所
- 調理台や加湿器のそば

警告

内部に物を入れない

異物挿入禁止

- プロジェクタの通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落し込んだりしないでください。
  火災・感電の原因となります。特にお子様のいる家庭ではご注意ください。
  万一異物がプロジェクタ内部に入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

キャビネットは絶対にあけない

分解禁止

- プロジェクタのキャビネットを外したり、あけたりしないでください。
  また改造しないでください。火災・感電の原因となります。
  内部の点検・調整・修理は販売店にご相談ください。

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

- 雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れないでください。
  感電の原因となります。

プロジェクタのレンズをのぞかない

レンズをのぞかない

- プロジェクタのレンズをのぞかないでください。
  動作中は強い光が投写されていますので、目を痛める原因となります。特にお子様にはご注意ください。

ランプ交換は電源を切ってから

電源プラグをコンセントから抜く

- ランプの交換は、電源を切り約10秒間待って、冷却ファン停止後、電源プラグをコンセントから抜き、約60分おいてから行ってください。
  動作中や停止直後にランプを交換すると高温のため、やけどの原因となります。
  詳細は127ページをご覧ください。

天吊りの設置について

- 天吊りなどの特別な工事が必要な設置については販売店にご相談ください。お客様による設置は絶対におやめください。落下してけがの原因となります。

⚠注意

ぬれた手で電源プラグに触れない

ぬれた手は危険

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

通風孔をふさがない

- プロジェクタの通風孔をふさがないでください。またプロジェクタの下に紙や布などの柔らかい物を置かないでください。
  火災の原因となることがあります。
  プロジェクタを設置する場所は周囲から適当な空間（目安として10cm以上）あけてください。

動作中にレンズキャップをしない

- 動作中にレンズにふたをしないでください。ふたの部分が高温になり溶けることがあります。
- 動作中にレンズの前に金魚鉢、凸レンズ（虫眼鏡）などを置かないでください。火災の原因となることがあります。

移動するときは電源コードを抜く

電源プラグをコンセントから抜く

- 移動させる場合は、電源を切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続ケーブルを外したことを確認のうえ、行ってください。

持ち運びのときレンズ部分に手をかけない

- プロジェクタを持ち運ぶとき、レンズ部分に手をかけないでください。
  フォーカスリングが回転して指をけがするおそれがあります。

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜く

- 長期間、プロジェクタをご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

お手入れの際は電源コードを抜く

電源プラグをコンセントから抜く

- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

投写中は排気口に触らない

- 投写中および投写終了直後は、排気口付近を触らないでください。排気口付近が高温になる場合があり、やけどの原因となることがあります。

⚠注意

キャリングケースの取り扱いについて

無理な扱いはしない

- プロジェクタを入れて振り回さないでください。また、本機および本機の添付品以外は入れないでください。
  プロジェクタやキャリングケースが落下して、けがの原因となることがあります。

電池の取り扱いについて

- 電池の取り扱いには注意してください。火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
  - ・電池をショート、分解、火に入れたりしない
  - ・指定以外の電池は使用しない
  - ・新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
  - ・電池を入れるときは、極性(＋と－の向き)に注意し、表示通りに入れる

点検・工事について

内部の掃除を販売店で

- 1年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。プロジェクタの内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
  特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部の掃除費用につきましては販売店などにご相談ください。

お願い

性能確保のため、次の点にご留意ください

- 振動や衝撃が加わる場所への設置は避けてください。
  動力源などの振動が伝わる所に設置したり、車両、船舶などに搭載すると、本機に振動や衝撃が加わって内部の部品がいたみ、故障の原因となります。
  振動や衝撃の加わらない場所に設置してください。
- 高圧電線や動力源の近くに設置しないでください。
  高圧電線、動力源の近くに設置すると、妨害を受ける場合があります。
- たばこの煙の多い場所での使用・長時間の使用
  - たばこの煙・ほこりの多い場所で使用する場合、または長時間連続して（5時間／日かつ260日／年を超えて）使用する場合は、あらかじめ当社にご相談ください。
  - 本機を長時間にわたり連続して使用される場合は、「ファンモード」を「高速」にしてください。（ 115ページ）
  - パソコンなどで同じ絵柄の静止画を長時間投写すると、その絵柄が画面に若干残りますが、しばらくすると消えます。これは液晶パネルの特性上発生するもので、故障ではありません。パソコン側でスクリーンセーバーをお使いになることをおすすめします。
- スクリーンへの外光対策をしてください。
  スクリーンには、照明など本機以外からの光が入らないようにしてください。
  外光が入らないほど、ハイコントラストで美しい映像が見られます。
- スクリーンについて
  ご使用のスクリーンに汚れ、傷、変色などが発生すると、きれいな映像が見られません。
  スクリーンに揮発性のものをかけたり、傷や汚れが付かないよう取り扱いにご注意ください。
- 持ち運びについて
  添付のソフトキャリングケースに収納して運んでください。その際は
  ・レンズに傷が付かないように必ずレンズキャップを取り付けてください。
  ・振り回したりして、プロジェクタ本体に強い衝撃を与えないでください。
  ・宅配便や貨物輸送はしないでください。
  プロジェクタの故障の原因となります。
- 投写レンズ面は素手でさわらないでください。
  投写レンズ面に指紋や汚れが付くと、拡大されてスクリーンに映りますので、レンズ面には手をふれないでください。
  また、本機を使用されないときは、添付のレンズキャップをかぶせておいてください。
- 廃棄について
  本体廃棄の際は、お買い上げの販売店、または自治体にお問い合わせください。

ランプ取り扱い上の注意

- プロジェクタの光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。
  ランプは、衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などにより、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となることがあります。また、ランプが破裂や不点灯に至るまでの時間、条件には、ランプの個体差や使用条件によって差があり、本取扱説明書に記してある指定の使用時間内であっても、破裂または不点灯状態に至ることがあります。
  なお、指定の使用時間を超えてお使いになった場合は、ランプが破裂する可能性が高くなりますので、ランプ交換の指示が出た場合には、すみやかに新しいランプに交換してください。
- ランプ破裂時には、ランプハウス内にガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部に含まれるガスがプロジェクタの通風孔から排出されることがあります。ランプ内部に使用されているガスには水銀が含まれていますので、破裂した場合は窓や扉をあけるなど十分に換気を行ってください。ガスを吸い込んだり、目に入ったりした場合には、すみやかに医師にご相談ください。
- ランプが破裂した場合には、プロジェクタ内部にガラスの破片が散乱している可能性があります。プロジェクタ内部の清掃、ランプの交換その他の修理について、必ずNECプロジェクタ･カスタマサポートセンターまたは販売店に依頼し、お客様ご自身でプロジェクタ内部の清掃、ランプ交換を行わないでください。

電源プラグを抜く際の注意

以下のような場合は電源プラグをコンセントから絶対に抜かないでください。
機器が故障するおそれがあります。

- 砂時計アイコンが表示されているとき
- 電源を切ったあとのファンの回転中（ファンは約10秒間回転します）

目次

はじめに 2
本機を安全にお使いいただくために、ご使用の前に必ずお読みください 3
お願い 8
目次 10
本書の表記について 12

1. 添付品や名称を確認する 13

1-1. 特長 14
1-2. 添付品の確認 15
1-3. 本体各部の名称 16
1-4. リモコン各部の名称 20

2. 設置と接続 23

2-1. 設置と接続の流れ 24
2-2. スクリーンとプロジェクタを設置する 25
2-3. パソコンと接続する 26
2-4. RGBモニタと接続する 27
2-5. DVDプレーヤなどのAV機器と接続する 28
2-6. 書画カメラと接続する 30
2-7. 電源コードを接続する 31

3. 映像を投写する（基本操作） 33

3-1. 映像を投写する流れ 34
3-2. 本機の電源を入れる 35
3-3. 入力信号を選択する 37
3-4. 投写画面の位置と大きさを調整する 39
3-5. 台形歪みを調整する 42
3-6. 映像を自動調整する 44
3-7. 本機の音量を調整する 44
3-8. 本機の電源を切る 45
3-9. あとかたづけ 46

4. 便利な機能 47

4-1. 「プロジェクタモード」と「パソコンモード」の切り替え 48
4-2. 映像と音声を消去する 49
4-3. 動画を静止画にする 49
4-4. ポインタを表示／非表示／移動する 50
4-5. 映像を拡大する 51
4-6. 本機の操作説明を投写する 52
4-7. 市販のUSBマウスを使って操作する 53
4-8. 本機のリモコンでパソコンのマウス操作を行う 54
4-9. 台形歪みを調整する（4点補正） 56
4-10. 投写画面に文字や図形を描く（チョークボード） 58
4-11. 本機で投写している画像を保存する（キャプチャ） 60
4-12. セキュリティを設定して無断使用を防止する 62
4-13. USBメモリ、およびUSBメモリカードリーダーを使用する 67

5. ビューワを使う 69

5-1. ビューワでできること 70
5-2. フラッシュメモリカードへデータを保存する 71
5-3. フラッシュメモリカードを本機にセットする 71
5-4. フラッシュメモリカードのデータを映す（ビューワ） 73

6. Dynamic Image Utilityを使う 79

6-1. ソフトウェア使用許諾契約 80
6-2. ソフトウェアの概要／動作環境 81
6-3. 機器の接続 83
6-4. ソフトウェアのインストール 84
6-5. ソフトウェアの起動／終了 86
6-6. トラブルシューティング 88

7. オンスクリーンメニュー 89

7-1. オンスクリーンメニューの基本操作 90
7-2. オンスクリーンメニュー一覧 95
7-3. 調整 97
7-4. 画像 102
7-5. セットアップ 105
7-6. 情報 117
7-7. リセット 118
7-8. 信号リスト 119

8. 本体のお手入れ／ランプの交換 123

8-1. フィルタの清掃 124
8-2. レンズの清掃 125
8-3. キャビネットの清掃 126
8-4. ランプとフィルタの交換 127

9. 付録 133

故障かな？と思ったら 134
インジケータ表示一覧 137
投写距離とスクリーンサイズ 139
対応解像度一覧 141
外観図 142
関連商品一覧 143
コンピュータ1, 2映像入力端子のピン配列と信号名 143
仕様 144
トラブルチェックシート 145
保証と修理サービス（必ずお読みください） 147
海外でご使用になる場合：トラベルケアのご紹介 148
索引 155
ビューライトクラブのご案内 158

本書の表記について

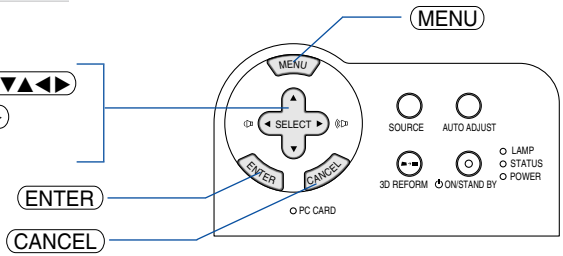
マークの意味

重要	データが消えたり、もとに戻せない操作など、十分に注意していただきたいことを表しています。
注意	注意や制限事項を表しています。
参考	補足説明や役立つ情報を表しています。
	本書内の参照ページを表しています。

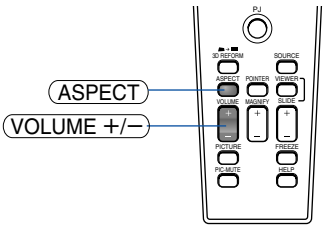
操作ボタンの表記例

●本体の操作ボタン

上下左右の場合：(SELECT ▼▲◀▶)
左右の場合：(SELECT ◀/▶)
下の場合：(SELECT ▼)



●リモコンの操作ボタン



メニュー項目の表記例

[映像]

参考 ●本書に載せている表示画面は、実際と多少異なる場合があります。

第1章

添付品や名称を確認する

1-1. 特長 …… 14

1-2. 添付品の確認 …… 15

1-3. 本体各部の名称 …… 16

1-4. リモコン各部の名称 …… 20

1-1. 特長

● 液晶方式の小型高輝度プロジェクタ
液晶方式を採用し、小型で、高輝度を実現しました。

● クイックスタート（15秒）& クイッククーリング（10秒）
パワーオンからわずか15秒で映像が表示され始めます。
また、パワーオフ操作後、わずか10秒でクーリングが終了するため、すぐにかたづけることができます。

● アドバンスド･アキュブレンド機能によりU-XGAまでの解像度に対応
XGA（1024×768ドット）にフル対応、NEC独自のアドバンスド・アキュブレンド機能によりU-XGA（1600×1200ドット）の入力信号までカバー。

● 自動台形補正とスクエアショットにより、プロジェクタの設置範囲が拡大
本機の上下方向の傾きを感知し、投写した画面が台形に歪むのを自動的に補正します（自動台形補正）。さらに、斜め横から投写したときの台形歪みも補正（スクエアショット）でき、プロジェクタの設置範囲が拡大します。

● 壁色補正
投写している壁面の色に応じて、見やすい色合いにワンタッチで補正することができます（壁色補正機能）。
これにより、スクリーンが設置されていないところでも、見やすい映像を投写することができます。

● 豊富な入力端子、ステレオスピーカ内蔵
コンピュータ2系統（ミニD-Sub15ピン）、コンポーネント、ビデオ、S-ビデオ、音声など、豊富な入力端子を装備しています。また、モニタ出力端子（ミニD-Sub15ピン）、音声出力端子も装備しています。
さらに、5ワット＋5ワットのステレオスピーカを内蔵しており、高画質、高音質な視聴が行えます。

● 特定色を調整&記憶できる、プリセット機能
プレゼンテーションや映画など、映像ソースに応じた映像補正機能を搭載。5つの映像モードから選択できます。また、お客様が調整した状態を本体内のメモリに5つまで記憶できます。

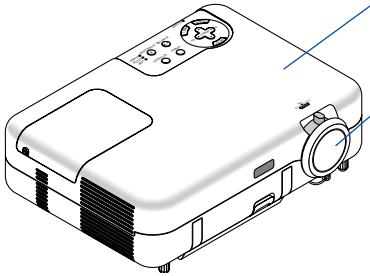
●セキュリティやパスワードを設定して、他人の無断使用を防止
フラッシュメモリカードをプロテクトキーにして、無断で本機を使用できないようにすることができます。
また、パスワードを設定することにより、無断でバックグラウンドロゴを変更できないようにすることができます。

●プロジェクタだけでプレゼンテーションができるビューワ搭載
フラッシュメモリカード(注1)に記録したプレゼンテーション資料（パソコンで作成）、デジタルカメラで撮影した画像のメモリカード再生(注2)など、その場にパソコンがなくてもプレゼンテーションが行えます。

（注1） 市販のPCMCIA-Type 2（ATA仕様）のフラッシュメモリカードを使用してください。
（注2） 再生できないフラッシュメモリカードもあります。

1-2. 添付品の確認

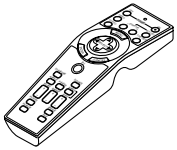
添付品の内容をご確認ください。



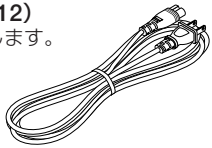
プロジェクタ（本機）
パソコンやDVDプレーヤなどを接続して、画面や映像を大きなスクリーンに映す機器です。

レンズキャップ（024F39571）
本機のレンズに装着し、移動時や保管時にレンズを保護します。

リモコン（07N900451）
本機の電源の入／切や、投写する映像信号の切り替え操作などができます。
ご購入後はじめて使用するときは、添付の単3乾電池2本をセットしてください。（22ページ）

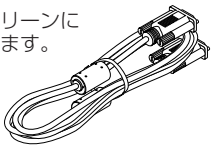


電源コード（07N080112）
AC100Vと本機に接続します。
日本国内用です。

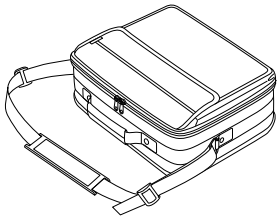


単3乾電池（リモコン用）2本
添付のリモコンにセットします。

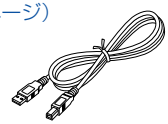
RGB信号ケーブル（ミニD-Sub 15ピン）（07N520012）
パソコンの画面をスクリーンに投写する場合に使用します。
（26ページ）



ソフトキャリングケース（024BS7311）
本機や添付品を収納します。
移動時や保管時にご使用ください。



USBケーブル（07N520013）
本機とパソコンをUSBケーブルで接続すると、本機のリモコンでパソコンのマウス操作が行えます。（54ページ）



クイックガイド（07N8P4082）
機器の接続、電源「ON」、投写画面の調整など、基本的な操作方法をコンパクトにまとめて説明しています。

スタートアップガイド（07N8P4092）
本機の基本的な使いかた、安全のために守っていただきたいこと、保証とサービスなどについて記載しています。

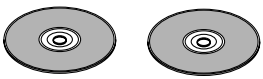
保証書
プロジェクタの保証内容・条件を記載しています。

ビューライトクラブ申込書
ビューライトクラブに入会していただくと、会員ならではのサービスが受けられます。
入会金・会費は無料です。

CD-ROM　2枚

User Supportware CD-ROM
（07N950431）
ユーティリティソフトを収録しています。内容については「6. Dynamic Image Utilityを使う」（79ページ）をご覧ください。

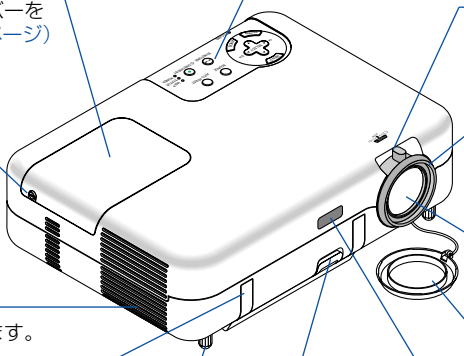
User's Manual CD-ROM
（07N950422）
取扱説明書（本書）がPDF（Portable Document Format）形式で収録されています。



参考
- 万一添付品などが不足していたり破損している場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- 添付品の外観が本書のイラストと多少異なる場合がありますが、実用上の支障はありません。

1-3. 本体各部の名称

本体前面



本体操作部
本機の電源の入／切や、投写する映像信号の切り替え操作などができます。
（18ページ）

ランプカバー
ランプ交換のときカバーを外します。（127ページ）

ランプカバーネジ

ズームレバー
投写した画面の大きさを調整します。
（41ページ）

フォーカスリング
映像のピントを合わせます。（41ページ）

レンズ
ここから映像が投写されます。

レンズキャップ
レンズを保護します。

排気口
ランプの熱を排気します。

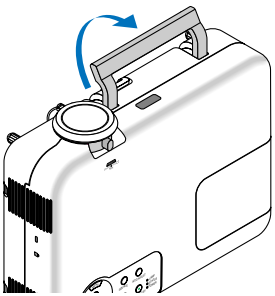
キャリングハンドル
本機を移動するときに引き出して持ちます。

リモコン受光部
リモコンの信号を受ける部分です。（22ページ）
本機の前面と背面の2箇所にあります。

チルトフット（左・右）
投写角度を調整します。チルトボタンを押して上下に伸縮できます。（40ページ）

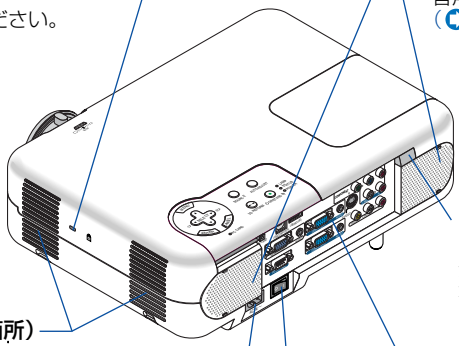
チルトボタン
チルトボタンを上方に押すとチルトフットを伸縮できます。
本機の投写角度を固定したいところで、チルトボタンから指を離します。
（40ページ）

参考
- 本機を移動するときは、図のようにキャリングハンドルを起こし、キャリングハンドルを持って運びます。



注意
- 運ぶときはレンズ保護のためレンズキャップを付けてください。

本体背面



盗難防止用ロック
盗難防止のためワイヤーケーブルを付ける際に使用します。
詳しくは 参考 をご覧ください。

スピーカ（ステレオ）
音声入力端子から入力された音声を出します。
（44ページ）

リモコン受光部
リモコンの信号を受ける部分です。（22ページ）
本体の前面と背面の2箇所にあります。

吸気口／フィルタ（2箇所）
内部のほこりやゴミが入るのを防止します。
（130ページ）

接続端子部
各種映像信号や音声信号のケーブルを接続します。
（19ページ）

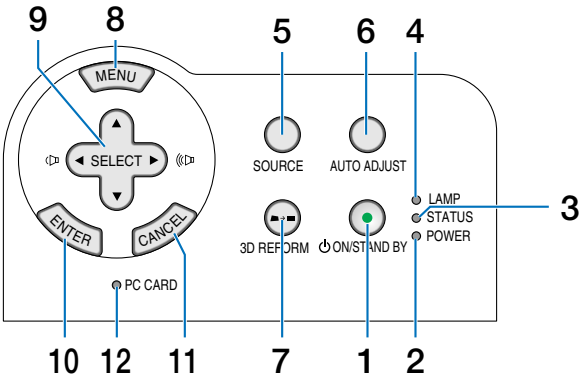
AC IN 端子
添付の電源コードを接続します。
（31ページ）

主電源スイッチ
主電源スイッチを「I（入）」にすると、スタンバイ状態になります。
（35ページ）

参考

- 盗難防止用ロックについて
  盗難防止用ロックは、キーケーブルロック等のセキュリティワイヤーに対応しています。
  製品についてのお問い合わせ先は、以下の通りです。
  日本ポラデジタル株式会社　第3営業部
  〒104-0032 東京都中央区八丁堀1丁目5番2号　はごろもビル
  Tel : 03-3537-1070 Fax : 03-3537-1071

本体操作部



1 POWER (ON/STAND BY) ボタン

本機の電源を入／切(スタンバイ状態)します。電源を入／切するときは、2秒以上押してください。

2 POWERインジケータ

電源が入っているときは緑色に点灯します。(35ページ)
電源が切れている(スタンバイ状態)ときはオレンジ色に点灯します。

3 STATUSインジケータ

本体キーロック中に操作ボタンを押したときや、本機に異常が発生したときに、点灯／点滅します。
詳しくは「インジケータ表示一覧」をご覧ください。(137ページ)

4 LAMPインジケータ

ランプの交換時期がきたことやランプモードの状態(エコモード)をお知らせします。(138ページ)

5 (SOURCE) ボタン

コンピュータ1、コンピュータ2、コンポーネント、ビデオ、Sビデオ、ビューワの入力を切り替えます。
短く押すと「信号選択画面」を表示します。また、1秒以上押し続けると次のように切り替わります。
→コンピュータ1→コンピュータ2→コンポーネント→ビデオ→S-ビデオ→ビューワ→信号リスト・・・
入力されていない信号は飛び越します。(37ページ)

6 (AUTO ADJUST) ボタン

コンピュータ1またはコンピュータ2の画像を投写しているときに、最適な状態に自動調整します。(44ページ)

7 (3D REFORM) ボタン

上下左右方向の歪みを調整します。(43ページ, 56ページ)

8 (MENU) ボタン

各種設定・調整のオンスクリーンメニューを表示します。(90ページ)

9 (SELECT ▼▲◀▶) ボタン(音量調整ボタンを兼用)

- オンスクリーンメニューを表示しているときに (SELECT ▼▲◀▶) ボタンを押すと、設定・調整したい項目を選択できます。(90ページ)
- ポインタを表示しているときは、ポインタの移動や画面拡大の表示位置の調整に使用できます。(50ページ, 51ページ)
- オンスクリーンメニューやポインタなどを表示していないときは、(SELECT ◀/▶) ボタンで音量の調整ができます。(44ページ)
- ビューワ表示中は、(SELECT ◀/▶) ボタンでスライドを切り替えたりできます。(76ページ)

10 (ENTER) ボタン

オンスクリーンメニューを表示しているときに (ENTER) ボタンを押すと、項目を決定します。(91ページ)
各種調整・設定画面を表示しているときは、調整・設定値を確定してメニュー表示に戻ります。

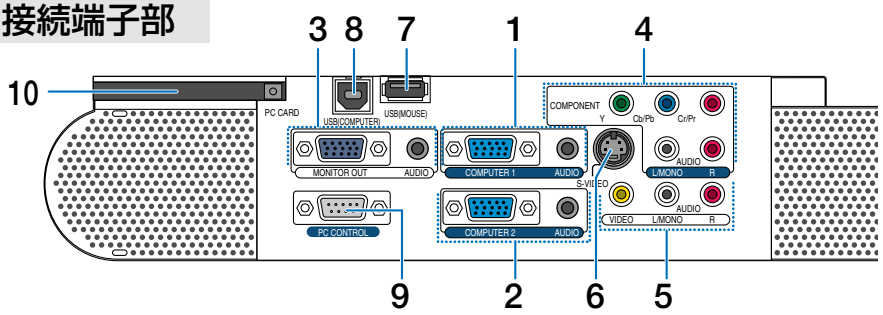
11 (CANCEL) ボタン

オンスクリーンメニューを表示しているときに (CANCEL) ボタンを押すと、メニューを閉じます。
各種調整・設定画面を表示しているときは、調整・設定値を調整・設定前の状態に戻してメニュー表示に戻ります。

12 PCカードアクセスインジケータ

PCカードへのアクセス(データの読み込み／書き込み)中に点灯します。(72ページ)

接続端子部



1 **コンピュータ1映像入力端子（COMPUTER 1）（ミニD-Sub 15ピン）**
パソコンのディスプレイ出力端子と接続します。（26ページ, 30ページ）

コンピュータ1音声入力端子（AUDIO）（ステレオ・ミニ）
パソコンの音声出力端子と接続すると、本機のスピーカから音が出せます。

2 **コンピュータ2映像入力端子（COMPUTER 2）（ミニD-Sub 15ピン）**
パソコンのディスプレイ出力端子と接続します。（26ページ, 30ページ）

コンピュータ2音声入力端子（AUDIO）（ステレオ・ミニ）
パソコンの音声出力端子と接続すると、本機のスピーカから音が出せます。

3 **モニタ出力端子（MONITOR OUT）（ミニD-Sub 15ピン）**
コンピュータ1映像入力端子（COMPUTER1）とコンピュータ2映像入力端子（COMPUTER2）、コンポーネント映像入力端子（COMPONENT）のうち、投映されているほうの映像信号を出力します。（27ページ）

音声出力端子（AUDIO）（ステレオ・ミニ）
- 本機から投写されている映像の音声信号を出力します。
- 音声出力端子に音声ケーブルを接続すると、本機のスピーカから音声が出なくなります。

4 **コンポーネント映像入力端子（COMPONENT）（RCA-フォノ）**
- DVDプレーヤなどのコンポーネント映像出力端子などと接続します。（28ページ）
- Y端子にはビデオ映像が入力できます。

コンポーネント音声入力端子（AUDIO）（RCA-フォノ）
DVDプレーヤなどの音声出力端子などと接続します。

5 **ビデオ映像入力端子（VIDEO）（RCA-フォノ）**
ビデオデッキやDVDプレーヤなどの映像出力端子と接続します。（29ページ, 30ページ）

S-ビデオ／ビデオ音声入力端子（AUDIO）（RCA-フォノ）
ビデオデッキやDVDプレーヤなどの音声出力端子と接続します。

6 **S-ビデオ映像入力端子（S-VIDEO）（ミニDIN-4ピン）**
ビデオデッキやDVDプレーヤなどのS映像出力端子と接続します。（29ページ, 30ページ）

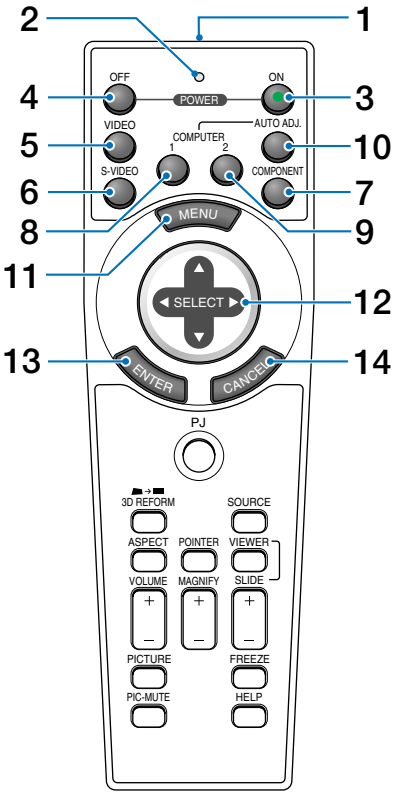
7 **USBポート（タイプA）（USB(MOUSE)）**
- 市販のUSBマウスを使って、本機メニュー操作をするときに接続します。（53ページ）
- USBメモリやUSBメモリカードリーダーを接続できます。（67ページ）

8 **USBポート（タイプB）（USB(COMPUTER)）**
添付のUSBケーブルを使ってパソコンのUSBポート（タイプA）と接続すると、本機のリモコンでパソコンのマウス操作が行えます。（54ページ）

9 **PCコントロール端子（PC CONTROL）（D-Sub 9ピン）**
添付のCD-ROMに収録しているDynamic Image Utilityを使用すると、パソコンから本機を操作することができます。（79ページ）

10 **PCカードスロット**
市販のフラッシュメモリカードなどを挿入します。（71ページ）

1-4. リモコン各部の名称



1 **リモコン送信部**
赤外線によるリモコン信号が送信されます。本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

2 **リモコン送信中インジケータ**
赤外線送信中は赤く点灯します。

3 **POWER (ON) ボタン**
2秒以上押して、スタンバイ時（POWERインジケータがオレンジ色に点灯）に本機の電源を入れます。

4 **POWER (OFF) ボタン**
2秒以上押すと、本機の電源が切れます（スタンバイ状態）。

5 **(VIDEO) ボタン**
ビデオ入力を選択します。

6 **(S-VIDEO) ボタン**
S-ビデオ入力を選択します。

7 **(COMPONENT) ボタン**
コンポーネント入力を選択します。

8 **(COMPUTER 1) ボタン**
コンピュータ1入力を選択します。

9 **(COMPUTER 2) ボタン**
コンピュータ2入力を選択します。

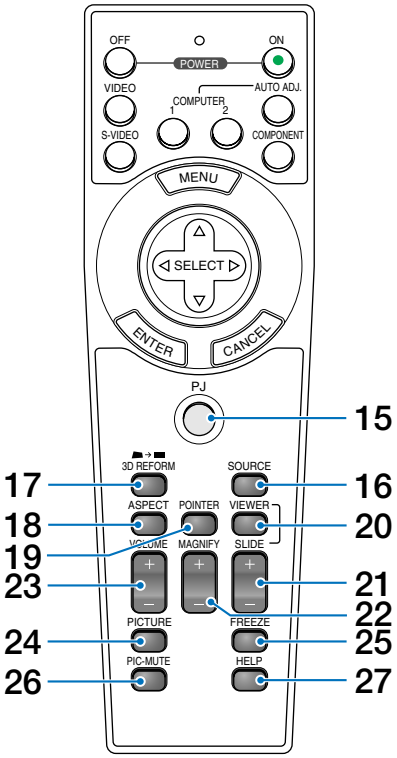
10 **(AUTO ADJ.) ボタン**
コンピュータ1またはコンピュータ2の画像を投写しているときに、最適な状態に自動調整します。（44ページ）

11 **(MENU) ボタン**
各種設定・調整のオンスクリーンメニューを表示します。

12 **(SELECT ▼▲◀▶) ボタン**
パソコンモードのとき……パソコンのマウスとして動作します。（48ページ）
プロジェクタモード（(PJ) ボタンが赤く点灯）のとき……オンスクリーンメニュー操作や (MAGNIFY +/−) ボタンを使った画面拡大時の表示位置調整に使います。

13 **(ENTER) (左クリック) ボタン**
パソコンモードのとき……マウスの左ボタンの動作をします。
2 ～3 秒押すとドラッグモードになります。（48ページ）
プロジェクタモードのとき……オンスクリーンメニューを表示中は、次の階層のメニューに進みます。
確認メッセージ表示中は、項目を決定します。

14 **(CANCEL) (右クリック) ボタン**
パソコンモードのとき……マウスの右ボタンの動作をします。
プロジェクタモードのとき……オンスクリーンメニューを表示中は、前の階層のメニューに戻ります。
メニューバーにカーソルがあるときは、オンスクリーンメニューを閉じます。
確認メッセージ表示中は、操作を取り消します。



15 (PJ) **ボタン**
(SELECT ▼▲◀▶) ボタン、(CANCEL) ボタン、(ENTER) ボタンの動作をプロジェクタモードに切り替えます。
プロジェクタモードのときは赤く点灯します。
もう一度押すとパソコンモードに戻ります。
(48ページ)

16 (SOURCE) **ボタン**
コンピュータ1、コンピュータ2、コンポーネント、ビデオ、S-ビデオ、ビューワの入力を切り替えます。
短く押すと「信号選択画面」を表示します。
また、1秒以上押し続けると次のように切り替わります。
→コンピュータ1→コンピュータ2→コンポーネント→ビデオ→S-ビデオ→ビューワ→信号リスト・・・
入力されていない信号は飛び越します。
(37ページ)

17 (3D REFORM) **ボタン**
上下左右方向の台形歪みを調整します。
(43ページ, 56ページ)

18 (ASPECT) **ボタン**
アスペクト調整項目を表示します。
(102ページ)

19 (POINTER) **ボタン**
ポインタを表示します。画面拡大時にこのボタンを押すと表示位置の調整ができます。
(50ページ, 51ページ)

20 (VIEWER) **ボタン**
ビューワを表示します。(69ページ)

21 (SLIDE +/−) **ボタン**
ビューワのスライド画面の切り替えや、サムネイル画面でのカーソル送りに使います。

22 (MAGNIFY +/−) **ボタン**
画面の拡大・縮小(もとに戻す)をします。
(51ページ)

23 (VOLUME +/−) **ボタン**
内蔵スピーカの音量と音声出力端子(AUDIO)の音量を調整します。(44ページ)

24 (PICTURE) **ボタン**
(PICTURE) ボタンを押すごとに、[映像] の各調整画面が順番に表示されます。
(97ページ)

25 (FREEZE) **ボタン**
表示されている画像が静止画となります。もう一度押すと戻ります。(49ページ)

26 (PIC-MUTE) **ボタン**
映像と音声を一時的に消します。もう一度押すと戻ります。(49ページ)

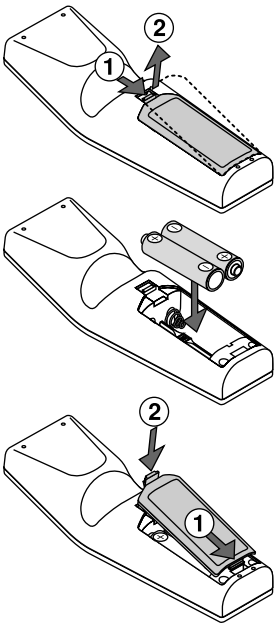
27 (HELP) **ボタン**
情報画面を表示します。(52ページ)

●電池の入れかた

1 リモコン裏面の電池ケースのふたを外す。

2 ケース内部に印刷されている＋、－の向きに合わせて単3乾電池をセットする。

3 もと通りにふたをする。



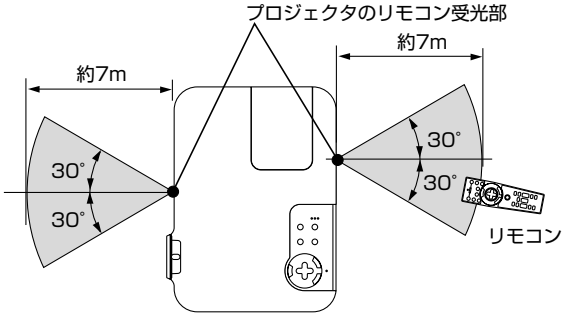
注意

- 乾電池を交換するときは、2本とも同じ種類の単3乾電池をお買い求めください。
- (SELECT ▼▲◀▶) ボタンを押しながら乾電池をセットすると、リモコンが正常に動作しなくなる場合があります。その場合は、乾電池を取り出し、もう一度セットしなおしてください。

●リモコンの有効範囲

リモコン送信部を本体のリモコン受光部に向けてリモコンを操作してください。おおよそ次の範囲内でリモコンの信号が受信できます。
リモコンをスクリーンに反射させて本体前面のリモコン受光部で受信することもできます。

【水平方向の受光範囲】



(注) 有効範囲のイメージを表した図のため実際とは多少異なります。

●リモコンの使用上の注意

- 本機のリモコン受光部やリモコン送信部に明るい光が当たっていたり、途中に障害物があって信号がさえぎられていると動作しません。
- 本体から約7m以内で本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
- リモコンを落としたり、誤った取り扱いはしないでください。
- リモコンに水や液体をかけないでください。万一ぬれた場合は、すぐにふき取ってください。
- できるだけ熱や湿気のないところで使用してください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、乾電池を取り出してください。

第2章

設置と接続

2-1. 設置と接続の流れ …… 24

2-2. スクリーンとプロジェクタを設置する … 25

2-3. パソコンと接続する …… 26

2-4. RGBモニタと接続する …… 27

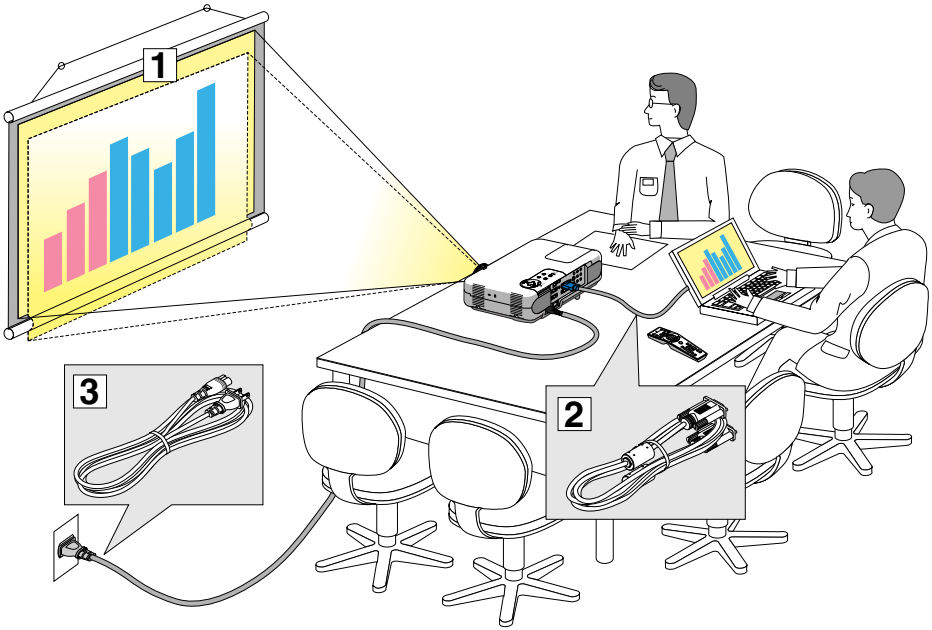
2-5. DVDプレーヤなどのAV機器と接続する … 28

2-6. 書画カメラと接続する …… 30

2-7. 電源コードを接続する …… 31

2-1. 設置と接続の流れ

プロジェクタを設置する場合は、次の流れで行います。



ステップ 1

スクリーンとプロジェクタを設置する（25ページ）

ステップ 2

パソコンやビデオデッキなどをプロジェクタに接続する

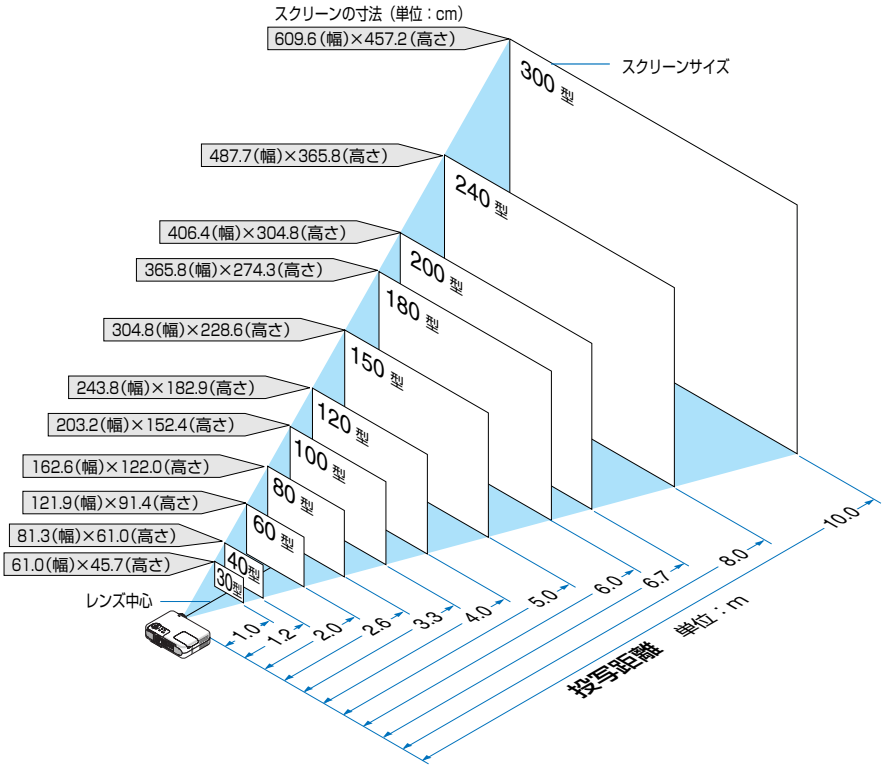
- パソコンと接続する場合　（26ページ）
- RGBモニタと接続する場合　（27ページ）
- DVDプレーヤやビデオデッキなどのAV機器と接続する場合　（28ページ, 29ページ）
- 書画カメラと接続する場合　（30ページ）

ステップ 3

電源コードを接続する（31ページ）

2-2. スクリーンとプロジェクタを設置する

下図を参照して、適切な画面サイズとなる位置にプロジェクタを設置してください。
例1： 100 型のスクリーンに投写する場合は、下図より3.3m 離して設置します。
例2： スクリーンから5m 離してプロジェクタを設置すると、下図より約150 型の画面となります。

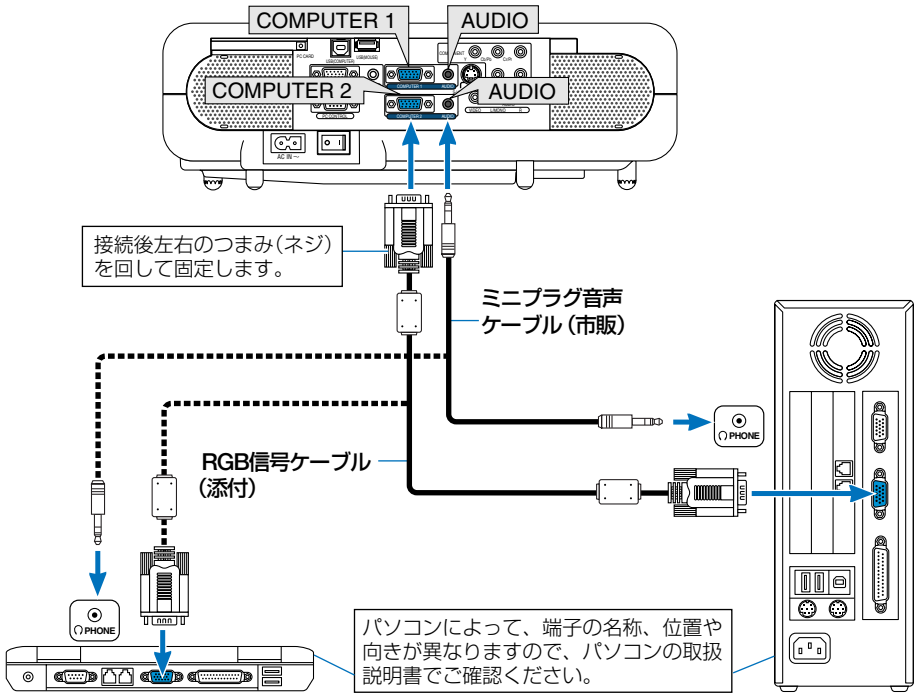


参考

- この図のスクリーン寸法は、ズームリングのテレ（投写面積が最小）側とワイド（投写面積が最大）側の間の値です。
  ズームリングを操作すると、画面のサイズを約±10 %の範囲で変更することができます。
  なお、図の各寸法は、設計値のため実際の寸法と多少の誤差がありますので目安としてください。
- 投写距離と画面サイズについては、付録の「投写距離とスクリーンサイズ」をご覧ください。（ 139ページ）

2-3. パソコンと接続する

パソコン側のディスプレイ出力端子（ミニD-Sub15ピン）と、本機のコンピュータ1映像入力端子（COMPUTER 1）またはコンピュータ2映像入力端子（COMPUTER 2）を、添付のRGB信号ケーブルで接続します。



注意

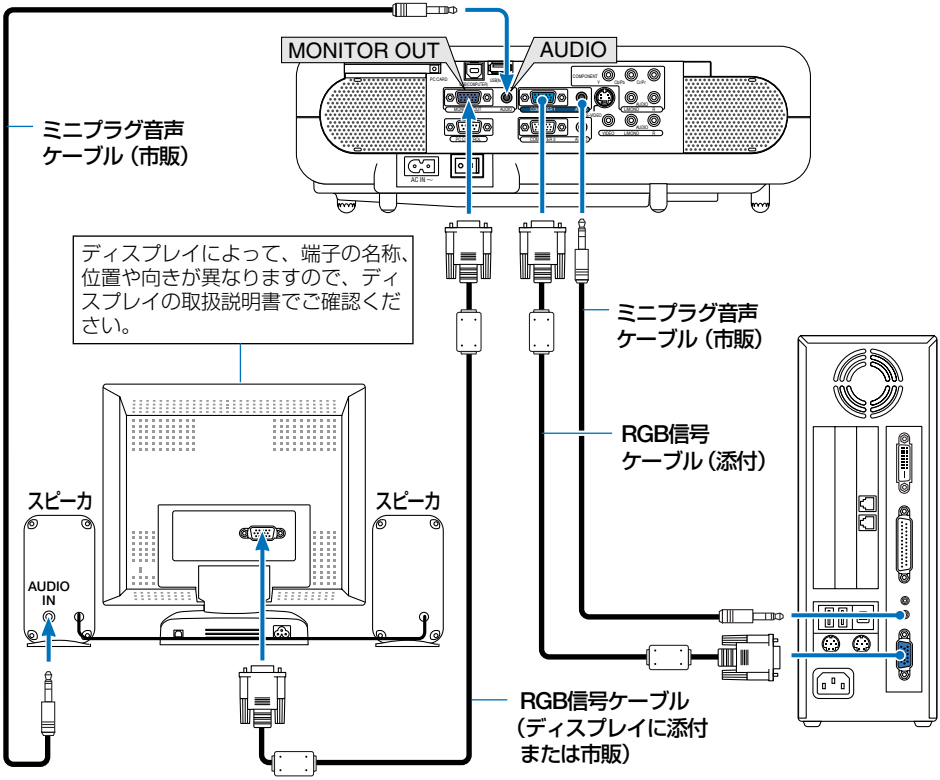
- パソコンや本機の電源を切ってから接続してください。
- 音声ケーブルをヘッドフォン端子と接続する場合、接続する前にパソコンの音量を低めに調整してください。そして、パソコンと本機を接続して使用する際に、本機の音量とパソコンの音量を相互に調整し、適切な音量にしてください。
- パソコンにミニジャックタイプの音声出力端子がある場合は、その端子に音声ケーブルを接続することをおすすめします。
- 当社製のビデオユニット（形名ISS-6020J、ISS-6010J）のビデオデコード出力には対応していません。
- スキャンコンバータなどを介してビデオデッキを接続した場合、早送り・巻き戻し再生時に正常に表示できない場合があります。

参考

- コンピュータ1映像入力端子（COMPUTER 1）は、Windowsのプラグ・アンド・プレイに対応しています（DDC2対応）。
- Macintoshとの接続では、Macintosh用信号アダプタ（市販品）が必要になる場合があります。
- パソコンと本機を離して使用する場合は、別売のマルチシンク10mケーブル（形名VL-CA10MD）を使用してください。また、信号の減衰を補うため、別売のRGB信号分配ユニット（形名VL-DA102）の使用をおすすめします。

2-4. RGBモニタと接続する

図のように、デスクトップパソコンと本機を接続したときなど、本機で投写している画面と同じ画面を、手もとのディスプレイにも表示（モニタ）して確認できます。



注意

- 本機のモニタ出力端子（MONITOR OUT）は、1台のディスプレイへ映像信号を出力するためのものです。
  複数のディスプレイやプロジェクタを連続してつなぐような使いかたはできません。
- 本機の音声出力端子（AUDIO）に音声ケーブルを接続すると、本機のスピーカから音声が出なくなります。

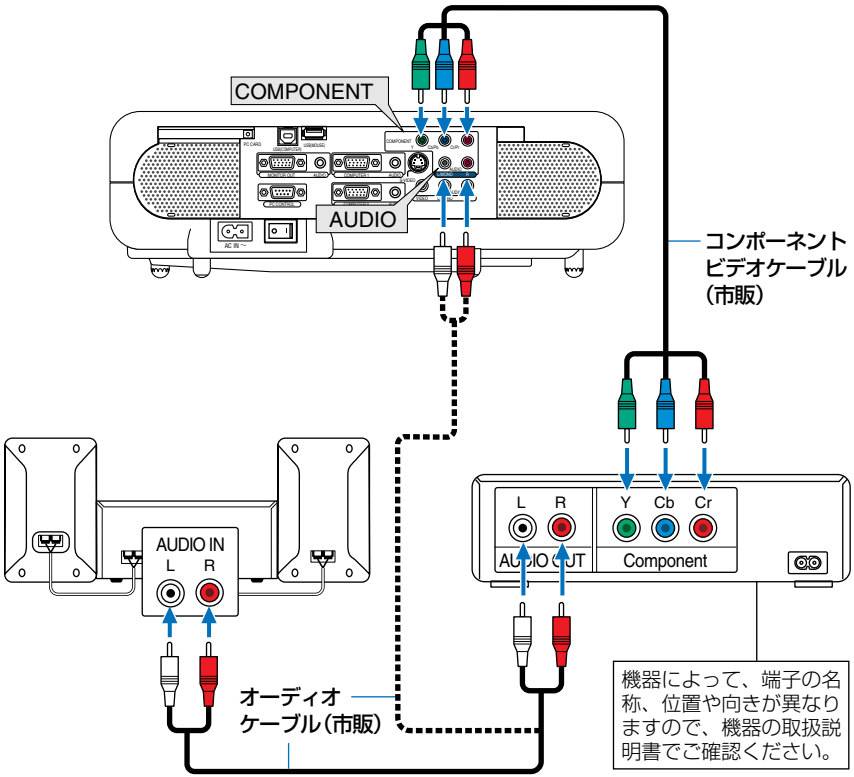
参考

- 本機の音声出力端子（AUDIO）から出力される音声信号は、本機の〔SELECT ◀/▶〕ボタンやリモコンの〔VOLUME +/−〕ボタン、〔PIC-MUTE〕ボタン、オンスクリーンメニューの［音量］で音量の調整や消去ができます。
  ただし、本機がスタンバイ状態のときは調整・消去できません。
- オンスクリーンメニューの［スタンバイモード］を「アイドルモード」に設定していると、本機がスタンバイ状態のときにも映像・音声を出力できます。本機の工場出荷時は「アイドルモード」に設定されています。
  アイドルモード時に出力する信号は、オンスクリーンメニューの［モニタ出力］で選択します。（113ページ）

2-5. DVDプレーヤなどのAV機器と接続する

DVDプレーヤなどのYCbCr出力端子との接続

DVDプレーヤの色差出力端子（DVD映像出力）やハイビジョンビデオなどのYPbPr出力端子（HD映像出力）を使って本機で映すことができます。

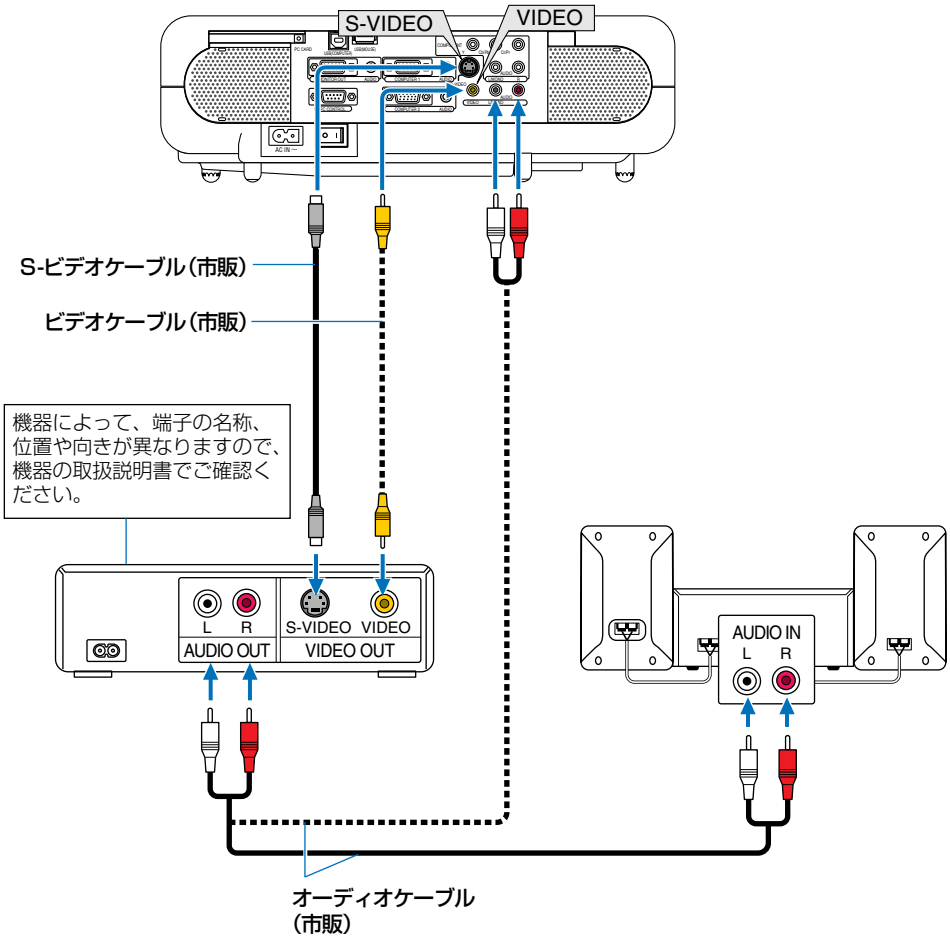


参考

- 別売のコンポーネントビデオ接続ケーブル（形名VL-CA03V）を使用すると、YPbPr出力端子からのコンポーネント信号を、コンピュータ1映像入力端子（COMPUTER 1）またはコンピュータ2映像入力端子（COMPUTER 2）に接続することができます。（[信号選択] 113ページ）
- 市販のコンポーネントビデオケーブルを使って延長し、コンピュータ1映像入力端子（COMPUTER 1）またはコンピュータ2映像入力端子（COMPUTER 2）に接続する場合は、別売のコンポーネントビデオ変換アダプタ（形名ADP-CV1 ）をお使いください。
- D端子付きの映像機器と接続する場合は、別売のD端子変換アダプタ（形名ADP-DT1）をお使いください。

ビデオ機器との接続

ビデオデッキ、テレビチューナなどのビデオ機器の映像を映す場合は、市販のケーブルを使用してください。



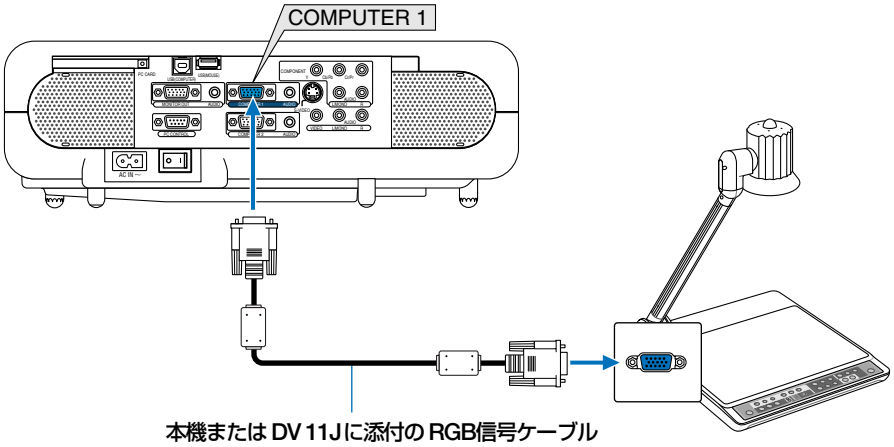
参考

- コンポーネント映像入力端子（COMPONENT）のY端子には、ビデオ入力（RCA-フォノ）を接続することもできます。（[信号選択] 113ページ）

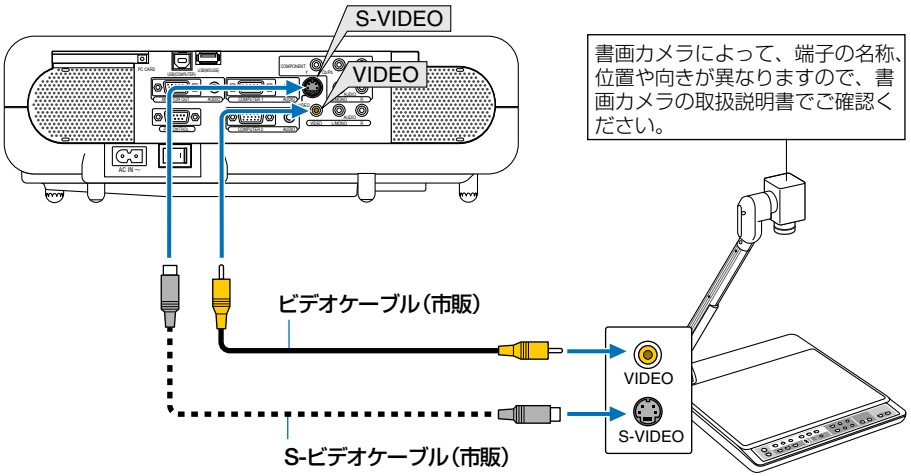
2-6. 書画カメラと接続する

本機と別売の資料提示装置（DV11J）を接続すると、印刷された資料や立体をスクリーンに投写することができます。
また、RGB端子、ビデオ端子、S-ビデオ端子を装備している市販の書画カメラも接続することができます。

DV11Jの場合



ビデオ出力の書画カメラの場合

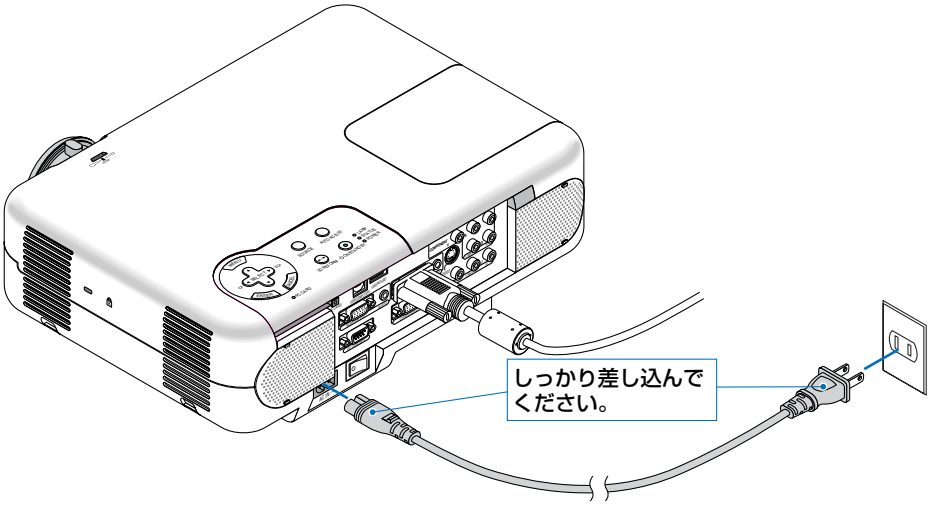


参考

- 書画カメラの映像を投写する場合は、オンスクリーンメニューの［I／P変換］を「デインターレース（静止画）」に設定することをおすすめします。（101ページ）

2-7. 電源コードを接続する

本機のAC IN端子とAC100Vのコンセントを添付の電源コードで接続します。



注意

- 次のような場合は、電源プラグをコンセントから抜かないでください。
  故障の原因となります。
  - 砂時計アイコンが表示されているとき
  - 電源を切ったあとのファンの回転中（ファンは約10秒間回転します）

第3章

映像を投写する(基本操作)

3-1. 映像を投写する流れ …… 34

3-2. 本機の電源を入れる …… 35

3-3. 入力信号を選択する …… 37

3-4. 投写画面の位置と大きさを調整する … 39

3-5. 台形歪みを調整する …… 42

3-6. 映像を自動調整する …… 44

3-7. 本機の音量を調整する …… 44

3-8. 本機の電源を切る …… 45

3-9. あとかたづけ …… 46

3-1. 映像を投写する流れ

ステップ 1

本機の電源を入れる（35ページ）

ステップ 2

入力信号を選択する（37ページ）

ステップ 3

投写画面の位置と大きさを調整する（39ページ）
台形歪みを調整する（42ページ）

ステップ 4

映像や音声を調整する
・画質を調整する場合（44ページ）
・本機の音量を調整する場合（44ページ）

ステップ 5

プレゼンテーションを行う

ステップ 6

本機の電源を切る（45ページ）

ステップ 7

あとかたづけ（46ページ）

3-2. 本機の電源を入れる

準備：「2 設置と接続」（23ページ）を参照のうえ、機器の接続を行ってください。

重要

- 本機の電源コードの取り付け、取り外しは、主電源スイッチが「○（切）」の状態で行ってください。
  主電源スイッチが「｜（入）」の状態で電源コードの取り付け、取り外しを行うと、故障の原因となります。
- 本機の電源の入／切は、「主電源スイッチ」と「POWER (ON/STAND BY) ボタン（リモコンはPOWER (ON) (OFF) ボタン）」の2段階の操作で行います。

●電源を入れる（このページ）

1 「主電源スイッチ」を「｜（入）」にする。
本機がスタンバイ状態になります。

2 「POWER (ON/STAND BY) ボタン（リモコンはPOWER (ON) ボタン）」を2秒以上押す。
本機の電源が入ります。

●電源を切る（45ページ）

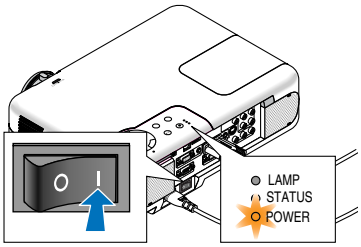
1 「POWER (ON/STAND BY) ボタン（リモコンはPOWER (OFF) ボタン）」を2秒以上押す。
本機がスタンバイ状態になります。

2 ファンの回転が終わったら、「主電源スイッチ」を「○（切）」にする。
本機の電源が切れます。

1 主電源スイッチを「｜（入）」にする。

本機のPOWERインジケータがオレンジ色で点灯します（スタンバイ状態）。

・STATUSインジケータの緑色の点灯は、「アイドルモード」を表しています。



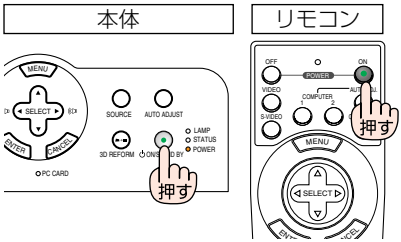
2 POWER (ON/STAND BY) ボタンを2秒以上押す。

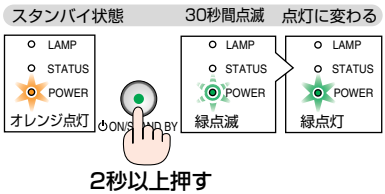
本機の電源が入り、約15秒後スクリーンに映像が表示され始めます。

・リモコンで操作する場合は、POWER (ON) ボタンを2秒以上押します。

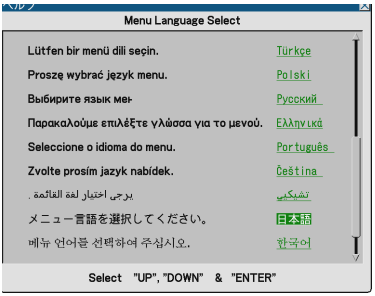
・信号が入力されていないときは、青い画面（ブルーバック：工場出荷状態）が表示されます。

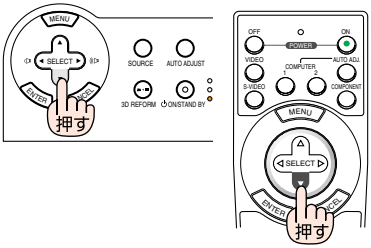
・ご購入後はじめて電源を入れたときは「Menu Language Select（言語選択）」画面が表示されます。次のように操作して「日本語」を選択してください。
なお、映像がぼやけている場合は、フォーカスリングを回して画面のピントを合わせてください。（41ページ）



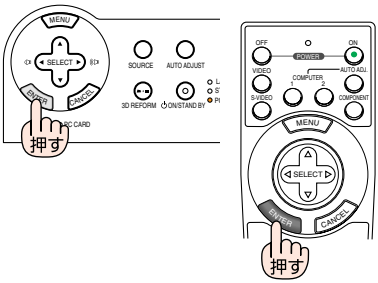


❶ (SELECT▼) ボタンを押して、緑色のカーソルを [日本語] に合わせる。

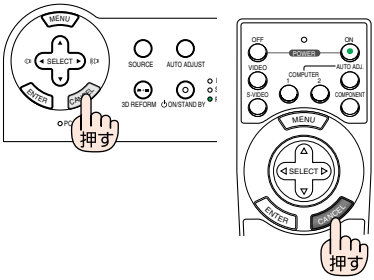




❷ (ENTER) ボタンを押す。
オンスクリーンメニューの表示が日本語に設定されます。



❸ (CANCEL) ボタンを押す。
オンスクリーンメニューが消えます。



注意

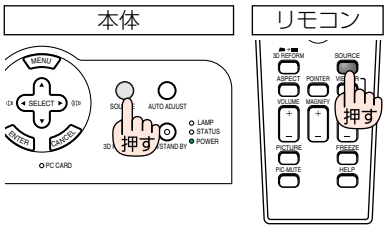
- 本機の電源が入っている間は、レンズからレンズキャップを外しておいてください。高温になりレンズキャップが変形する場合があります。
- 次のような場合は、POWER (ON/STAND BY) ボタンを押しても電源が入りません。
  - ・内部の温度が異常に高いと保護のため電源は入りません。しばらく待って（内部の温度が下がって）から電源を入れてください。
  - ・ランプの寿命がきた場合は電源が入りません。ランプを交換してください。
  - ・電源を入れてもランプが点灯せず、STATUSインジケータが点滅（6回周期の点滅）している場合は、60秒以上待って再度電源を入れてください。
- 電源を入れた直後のランプの点灯準備中、およびその後のPOWERインジケータ点滅中（約30秒間）は電源を切ることができません。
- 電源を入れたとき、ランプが安定して点灯するまで（3～5分）映像がちらつく場合があります。これはランプの特性上発生するもので故障ではありません。

3-3. 入力信号を選択する

信号選択画面から選択する

1 本機に接続しているパソコンやビデオデッキなどの電源を入れる。

ビデオデッキなどの映像を投写するときは、再生（PLAY）操作をしてください。

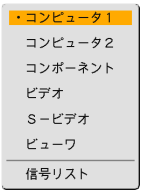


2 (SOURCE) ボタンを短く押す。

信号選択画面が表示されます。

3 (SOURCE) ボタンを数回短く押して、投写したい入力信号にカーソルを合わせる。

(SOURCE) ボタンを短く押すたびに、次の入力信号にカーソルが移動します。



4 (ENTER) ボタンを押す。

・(ENTER) ボタンを押さずに約2秒経過すると、カーソルが合っている信号に自動的に切り替わります。

投写する入力信号を自動検出する

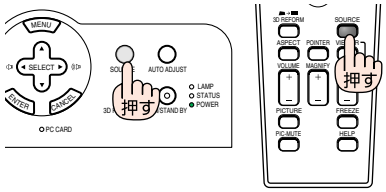
1 本機に接続しているパソコンやビデオデッキなどの電源を入れる。

ビデオデッキなどの映像を投写するときは、再生（PLAY）操作をしてください。

2 (SOURCE) ボタンを1秒以上押す。

投写可能な信号を自動検出します。

・1秒以上(SOURCE) ボタンを押すたびに、コンピュータ1→コンピュータ2→コンポーネント→ビデオ→S-ビデオ→・・・と映像（入力信号）が切り替わります。入力信号がないときは次の信号に移ります。



リモコンのダイレクトボタンを押して選択する

1 本機に接続しているパソコンやビデオデッキなどの電源を入れる。

ビデオデッキなどの映像を投写するときは、再生（PLAY）操作をしてください。

2 リモコンの（VIDEO）、（S-VIDEO）、（COMPUTER 1）、（COMPUTER 2）、（COMPONENT）、（VIEWER）ボタンを押す。

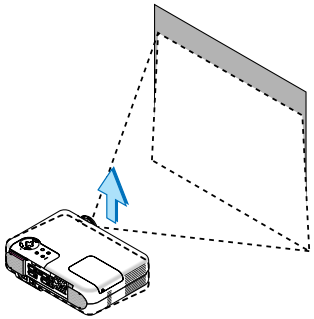
参考

- 入力信号がないときは、青い画面（ブルーバック：工場出荷状態）が表示されます。ビデオデッキやDVDプレーヤなどは再生（PLAY）操作をしてください。
- ［ランプモード］を「ノーマルモード」に設定しているとき、入力信号がないとランプの輝度がさがります（エコモードになります）。
  その後、信号が入力される（映像が投写される）とランプの輝度がもとに戻ります（ノーマルモードに戻ります）。
  ただし、［バックグラウンド］を「ロゴ」に設定しているときは、無信号時でもエコモードになりません。
- パソコンの画面がうまく投写できない場合は、136ページを参照してください。
- アドバンスド・アキュブレンドとは
  パソコンの出力信号の解像度とプロジェクタの液晶パネルの解像度が一致しない場合（例：パソコン出力が1280×1024ドット、プロジェクタが1024×768ドット）や拡大表示する場合に、本機では解像度を変換して見やすく表示することができます。このNEC独自のデジタル補間技術を“アドバンスド・アキュブレンド”と言います。
  従来方式では、単純に間引いたり二度書きしているだけだったので、表の罫線が数本完全に消えてしまう、斜め線がギザギザになってしまうなど見づらい場合がありましたが、アドバンスド・アキュブレンドにより、そのような点が解消、軽減されました。
- USBマウスで操作しているときに信号選択画面を表示する場合は、オンスクリーンメニュー画面の外にマウスポインタを移動し、左クリックします。

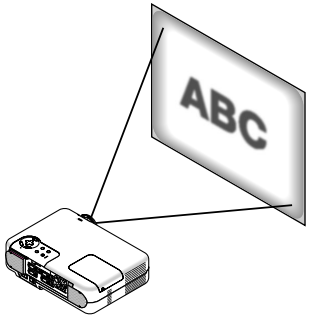
3-4. 投写画面の位置と大きさを調整する

チルトボタンやチルトフット、ズームレバー、フォーカスリングなどを操作して、投写画面の位置や大きさを調整します。

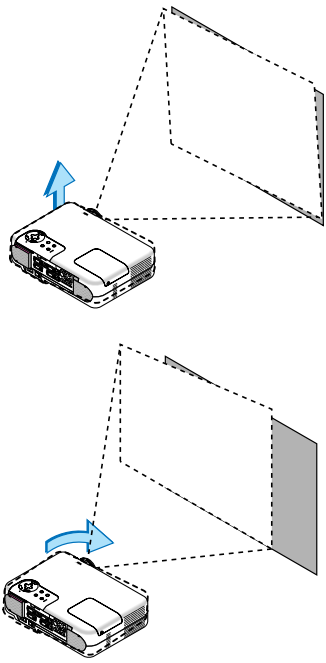
Ⓐ投写角度（投写画面の高低）の調整
【チルトボタン】（注1）



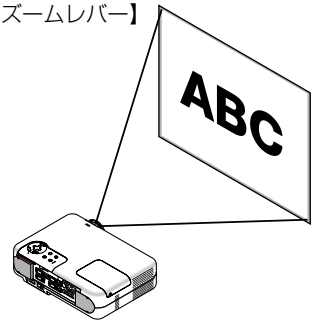
Ⓒ投写画面のピント合わせ
【フォーカスリング】



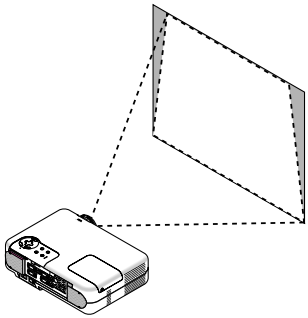
Ⓑ投写画面の左右の傾きの調整
【チルトフット】



Ⓓ投写画面の大きさの微調整
【ズームレバー】



投写画面の台形歪み補正【スクエアショット】
（注2）



（注1）本機の投写角度（投写画面の高低）を変更すると、自動台形補正機能が働き投写画面に［台形補正］画面が表示されます。

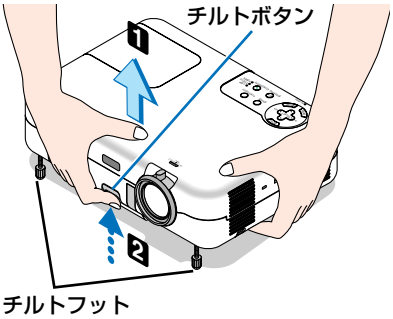
（注2）スクエアショットについては、「3-5.台形歪みを調整する」をご覧ください。
（ 42ページ）

※ ここでは、本機に接続しているケーブル類を省略したイラストにしています。

Ⓐ投写角度（投写画面の高低）の調整（チルトボタン）

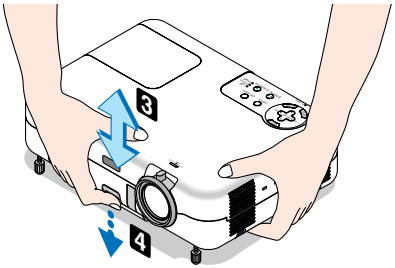
1 本機の前部を持ち上げる。

2 チルトボタンを押し上げる。
チルトフットのロックが外れ、左右のチルトフットが伸縮します。



3 チルトボタンを押したまま、本機の投写角度を調整する。

4 角度を固定したいところでチルトボタンから指を離す。
- チルトフットがロックされ、投写角度が固定されます。
- チルトフットにより、最大10°本機を傾けることができます。
- 本機の投写角度（投写画面の高低）を変更すると、自動台形補正機能が働き投写画面に［台形補正］画面が表示されます。
［台形補正］画面の操作については「3-5.台形歪みを調整する」をご覧ください。
（ 42ページ）

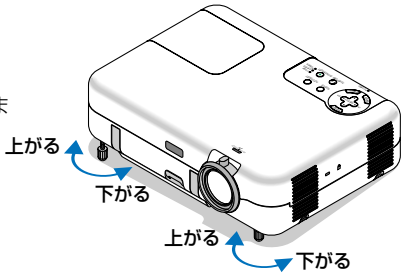


注意
- ［台形補正］の調整値をクリアする（工場出荷時に戻す）場合は、（3D REFORM）ボタンを2秒以上押してください。
- チルトフットは、本機の投写角度調整以外の用途には使用しないでください。
チルトフット部分を持って運んだり、壁に掛けて使用するなどの誤った取り扱いをすると、故障の原因となります。

Ⓑ投写画面の左右の傾き調整（チルトフット）

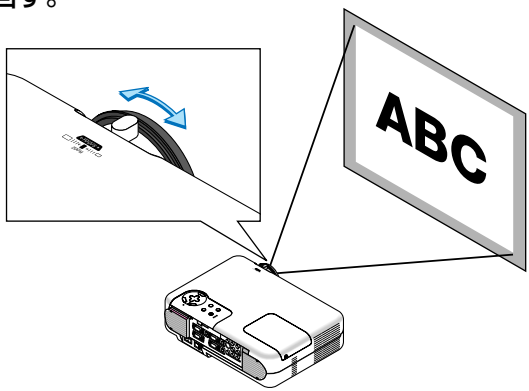
1 左右のチルトフットを回す。

チルトフットを回すと、チルトフットが伸縮し、左右の傾きを調整できます。
チルトフットは、最大30mm伸ばすことができます。



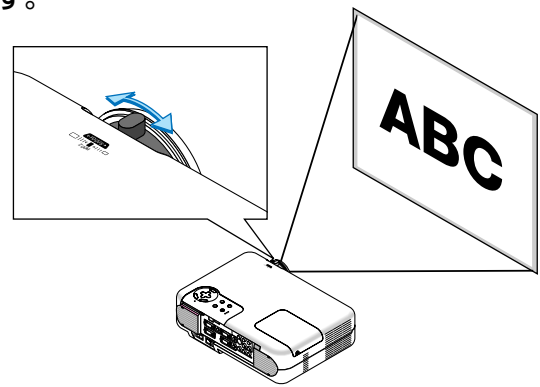
Ⓒ投写画面のピント合わせ（フォーカスリング）

1 フォーカスリングを左右に回す。



Ⓓ投写画面の大きさの微調整（ズームレバー）

1 ズームレバーを左右に動かす。



3-5. 台形歪みを調整する

本機の投写角度（投写画面の高低）を変更すると、投写画面に［台形補正］画面が表示されます。ここでは［台形補正］画面を操作して、投写画面の台形歪みを調整する手順を説明します。
本機は、上下方向の傾きを感知して自動的に台形歪みを補正します（自動台形補正）。自動台形補正により、チルトフットを伸ばして投写画面の高低を変更した場合、投写画面の左右の辺は常にほぼ平行に補正されます。スクリーンに向かって斜め横から投写した場合は、投写画面の上下の辺が平行になるように、［台形補正］画面の［水平］で調整してください。

1 チルトフットを伸ばして、投写画面の高低の調整を行う。（40ページ）

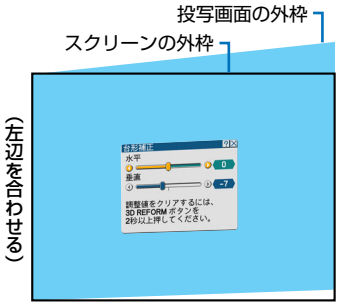
投写画面に［台形補正］画面が表示されます。

・［台形補正］画面が消えてしまった場合は、(MENU) ボタンや(ENTER) ボタンを短く押して［台形補正］画面を再表示してください。

2 スクリーンと投写画面の左辺または右辺を合わせる。

・投写画面の左辺と右辺を比べ、長さが短いほうの辺を合わせます。

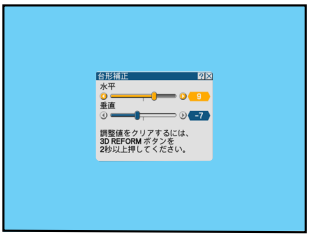
・右の図のような台形歪みの場合は、左辺を合わせます。



3 ［水平］にカーソルが合っていることを確認し、(SELECT ◀/▶) ボタンを押す。

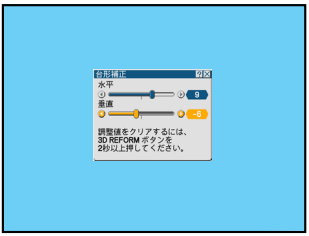
投写画面の台形歪みを調整します。

・右の図のように左辺を合わせた場合は、(SELECT ▶) ボタンを押します。



4 左右の辺が平行になっていない場合は、(SELECT ▼) ボタンを押して［垂直］にカーソルを合わせ、(SELECT ◀/▶) ボタンを押す。

左右の辺が平行になるように微調整してください。

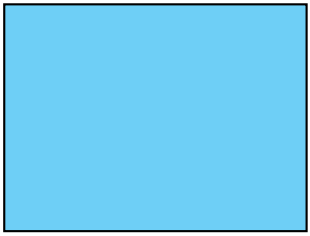


5 手順**3** **4**を繰り返し、台形歪みを調整する。

6 台形歪みの調整が終わったら、(ENTER)ボタンを押す。

[台形補正] 画面が消え、台形補正が決定されます。

・再び台形歪みを調整する場合は、(3D REFORM)ボタンを押して [台形補正] 画面を表示し、上の手順**1**～**6**を行ってください。



注意

- 本機の電源を入れたとき、前回使用時から本機の傾きが変わっていると、前回使用時の台形補正の調整値はクリア（工場出荷時に戻す）されます。本機の傾きが前回と同じであれば、台形補正の調整値は保持されます。
  本機の傾きを変えても前回使用時の台形補正の調整値を保持したい場合は、オンスクリーンメニューの [台形補正] を「手動」に設定してください。（107ページ）
- オンスクリーンメニューの [台形補正] を「手動」に設定した場合は、手順**2**において、投写画面の範囲内にスクリーンの外枠がすべて含まれるように、本機の設置位置を調整してください。
- 台形歪みの調整値をクリアする場合は、(3D REFORM)ボタンを2秒以上押してください。
- [台形補正] 画面が表示されているときに(3D REFORM)ボタンを押すと、[4点補正] 画面に切り替わります。また、[4点補正] 画面が表示されているときに(3D REFORM)ボタンを押すと、メニューが消えます。[4点補正] 画面の操作については、「4-9. 台形歪みを調整する（4点補正）」をご覧ください。（56ページ）
- [台形補正] 画面で調整していると、[4点補正] 画面は灰色になり調整できません。[4点補正] を行う場合は、(3D REFORM)ボタンを2秒以上押して [台形補正] の調整値をクリアしてください。
  また、[4点補正] 画面で調整していると、[台形補正] 画面は灰色表示になり調整できません。[台形補正] を行う場合は、(3D REFORM)ボタンを2秒以上押して [4点補正] の調整値をクリアしてください。
- [台形補正] は電気的な補正を行っているため、画質が劣化する場合があります。

参考

- 本機は、[台形補正] を行った画面の形をほぼ保ったまま、レンズズームで画面サイズを変更することができます。

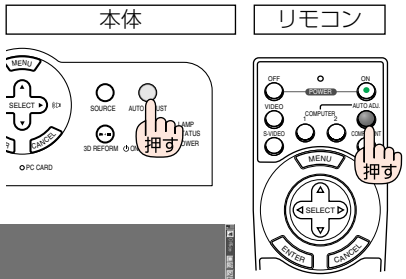
3-6. 映像を自動調整する

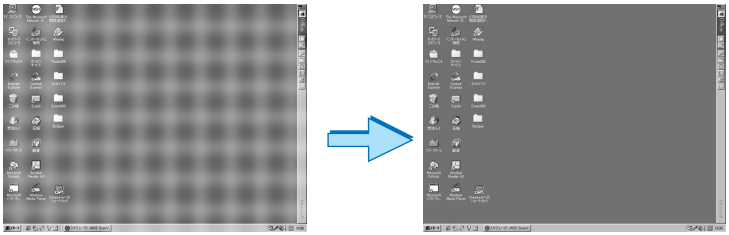
パソコンの画面を投写している場合、投写画面の端が切れていたり、映りが悪いときに、ワンタッチで画質を調整します。

1 (AUTO ADJUST) **ボタンを押す。**

[砂時計] アイコンが表示され、しばらくすると投写画面の表示が自動調整されます。

・リモコンで操作する場合は、(AUTO ADJ.) ボタンを押します。





【映りが悪い画面の例】　【自動調整後の画面の例】

参考

- 自動調整を行っても表示位置がずれていたり、画面に縦縞が出たりして映りが悪い場合は、手動で画面の調整を行ってください。(103ページ)
- パソコンの画面がうまく投写できない場合は、136ページを参照してください。

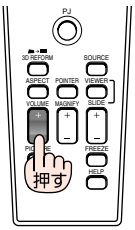
3-7. 本機の音量を調整する

本機の内蔵スピーカの音量、および音声出力端子(AUDIO)から出力されている音声信号の音量を調整します。

1 **リモコンの** (VOLUME +/−) **ボタンを押す。**

＋側…音量が大きくなります。

−側…音量が小さくなります。



参考

- 工場出荷時、音量は20に設定されています。
- 画面に本機のメニューが表示されていないときは、本体の (SELECT ◀/▶) ボタンでも音量を調整できます。

3-8. 本機の電源を切る

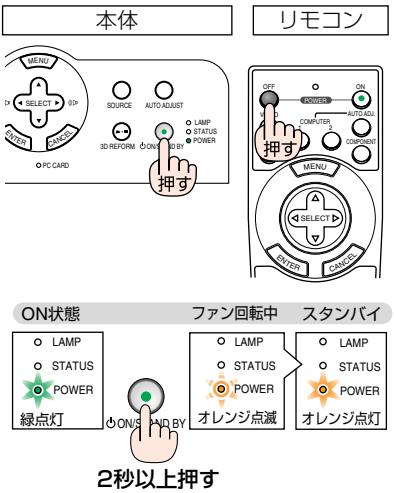
1 POWER (ON/STAND BY) ボタンを2秒以上押す。

電源が切れPOWERインジケータがオレンジ色に変わります（スタンバイ状態）。

・リモコンで操作する場合は、POWER (OFF) ボタンを2秒以上押します。

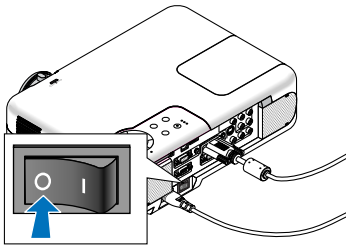
注意

- 電源を入れた直後のランプの点灯準備中、およびその後のPOWERインジケータ点滅中（約30秒間）は電源を切ることができません。



2 主電源スイッチを「○（切）」にする。

本機のPOWERインジケータが消え、主電源が切れます。



注意

- 次のような場合は、主電源スイッチを切ったり電源プラグをコンセントから抜かないでください。
  機器が故障するおそれがあります。
  - 砂時計アイコンが表示されているとき
  - 電源を切ったあとのファンの回転中（ファンは約10秒間回転します）

3-9. あとかたづけ

準備：本機の主電源スイッチが「〇（切）」になっていることを確認してください。

1 **電源コードを取り外す。**

2 **各種信号ケーブルを取り外す。**

3 **チルトフットを伸ばしていたら、もとに戻す。**

4 **レンズにレンズキャップを取り付ける。**

5 **本機、および添付品を、ソフトキャリングケースに収納する。**

第4章

便利な機能

4-1. 「プロジェクタモード」と「パソコンモード」の切り替え …… 48
4-2. 映像と音声を消去する …… 49
4-3. 動画を静止画にする …… 49
4-4. ポインタを表示／非表示／移動する … 50
4-5. 映像を拡大する …… 51
4-6. 本機の操作説明を投写する …… 52
4-7. 市販のUSBマウスを使って操作する …… 53
4-8. 本機のリモコンでパソコンのマウス操作を行う …… 54
4-9. 台形歪みを調整する（4点補正） …… 56
4-10. 投写画面に文字や図形を描く（チョークボード） …… 58
4-11. 本機で投写している画像を保存する（キャプチャ） …… 60
4-12. セキュリティを設定して無断使用を防止する …… 62
4-13. USBメモリ、およびUSBメモリカードリーダーを使用する …… 67

4-1. 「プロジェクタモード」と「パソコンモード」の切り替え

本機のリモコンには、「プロジェクタモード」と「パソコンモード」という2つの操作モードがあります。プロジェクタモードとパソコンモードでは、(SELECT ▼▲◀▶) ボタン、(ENTER) ボタン、(CANCEL) ボタンの働きが異なりますので注意してください。

● プロジェクタモード

(SELECT ▼▲◀▶) ボタン	本機の音量調整やメニューの項目選択を行います。
(ENTER) ボタン	選択した項目を決定します。
(CANCEL) ボタン	操作を取り消します。

●パソコンモード

本機のリモコンを使って、本機とUSBケーブルで接続しているパソコンのマウス操作を行うモードです。(54ページ)

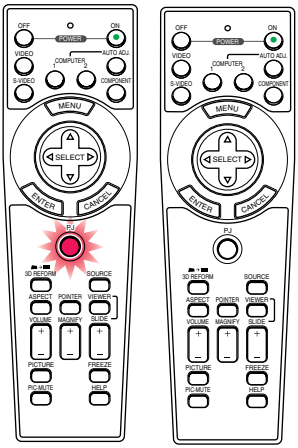
(SELECT ▼▲◀▶) ボタン	マウスポインタを移動します。
(ENTER) ボタン	左クリックの働きをします。
(CANCEL) ボタン	右クリックの働きをします。

「プロジェクタモード」と「パソコンモード」の切り替え

リモコンの操作モードは、リモコンの(PJ) ボタンの点灯状態で確認することができます。

(PJ) ボタン点灯時(赤色)	プロジェクタモードです。
(PJ) ボタン消灯時	パソコンモードです。

・リモコンの(PJ) ボタンを押すと、(PJ) ボタン自体が赤く点灯します。
・もう一度(PJ) ボタンを押すと、(PJ) ボタンは消灯します。
・POWER (ON) (OFF) ボタン、(MENU) ボタンなどを押すと、プロジェクタモード ((PJ) ボタンが赤色点灯) になります。
・プロジェクタモード ((PJ)ボタンが赤色点灯) のときに、約60秒間リモコン操作を行わないと、自動的にパソコンモード ((PJ) ボタンが消灯) に変わります。



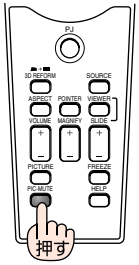
プロジェクタモード　パソコンモード

4-2. 映像と音声を消去する

1 リモコンの (PIC-MUTE) ボタンを押す。

投写されている画像と、内蔵スピーカおよび音声出力端子(AUDIO)から出力されている音声が一時的に消えます。

・もう一度 (PIC-MUTE) ボタンを押すと、画像と音声が出ます。



参考

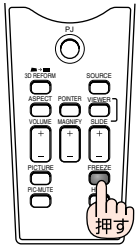
- 画像は消えますが、メニュー表示は消えません。
- [ランプモード]を「ノーマルモード」に設定しているとき、PIC-MUTE中はランプの輝度がさがります(エコモードになります)。
  その後、PIC-MUTEを解除するとランプの輝度がもとに戻ります(ノーマルモードに戻ります)。

4-3. 動画を静止画にする

1 リモコンの (FREEZE) ボタンを押す。

ビデオの映像を投写しているときなど、動画が静止画になります。

・もう一度 (FREEZE) ボタンを押すと、動画に戻ります。

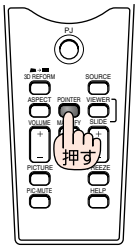


参考

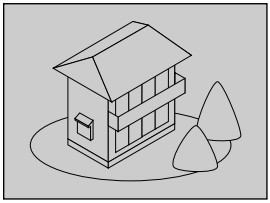
- (FREEZE) ボタンを押すと、押すときに投写されていた画像を静止画メモリに保存し、静止画メモリ内の画像(静止画)を映します。静止画表示中、ビデオなどの映像再生は先に進行しています。
- (FREEZE) ボタンを押して静止画にした画面をフラッシュメモリカードに保存することができます(キャプチャ)。(60ページ)

4-4. ポインタを表示／非表示／移動する

1 リモコンの(POINTER)ボタンを押す。

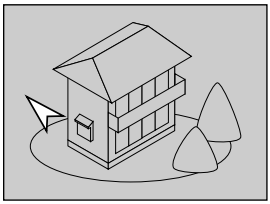


画面にポインタが表示されます。



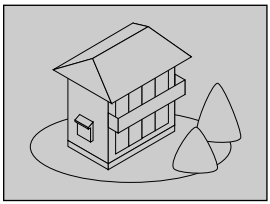
2 (SELECT ▼▲◀▶)ボタンを押す。

ポインタが移動します。



3 再び(POINTER)ボタンを押す。

ポインタが消えます。



注意

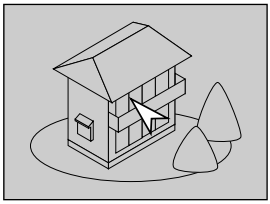
- (POINTER)ボタンを押して60秒間操作をしないと、リモコンはパソコンモードに戻ります。
  (PJ)ボタンを押して(PJ)ボタンを再び点灯させると(SELECT ▼▲◀▶)ボタンが動作します。

参考

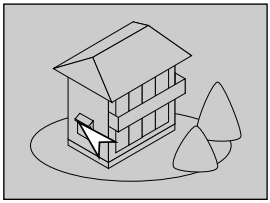
- ポインタの形状はオンスクリーンメニューの[セットアップ]→[ページ5]→[ポインタ]で選択できます。(116ページ)

4-5. 映像を拡大する

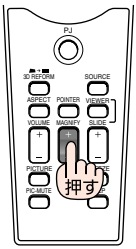
1 **リモコンの（POINTER）ボタンを押す。**
画面にポインタが表示されます。



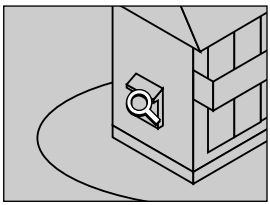
2 **（SELECT ▼▲◀▶）ボタンを押して、拡大したい位置までポインタを移動する。**



3 **（MAGNIFY＋）ボタンを押す。**
押すごとに画像が拡大します。
・最大4倍まで拡大できます。
・画像が拡大すると、ポインタが「🔍」に変わります。



4 **（SELECT ▼▲◀▶）ボタンを押す。**
拡大した画像の表示領域が移動します。



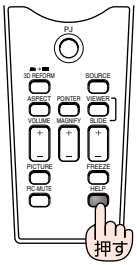
5 **（MAGNIFY －）ボタンを押す。**
押すごとに画像が縮小します。
・拡大する前の画像に戻ると、「🔍」が通常のポインタ表示に戻ります。

参考

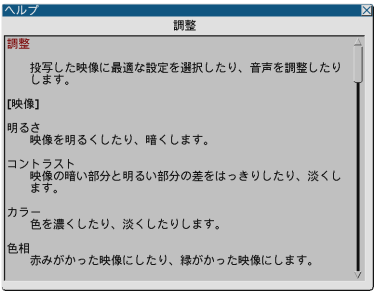
- ポインタを表示しなくても、（MAGNIFY＋）ボタンで画面を拡大することができます。ポインタが表示されていない場合は、画面を中心にして拡大（およびもとのサイズに戻る）します。
  また、画面を拡大したとき、（SELECT ▼▲◀▶）ボタンを押して投写範囲を移動することができます。

4-6. 本機の操作説明を投写する

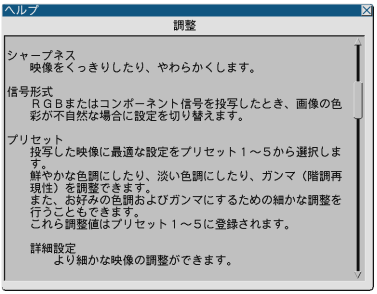
1 **リモコンの(HELP)ボタンを押す。**



・メニューが表示されていないときは、「ヘルプの使い方」画面が表示されます。
・メニューが表示されているときは、カーソルが合っている機能の説明画面が表示されます。



2 **(SELECT▼/▲)ボタンを押して、説明画面をスクロールする。**

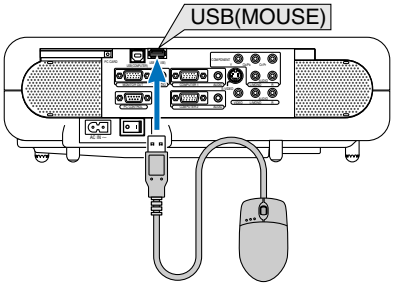


3 **(CANCEL)ボタンを押す。**
ヘルプ画面が閉じます。

4-7. 市販のUSBマウスを使って操作する

市販のUSBマウスを本機に接続すると、USBマウスを使って、オンスクリーンメニューなどを操作することができます。

USBマウスの接続



1 USBマウスの平形プラグを、本機のUSBポート（タイプA）に差し込む。

- USBマウスを接続すると、画面にマウスポインタが表示されます。
- 約10秒間マウス操作を行わないと、マウスポインタは消えます。
- 再びマウス操作を行うと、マウスポインタが表示されます。

USBマウスでの操作

1 USBマウスで右クリックする。

オンスクリーンメニューが表示されます。

- オンスクリーンメニューが表示されているときに、メニュー画面以外のところをクリックすると、メニューが消えます。

2 選択したい項目にマウスポインタを移動し、左クリックする。

項目が選択されます。

【操作例】

- 調整は［◀］［▶］を左クリックします。
  調整バーをクリックしたまま、左右にドラッグ（移動）して調整することもできます。
- 調整を確定する場合は、［×］を左クリックします。またはオンスクリーンメニュー画面上で右クリックします。
- ［?］を左クリックすると、その項目の［ヘルプ］を表示します。
- メニュー画面（調整ウインドウ）のタイトルバー部分を左クリックしたままドラッグすると、メニュー画面の表示位置を移動できます。
- オンスクリーンメニューが表示されていないときに左クリックすると、信号選択画面が表示されます。

注意

- USBマウスによっては、本機で使用できないものがあります。
  使用可能なUSBマウスについては、当社ホームページ（http://www.nevt.co.jp/pjs/support/move_check.html）をご覧ください。

参考

- マウスポインタの形状（デザイン）は変更することができます。オンスクリーンメニューの［セットアップ］→［ページ5］の［マウス設定］で選択します。（116ページ）
- “スクロールボタン”または“スクロールホイール”付きのUSBマウスの場合は、次の操作が行えます。
  - ［ヘルプ］などスクロールバーが表示されているメニュー上で、“スクロールボタン”または“スクロールホイール”を使ってスクロールすることができます。
  - 各種調整メニュー上で、“スクロールボタン”または“スクロールホイール”を使って調整バーを動かすことができます。
  - メニュー表示以外の部分にマウスポインタを動かして“スクロールボタン”またはスクロールホイール”をクリックすると、チョークボードツールバーの表示／消去ができます。

4-8. 本機のリモコンでパソコンのマウス操作を行う

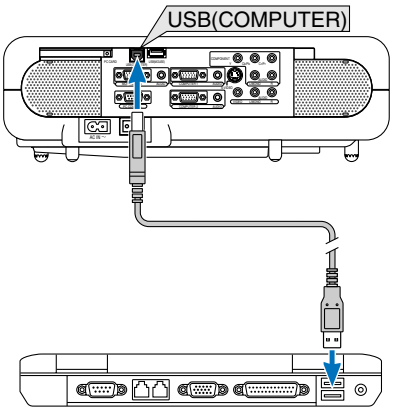
本機のリモコンを使って、本機と接続しているパソコンのマウス操作を行います。
リモコンは、パソコンモードに切り替えて操作します。（48ページ）

USBケーブルの接続

添付のUSBケーブルを使用して、本機とパソコンを接続します。

1 USBケーブルの角形のプラグを本機のUSBポート（タイプB）に差し込む。

2 USBケーブルの平形のプラグをパソコンのUSBポート（タイプA）に差し込む。



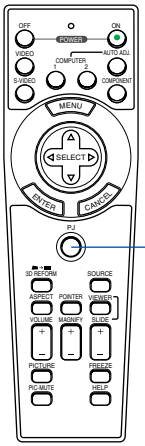
注意

- PC98-NXシリーズ、DOS/V対応機の場合、Windows 98/Me/2000/XP以外のOSでは使用できません。
- USBポートからプラグを抜いて再び差し込む場合は、抜いたあと5秒以上おいてから差し込んでください。瞬間的なプラグの差し込みを行うと、パソコンが本機を正しく認識できないことがあります。

リモコンを使ったパソコンのマウス操作

1 本機のリモコンの (PJ) ボタンが赤く点灯していないことを確認する。

(PJ) ボタンが赤く点灯している場合は、(PJ) ボタンを押して、(PJ) ボタンを消灯してください。



2 (SELECT ▼▲◀▶) ボタン、(ENTER) ボタン、(CANCEL) ボタンを押してパソコンを操作する。

- (SELECT ▼▲◀▶) ボタン …マウスポインタを移動します。
- (ENTER) ボタン ……左クリックの働きをします。
- (CANCEL) ボタン ……右クリックの働きをします。

参考

- パソコンモードのとき(ENTER) ボタンを2～3秒押し続けてから離すとドラッグモードになります。そのまま(SELECT ▼▲◀▶) ボタンを押すとドラッグ操作ができます。ドラッグ＆ドロップするときは(ENTER) ボタンを、ドラッグモードを解除するときは(CANCEL) ボタンを押します。
- リモコンを使って、本機の音量調整やメニューの選択を行う場合は、リモコンをプロジェクタモードに切り替えてください。(48ページ)

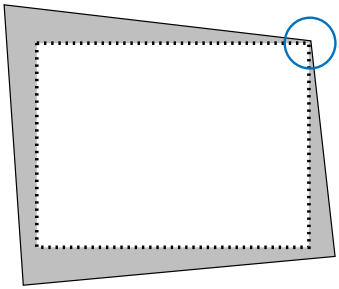
4-9. 台形歪みを調整する（4点補正）

［4点補正］画面を表示して、投写画面の台形歪みを調整します。

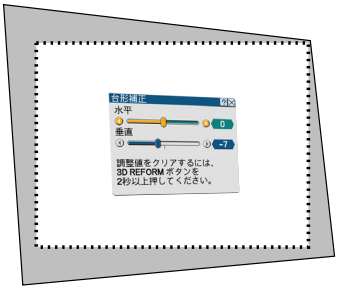
1 (3D REFORM) **ボタンを2秒以上押す。**
［台形補正］または［4点補正］の調整値がクリアされます。

2 スクリーンがすべて含まれるように、投写画面の範囲を調整する。

3 スクリーンと投写画面の角を合わせる（図は右上の角）。



4 (3D REFORM) **ボタンを押す。**
［台形補正］画面が表示されます。
・［台形補正］画面の操作については、「3-5.台形歪みを調整する」をご覧ください。
（ 42ページ）



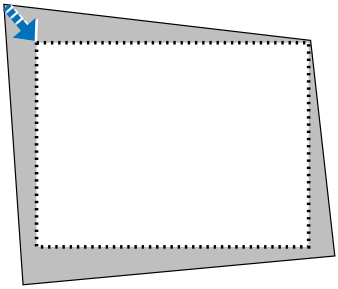
5 もう一度 (3D REFORM) **ボタンを押す。**
［4点補正］画面に切り替わります。

注意
- すでに［台形補正］画面で調整していると、［4点補正］画面は灰色表示になり調整できません。灰色表示になっている場合は、(3D REFORM) ボタンを2秒以上押して［台形補正］の調整値をクリアしてください。

6 (SELECT ▼▲◀▶) **ボタンを押して、画面の外枠を動かしたい角の「▲」を選ぶ（図は左上の ◤ ）。**

7 (ENTER) **ボタンを押す。**

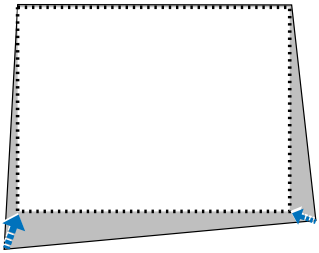
8 (SELECT ▼▲◀▶) ボタンを押して、投写画面の角がスクリーンの角に近付くように動かす。



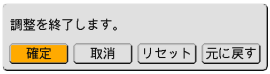
9 (ENTER) ボタンを押す。

10 (SELECT ▼▲◀▶) ボタンを押して、別の角の「▲」を選ぶ。

11 手順 **7** ～ **10** を繰り返し、台形歪みを調整する。



12 台形歪みの調整が終わったら、[4点補正] 画面で [終了] を選んで、(ENTER) ボタンを押す。
調整終了画面が表示されます。



13 (SELECT ◀/▶) ボタンを押して [確定] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
4点補正の調整が確定されます。
・[取消] を選択して (ENTER) ボタンを押すと、[4点補正] 画面に戻ります。

注意

- 本機の電源を入れたとき、前回使用時から本機の傾きが変わっていると、前回使用時の4点補正の調整値はクリア（工場出荷時に戻す）されます。本機の傾きが前回と同じであれば、4点補正の調整値は保持されます。
  本機の傾きを変えても前回使用時の4点補正の調整値を保持したい場合は、オンスクリーンメニューの [台形補正] を「手動」に設定してください。（107ページ）
- 台形歪みの調整値をクリアする場合は、手順 **13** で [リセット] を選び、(ENTER) ボタンを押します。または、[4点補正] 画面で (3D REFORM) ボタンを2秒以上押します。
- [4点補正] は電気的な補正を行っているため、画質が劣化する場合があります。

参考

- 市販のUSBマウスを本機に接続すると、［4点補正］をUSBマウスで操作することができます。その場合、「4点補正」画面は表示されません。
  左クリックで４つの角の位置合わせを行い、右クリックで調整終了画面を表示します。
  USBマウスの接続については53ページをご覧ください。
- 4点補正および台形補正での調整範囲は次の通りです。

	水平方向	垂直方向
4点補正	最大±約35度	最大　±約40度
台形補正	最大±約27度	

※ 上記の最大調整範囲の条件（すべてを満たす場合）
- スクリーンサイズが約100型の場合。
- ズームレバーをワイド側に最大にした場合。
- 入力信号がXGA信号の場合。
  本機の表示画素数より上の解像度の信号を入力した場合は調整範囲が狭くなります。
- メニュー項目を次のように設定した場合。
  ［アスペクト］……「4：3」
  ［スクリーンタイプ］（スクリーン設定）……「4：3」
  上記以外の設定では調整範囲は狭くなります。
- 水平･垂直を各々単独で調整した場合。
  水平･垂直を組み合わせて調整すると、調整範囲は狭くなります。

- 本機は、［4点補正］または［台形補正］を行った画面の形をほぼ保ったまま、レンズズームで画面サイズを変更することができます。

4-10. 投写画面に文字や図形を描く（チョークボード）

市販のUSBマウスを本機に接続すると、あたかも“ホワイトボードに図形を描く”ように、投写画面にフリーハンド（自由曲線）の図形を描くことができます。この機能を「チョークボード」と言います。

- PCカードスロットにフラッシュメモリカードをセットすると、チョークボード画面をキャプチャすることができます。（60ページ）
- 本体の(SOURCE)ボタンやリモコンの入力選択ボタンで入力信号が切り替えられたときは、チョークボードは終了します。

チョークボード画面を表示する

重要

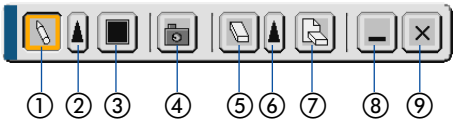
- USBマウスに“スクロールボタン”または“スクロールホイール”が付いていない場合は、オンスクリーンメニューの［セットアップ］→［ページ5］→［チョークボード］を選択してください。

準備：本機に市販のUSBマウスを接続してください。（53ページ）

1 USBマウスの“スクロールボタン”または“スクロールホイール”をクリックする。

画面の左下にチョークボードツールバーが表示されます。

チョークボードツールバー（各アイコンの働き）



① **ペン**　左クリックすると、マウスポインタがペンポインタに変わり、描画モードになります。

② **ペンの太さ**　左クリックして、ペンの太さを選択します。

③ **カラー**　左クリックして、ペンの色を選択します。

④ **キャプチャ**　チョークボードで描いた図形と投写画面を合成し、キャプチャ（画面の保存）を実行します。（60ページ）

⑤ **消しゴム**　左クリックすると、マウスポインタが消しゴムポインタに変わり、消去モードになります。

⑥ **消しゴムの太さ**　左クリックして、消しゴムの太さを選択します。

⑦ **クリア**　左クリックすると、描画した絵柄がすべて消去されます。

⑧ **非表示**　左クリックすると、一時的にチョークボードツールバーを消します。画面上で右クリックすると、チョークボードツールバーが表示／非表示されます。

⑨ **終了**　左クリックすると、チョークボードを終了します。画面上に描画した絵柄は消えます。

線を引く

1 **[ペンの太さ] アイコンを左クリックして、ペンの太さを左クリックで選択する。**

2 **[カラー] アイコンを左クリックして、線の色を左クリックで選択する。**

3 **[ペン] アイコンを左クリックする。**
マウスポインタをチョークボードツールバーから離すと、マウスポインタがペンポインタに変わります。

4 **左クリックしたままマウスを移動する。**
マウスの軌跡通りに線が描かれます。

線を消す

1 **[消しゴムの太さ] アイコンを左クリックして、消しゴムの大きさを左クリックで選択する。**

2 **[消しゴム] アイコンを左クリックする。**
マウスポインタをチョークボードツールバーから離すと、マウスポインタが消しゴムポインタに変わります。

3 **左クリックしたままマウスを移動する。**
マウスの軌跡通りに線が消えます。

画面全体を消去する

1 **[クリア] アイコンを左クリックする。**
描画した絵柄が消去されます。

チョークボードを終了する

1 **[終了] アイコンを左クリックする。**
チョークボード画面が閉じます。

参考
- USBマウスの“スクロールボタン”または“スクロールホイール”をクリックしても、チョークボードを終了できます。

4-11. 本機で投写している画像を保存する（キャプチャ）

重要
- キャプチャ機能を使用して映像・写真・イラストなどを取り込んだり、取り込んだものを加工または編集する場合、著作者の目的となっている著作物は、個人で使用する以外は、著作権法により権利者に無断で使用できません。

1 **フラッシュメモリカードを本機のPCカードスロットにセットする。**
（71ページ）

2 **キャプチャする映像を投写する。**

3 **リモコンの(FREEZE)ボタンを押す。**
映像が静止画になります。

4 (MENU) **ボタンを押す。**
キャプチャメニューが表示されます。

5 **[キャプチャ] にカーソルが合っていることを確認し、(ENTER) ボタンを押す。**
画面がフラッシュメモリカードに保存されます。
・本機にUSBメモリやUSBメモリカードリーダーを接続しているときは、キャプチャメニューの [ドライブ] で保存先を選択してください。

注意
- キャプチャ中は、「砂時計」アイコンが表示されます。このとき、フラッシュメモリカードを抜いたり、本機の電源を切ったりしないでください。フラッシュメモリカードやUSBメモリが破損します。

キャプチャ（保存処理）が終了すると、「砂時計」アイコンが消えます。

6 **[終了] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。**
キャプチャメニューが消えます。

7 **リモコンの(FREEZE) ボタンを押す。**
静止画の状態が解除されます。
・別な画面をキャプチャする場合は、上の手順 **3** ～ **7** を繰り返します。
・キャプチャした画面を本機で投写する場合は、信号選択画面で［ビューワ］を選択してください。（69ページ）

注意
- フラッシュメモリカードを本機にセットしていないと［キャプチャ］は選択できません。
- キャプチャされた画像ファイルのサイズは、入力信号の解像度により異なります。
- キャプチャした画像は、JPEG形式で圧縮されるため、若干画質が劣化します。
- キャプチャには5～10秒かかります。解像度や絵柄によって、さらに時間がかかる場合があります。
- 正常に保存できなかったり、フラッシュメモリカードの空き容量がなくなった場合は、カードエラーが表示されます。

参考
- チョークボード画面をキャプチャすることもできます。（58ページ）

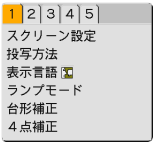
4-12. セキュリティを設定して無断使用を防止する

キーワードを設定することで、本機を無断で使用されないようにすることができます。

キーワードを入力し、セキュリティを有効にする

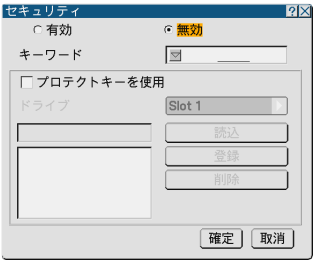
1 (MENU) **ボタンを押す。**
オンスクリーンメニューが表示されます。

2 (SELECT▶) **ボタンを押して [セットアップ] にカーソルを合わせ、**(ENTER) **ボタンを押す。**
ページタブ [1] にカーソルが移動します。



3 (SELECT▶) **ボタンを1回押してページタブ [2] にカーソルを合わる。**

4 (SELECT▼) **ボタンを押して [セキュリティ] にカーソルを合わせ、**(ENTER) **ボタンを押す。**
セキュリティ画面が表示されます。



5 (SELECT▼) **ボタンを1回押して [キーワード] 入力欄にカーソルを合わせ、**(ENTER) **ボタンを押す。**
文字入力画面が表示されます。

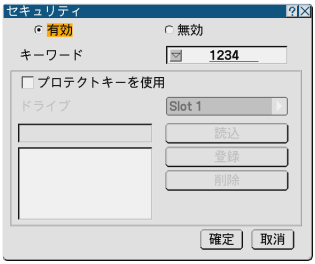
ここでは例として「1234」と入力してみます。

重要

- キーワードは、忘れないようにメモしておいてください。
- キーワードにスペース（SP）を含めることはできません。

❶[1]にカーソルが合っていることを確認し、(ENTER) ボタンを押す。
[キーワード] 入力欄に「1」と表示されます。
❷(SELECT▶) ボタンを 1 回押して、[2] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
[キーワード] 入力欄の表示が「12」に変わります。
❸手順❷と同様に [3] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
[キーワード] 入力欄の表示が「123」に変わります。
❹手順❷と同様に [4] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
[キーワード] 入力欄の表示が「1234」に変わります。
❺(SELECT▼) ボタンを押して [確定] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
文字入力画面が消えます。

6 (SELECT▲) ボタンを1回押して「無効」にカーソルを合わせ、(SELECT◀) ボタンを押す。
「有効」にカーソルが合います。



7 (SELECT▼) ボタンを押して [確定] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
確認画面が表示されます。

8 メッセージを確認し、(ENTER) ボタンを押す。
[セキュリティ] が設定されました。

参考
- フラッシュメモリカードをプロテクトキーとして登録することができます。
フラッシュメモリカードをプロテクトキーとして登録しておくと、本機の電源を入れる際に、そのフラッシュメモリカードを挿入することによりキーワード入力操作を省略できます。(109ページ)

セキュリティを確認する

本機の電源を一旦切り、再び電源を入れてセキュリティの設定を確認します。

1 本機の電源を切るために、POWER (ON/STAND BY) ボタンを2秒以上押す。
ランプが消灯し、POWERインジケータがオレンジ色で点滅します。
POWERインジケータがオレンジ色の点滅から点灯に変わるまで、しばらく待ちます。

2 POWERインジケータがオレンジ色の点灯に変わったら、主電源スイッチを「○(切)」にする。
本機の電源が切れます。

3 再度主電源スイッチを「I(入)」にする。
POWERインジケータがオレンジ色で点灯し、スタンバイ状態になります。

4 POWER (ON/STAND BY) ボタンを2秒以上押す。
本機の電源が入ります。
投写画面の下部に「セキュリティロック中です。キーワードを入力してください。」と表示されます。

5 (MENU) ボタンを押す。
オンスクリーンメニューが表示されます。

6 (SELECT▶) ボタンを押して［セットアップ］にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
ページタブ［1］にカーソルが移動します。

7 (SELECT▶) ボタンを1回押してページタブ[2]にカーソルを合わる。

8 (SELECT▼) ボタンを押して[セキュリティ]にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
キーワード入力画面が表示されます。

9 (ENTER) ボタンを押す。
文字入力画面が表示されます。

10 63ページの手順❶～❺を参照し、「1234」と入力する。
1文字入力するごとに「＊」が表示されます。キーワード入力欄に実際の文字は表示されません。

11 文字入力が終わったら、キーワード入力画面で［確定］にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
キーワード入力画面が消え、本機が使用できるようになります。

セキュリティの設定を無効にする

1 (MENU) ボタンを押す。
オンスクリーンメニューが表示されます。

2 (SELECT▶) ボタンを押して［セットアップ］にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
ページタブ［1］にカーソルが移動します。

3 (SELECT▶) ボタンを1回押して、ページタブ[2]にカーソルを合わる。

4 (SELECT▼) ボタンを押して［セキュリティ］にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
キーワード入力画面が表示されます。

5 (ENTER) ボタンを押す。
文字入力画面が表示されます。

6 63ページの手順❶～❺を参照し、「1234」と入力する。
1文字入力するごとに「＊」が表示されます。キーワード入力欄に実際の文字は表示されません。

7 **文字入力が終わったら、キーワード入力画面で［確定］にカーソルを合わせ、(ENTER)ボタンを押す。**

キーワード入力画面が消え、セキュリティ画面が表示されます。

8 **［有効］にカーソルが合っていることを確認し、(SELECT▶)ボタンを押して［無効］にカーソルを合わせる。**

9 **(SELECT▼)ボタンを押して［確定］にカーソルを合わせ、(ENTER)ボタンを押す。**

［セキュリティ］が無効に設定されました。

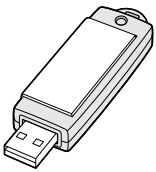
注意

- 再度セキュリティを「有効」にするときは、キーワード入力欄の文字列をもう一度確認してください（入力ミス防止のため）。
- キーワードを忘れてしまいセキュリティを解除できなくなった場合は、お客様お問い合わせ窓口（NECプロジェクタ・カスタマサポートセンター 裏表紙）にご連絡ください。

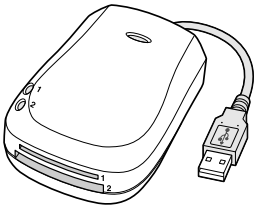
4-13. USBメモリ、およびUSBメモリカードリーダーを使用する

本書では、データの保存場所として、フラッシュメモリカードを主にして説明していますが、本機のビューワやセキュリティ（プロテクトキー）において、市販のUSBメモリが使用できます。また、市販のUSBメモリカードリーダーを本機に接続すると、各種メモリカード内のデータを扱ったり、各種メモリカードをプロテクトキーとして使用できます。

- 本機で使用可能なUSBメモリ、およびUSBメモリカードリーダーについては、当社ホームページ　http://www.nevt.co.jp/pjs/support/move_check.html　でご確認のうえ、市販品をお買い求めください。
- 市販のUSBメモリ、またはUSBメモリカードリーダーの端子を、本機のUSBポート（タイプA）に挿入します。
- ビューワのフォルダー一覧（74ページ）、キャプチャメニュー（60ページ）の［ドライブ］で「USB1」～「USB4」を選択します。USBドライブは最大4つまで認識できます。
- セキュリティでプロテクトキー（109ページ）として使用する場合は、［ドライブ］で「USB1」～「USB4」を選択します。



USBメモリ



USBメモリカードリーダー

注意

- 本機にUSBマウスを接続しているときは、USBメモリおよびUSBメモリカードリーダーは使用できません。
- USBメモリ、またはUSBメモリカードリーダーのアクセスランプが点灯･点滅しているとき（メモリ内のデータを読み書きしているとき）は、次の操作に注意してください。誤った操作を行うと、USBメモリまたはメモリカードが破損するおそれがあります。重要なデータは、パソコンなどにバックアップをとっておいてください。
  - ・本機のUSBポートからUSBメモリを抜いたり、USBメモリカードリーダーの端子を抜かないでください。
  - ・USBメモリカードリーダーからメモリカードを抜かないでください。
  - ・本機の主電源スイッチを切ったり、電源プラグを抜かないでください。
- 「USB1」～「USB4」のドライブ表示は、USBメモリまたはUSBメモリカードリーダーが本機に接続されているときにのみ表示されます。また、USBメモリカードリーダー本体のドライブ表示と異なる場合があります。
- USBメモリおよびメモリカードによっては、本機のプロテクトキーとして使用できないものがあります。

第5章

ビューワを使う

5-1. ビューワでできること …… 70

5-2. フラッシュメモリカードへ
データを保存する …… 71

5-3. フラッシュメモリカードを
本機にセットする …… 71

5-4. フラッシュメモリカードのデータを映す
（ビューワ） …… 73

5-1. ビューワでできること

ビューワとは、本機のPCカードスロットにフラッシュメモリカードをセットしたり、本機のUSBポート（タイプA）にUSBメモリをセットして、フラッシュメモリカード内やUSBメモリ内のデータを投写する機能です。
ビューワには次のような特長があります。

- プレゼンテーションで使用する発表資料などを、あらかじめフラッシュメモリカードやUSBメモリに保存しておくと、パソコンと本機を接続することなしに、発表資料をスクリーンに投写することができます。パソコンを持ち運ぶ必要がなく便利です。
- 本機を使って広告などを映す際、画像の自動切り替えができます。
- ワープロや表計算ソフトの画面、またはビデオ映像などをキャプチャし、ビューワで投写することができます（キャプチャ）。
- ビューワで表示している画像を本機のバックグラウンドロゴとして登録できます。
- デジタルカメラで撮影した画像を投写できます（JPEG、BMPのみ）。
- JPEG、BMP、Index*といった3種類のファイルを選択して投写できます。

＊ 添付のCD-ROMに収録されているDynamic Image Utilityで作成したファイル形式。

注意

- フラッシュメモリカードやUSBメモリは、最寄りのパソコンショップなどでお買い求めください。
- 本機で使用できるフラッシュメモリカードは、PCMCIA-Type 2（ATA仕様）のフラッシュメモリカードです。
- コンパクトフラッシュ、SDカードなどをアダプタを用いて変換した場合、本機で使用できないことがあります。使用可能なカードやUSBメモリについては、当社ホームページ（http://www.nevt.co.jp/pjs/support/move_check.html）をご覧ください。
- 本機は、FAT32形式やNTFS形式でフォーマットされたフラッシュメモリカードやUSBメモリを認識できません。
  本機にセットしたフラッシュメモリカードやUSBメモリが認識されない場合は、フォーマット形式を確認してください。
  本機のビューワやセキュリティで使用するフラッシュメモリカードやUSBメモリは、FAT16形式またはFAT形式でフォーマットしてください。
  フォーマット方法については、お使いのWindowsの取扱説明書またはヘルプファイルを参照してください。

5-2. フラッシュメモリカードへデータを保存する

フラッシュメモリカードやUSBメモリにデータを保存するには、次の方法があります。

Dynamic Image Utilityを使う

添付のUser Supportware CD-ROMに収録されているDynamic Image Utilityをパソコンにインストールして、パソコンで作成したPowerPointファイルなどを、フラッシュメモリカードやUSBメモリに保存します。
Dynamic Image Utilityで作成したファイルは、Index形式になります。
Dynamic Image Utilityについては、「6章 Dynamic Image Utilityを使う」およびDynamic Image Utilityのヘルプをご覧ください。

Windowsのエクスプローラなどを使って、ファイルをコピーする

ビューワを使って投写できるのは、JPEG、BMP、Indexなどの形式のファイルです。

ワープロや表計算ソフトの画面、またはビデオ映像を保存する

本機のキャプチャ機能を使用します。
詳しくは、「4-11. 本機で投写している画像を保存する（キャプチャ）」をご覧ください。（60ページ）

5-3. フラッシュメモリカードを本機にセットする

重要

- フラッシュメモリカードには表と裏があり、PCカードスロットに挿入する向きが決まっています。逆に挿入しようとしてもできないようになっていますが、無理に押し込もうとすると本体内のピンが折れて、PCカードスロットが壊れてしまいます。必ずラベル面を上に向けて挿入してください。
- メモリカード以外のコンパクトフラッシュタイプのカードは、本機にセットしないでください。PCカードアダプタを用いて本機にセットした場合、カードが破損することがあります。
- 誤った操作を行うと、PCカードスロットにセットしているカードが破損するおそれがあります。重要なデータは、パソコンなどにバックアップをとっておいてください。

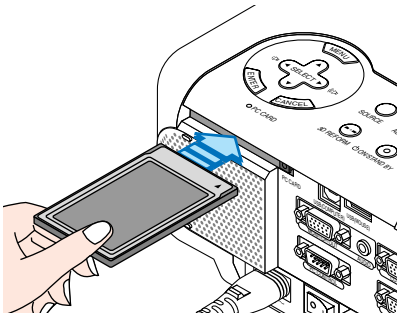
準備：本機の工場出荷時は、PCカードスロットに“ダミーカード”がセットされています。
本機をご購入後、はじめてフラッシュメモリカードをセットする際は、まずダミーカードを取り出してください（このページ「PCカードスロットからの取り出し」）。
PCカードスロットを使用しないときは、ダミーカードをセットしておくことをおすすめします。PCカードスロット内にほこりや異物が入り込むのを防止することができます。

PCカードスロットへのセット

1 **ラベル面を上にして水平にゆっくりと差し込む。**

・奥までしっかりと差し込んでください。

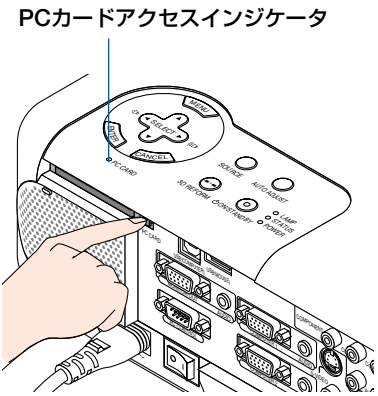
注意
- 挿入しづらい場合は、無理に押し込まないでください。



PCカードスロットからの取り出し

1 **PCカードアクセスインジケータが消灯していることを確認する。**

注意
- PCカードアクセスインジケータが点灯しているとき（カード内のデータを読み書きしているとき）は取り出さないでください。フラッシュメモリカードが破損します。

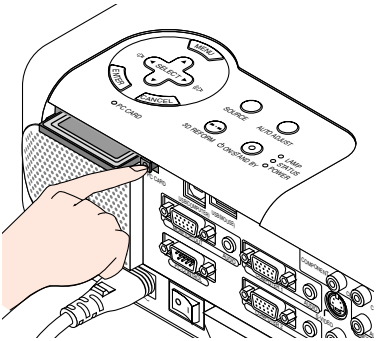


2 **PCカード取り出しボタンをゆっくりと押す。**

PCカード取り出しボタンが約5mm手前に出てきます。

3 **PCカード取り出しボタンをゆっくりと押す。**

セットしているカードが少し手前に出てきます。



4 **フラッシュメモリカードをゆっくりと引き出す。**

5-4. フラッシュメモリカードのデータを映す（ビューワ）

ビューワをスタートする

準備：投写する画像を保存したフラッシュメモリカードを本機のPCカードスロットにセットしてください。

1 (SOURCE) **ボタンを数回押して、「ビューワ」を選択する。**（37ページ）

ビューワ画面が表示されます（本機の工場出荷状態は「スライド画面」が表示されます）。

・ リモコンで操作する場合は、(VIEWER) ボタンを押してください。

ビューワ画面の操作

●スライド画面とサムネイル画面

- ビューワには「スライド画面」と「サムネイル画面」の2つの画面があります。

スライド画面

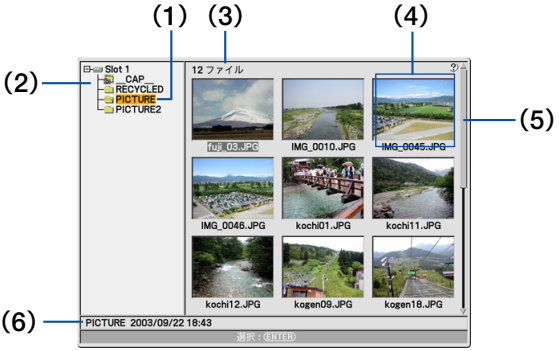
サムネイル画面

- 入力選択を［ビューワ］に切り替えた直後に「スライド画面」と「サムネイル画面」のどちらを表示するかは、ビューワメニューの［オプション］の［開始］で設定できます（本機の工場出荷状態は「スライド画面」に設定されています）。

●スライド画面をサムネイル画面に切り替える

- スライド画面からサムネイル画面に切り替えるには、スライド画面で (MENU) ボタンを押してビューワメニューを表示し、［サムネイル］にカーソルを合わせ (ENTER) ボタンを押します。

●サムネイル画面内の名称と操作



(1) カーソル

フォルダ名やファイル名がオレンジ色になっている部分をカーソルと呼びます。
SELECT ▼▲◀▶ ボタン、 ENTER ボタン、 CANCEL ボタンを押すとカーソルを移動できます。

(2) フォルダー覧

- 本機のPCカードスロットにセットしたフラッシュメモリカード(「Slot 1」と表示されます)のフォルダー覧を表示します。また、本機のUSBポート(タイプA)にUSBメモリやUSBメモリカードリーダーを接続した場合は、「USB1」、「USB2」と表示されます。(67ページ)
- 本機のキャプチャ機能を実行した場合は「__CAP__」という名前のキャプチャ専用フォルダが自動的に作成され、このフォルダ内にキャプチャした画面(JPEGファイル)が保存されます。(60ページ)
- SELECT ▼▲◀▶ ボタンを押すと、フォルダー覧内でカーソルが移動し、カーソルが合ったフォルダ内の画像ファイルが画面の右側にサムネイル表示されます。フォルダー覧内をカーソルが移動するたびにサムネイル表示が切り替わります。
- フォルダー覧に表示できるフォルダの数は、1つのドライブにつき13個までです(キャプチャ専用フォルダ含む)。
- 各ボタンの働きは次の通りです。

SELECT ▼/▲ ボタン	カーソルを上下のフォルダに移動できます。
SELECT ▶ ボタン	下の階層のフォルダにカーソルが移動します。 [+]マークが付いたフォルダの場合、省略表示されている下の階層のフォルダが表示されます。そして[−]マークに変わります。
SELECT ◀ ボタン	上の階層のフォルダにカーソルが移動します。 [−]マークが付いたフォルダの場合、下の階層のフォルダが省略されます。そして[+]マークに変わります。
ENTER ボタン	サムネイル/ファイル名にカーソルが移動します。
MENU ボタン	ビューワメニューを表示します。(76ページ)

(3) ファイル数

- フォルダー覧で指定したフォルダ内において、ビューワで表示可能なファイル数を表示します。
- スライドとして認識するファイルの数は、1つのフォルダにつき128個までです。

(4) サムネイル／ファイル名

- フォルダー一覧で指定したフォルダ内の画像ファイルのイメージを縮小して表示します（サムネイル）。サムネイル／ファイル名は、１画面に9個まで表示できます。
- サムネイルの下にはファイル名が表示されます。ファイル名が8文字を超える場合は、7文字目以降を省略して表示します。例えば、ファイル名が「FILE_NAME.JPG」のときは「FILE_N~1.JPG」と表示されます。
- ビューワメニューの［オプション］で、サムネイル表示を「オフ」（アイコン表示）にすると、画面の切り替えが早くなります。
- 各ボタンの働きは次の通りです。

SELECT ▼▲◀▶ ボタン	カーソルが上下左右のサムネイルに移動します。 ファイルが 9 個を超える場合、下段のサムネイルにカーソルがあるときに SELECT ▼ ボタンを押すと次の画面に切り替わります。また、次の画面で上段のサムネイルにカーソルがあるときに SELECT ▲ ボタンを押すと、前の画面に戻ります。 先頭の画面の上段のサムネイルにカーソルがあるときに SELECT ▲ ボタンを押すと、最終画面に切り替わります。また、最終画面の下段のサムネイルにカーソルがあるときに SELECT ▼ ボタンを押すと、先頭画面に切り替わります。
ENTER ボタン	カーソルが合っているサムネイルがスライド表示（画面一杯に拡大表示）されます。
CANCEL ボタン	フォルダー一覧にカーソルが移動します。
MENU ボタン	ビューワメニューを表示します。（76ページ）

(5) スクロールバー

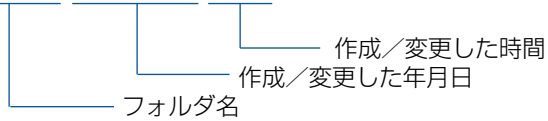
サムネイル表示が9個を超えると、画面の右側にスクロールバーが表示されます。

(6) 情報表示

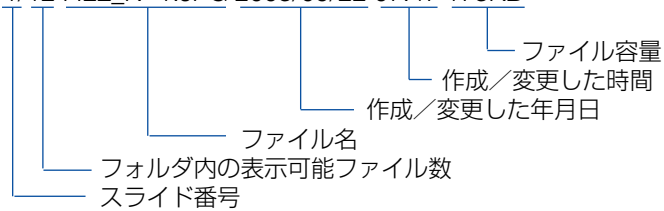
カーソルが合っているフォルダやファイルの情報を表示します。

【表示例】

フォルダの場合：PICTURE 2003/09/22 16:42



ファイルの場合：1/12 FILE_N~1.JPG 2003/09/22 07:47 173KB



ビューワメニュー

1 スライド画面またはサムネイル画面で (MENU) ボタンを押す。

ビューワメニューが表示されます。

・使用できない機能は灰色の文字で表示され選択できません。

・ビューワメニューを消す場合は (CANCEL) ボタンを押します。

●スライドショウを開始する（再生）

・スライド画面に切り替え、ビューワメニューの［オプション］の設定に従ってスライドショウを開始します。

・［オプション］で「手動」を設定しているときは、(SELECT ▶) ボタンを押して次のスライドを表示します。また、(SELECT ◀) ボタンを押すと１画面前のスライドを表示します。

・［オプション］で「自動」を設定して再生したときに (SELECT ◀/▶) ボタンを押すと、自動再生は解除され手動再生になります。

●スライドショウを止める（停止）

・スライドショウを自動再生しているときに、スライドの切り替えを一時停止します。再開する場合は、ビューワメニューの［再生］にカーソルを合わせ (ENTER) ボタンを押します。

●スライド一覧画面を表示する（サムネイル）

・スライド画面をサムネイル画面に切り替えます。

●キャプチャした画像を削除する（削除）

・キャプチャした画像を削除します。（60ページ）

・キャプチャ専用フォルダ「__CAP__」にカーソルを合わせ削除を実行すると、１度にすべてのキャプチャ画像を削除できます。ただし、キャプチャ専用フォルダ「__CAP__」は削除されません。

・キャプチャした画像以外は削除できません。

●バックグラウンドロゴを登録する（ロゴ）

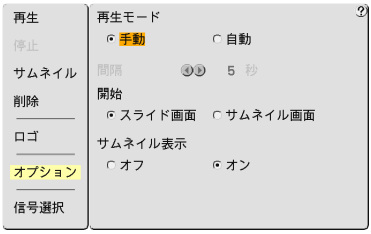
・カーソルが合っているファイル（画像）を、本機のバックグラウンドの絵柄として登録します。

・画像ファイルの形式はJPEGまたはBMPとし、ファイルサイズは256キロバイト以下にしてください。

注意

- バックグラウンドロゴを変更すると、［リセット］を行っても工場出荷時のロゴ（NECロゴ）には戻りません。
  バックグラウンドロゴを工場出荷時のNECロゴに戻すには、添付のUser Supportware CD-ROMに収録されているNECロゴ（¥Logo¥nec_bb_x.jpg）をフラッシュメモリカードにコピーしてください。そのフラッシュメモリカードを本機のPCカードスロットにセットし、ビューワで「NEC_BB_X.JPG」を選択して、ビューワメニューの［ロゴ］で本機に登録しなおしてください。

●ビューワオプションを設定する（オプション）



再生モード

手動	ビューワメニューで［再生］を選択したあと、(SELECT ◀/▶) ボタンを押してスライドを切り替えます。
自動	ビューワメニューで［再生］を選択すると、［間隔］で設定した時間ごとにスライドが自動的に切り替わります。

間隔

5～300秒	自動再生するときのスライドの切り替え間隔を設定します。

開始

スライド画面	信号選択で［ビューワ］に切り替えたときにスライド画面で表示します。
サムネイル画面	信号選択で［ビューワ］に切り替えたときにサムネイル画面で表示します。

サムネイル表示

オフ	サムネイル画面において、サムネイル表示をせずにアイコンで表示します。サムネイルを表示しないので、表示が早くなります。
オン	サムネイル画面において、サムネイル表示を行います。

●信号選択

・信号選択画面を表示します。

ビューワを終了する

1 (SOURCE) **ボタンを押して、[ビューワ] 以外の入力を選択する。**

・リモコンで操作する場合は、(VIEWER) ボタン以外の (COMPUTER) ボタンや (VIDEO) ボタンを押してください。

・ビューワメニューの [信号選択] で信号を切り替えることもできます。

第6章

Dynamic Image Utilitiyを使う

6-1. ソフトウェア使用許諾契約 …… 80

6-2. ソフトウェアの概要／動作環境 …… 81

6-3. 機器の接続 …… 83

6-4. ソフトウェアのインストール …… 84

6-5. ソフトウェアの起動／終了 …… 86

6-6. トラブルシューティング …… 88

6-1. ソフトウェア使用許諾契約

添付ソフトウェアをご使用される前に必ずお読みください

本ソフトウェア使用許諾契約（以下、「本使用許諾契約」といいます。）の内容を必ずご確認ください。添付のUser Supportware CD-ROMのインストーラ起動時に表示される、本使用条件の「はい」のボタンを押した場合、お客様は、本使用条件に同意したものとみなされます。また、お客様が本使用条件に同意できない場合は、「いいえ」のボタンを押してください。この場合、NEC Projector User Supportware（以下、「本ソフトウェア」といいます。）をご使用になれません。

【ソフトウェア使用許諾契約】

NECビューテクノロジー株式会社（以下、「弊社」といいます。）は、お客様に対し本ソフトウェアを下記条件に基づき使用する権利を許諾いたします。お客様が期待される効果を得るための本ソフトウェアの選択ならびに，本ソフトウェアの使用および使用の結果につきましては、お客様の責任とさせていただきます。

1．期間

（1）本使用許諾契約は、お客様が本使用条件に同意した日からお客様が本ソフトウェアおよび関連資料（ドキュメント等）を返却または廃棄することにより本使用許諾契約を解除する日まで有効とします。

（2）前項の定めにかかわらず、弊社は、お客様が本使用条件のいずれかの条項に違反されたときには、いつでも本使用許諾契約を解除することができます。
弊社が本使用許諾契約を解除した場合、お客様に許諾された本ソフトウェアの使用権も同時に終了するものとします。お客様は、本使用許諾契約を解除された場合、直ちに本ソフトウェアおよびそのすべての複製物を破棄するものとします。

2．使用権

お客様は、本ソフトウェアとともに提供されたプロジェクタまたは別途弊社が指定するプロジェクタ製品（以下、併せて「本製品」といいます。）を操作するためにパーソナルコンピュータ上で本ソフトウェアを使用することができます。

3．本ソフトウェアの複製、改変

（1）お客様は、本製品を使用するために、必要な限度で本ソフトウェアおよび関連資料を複製することができます。この場合、お客様は、本ソフトウェアのすべての複製物に、本ソフトウェアに付されている著作権表示およびその他の表示を付すものとします。

（2）お客様は、本使用許諾契約で明示的に許諾されている場合を除き、本ソフトウェアの使用、複製、改変、またはその他のいかなる処分も行うことはできません。

（3）本使用許諾契約は、本ソフトウェアに関するいかなる知的財産権もお客様に譲渡するものではありません。

4．本ソフトウェアの譲渡等

（1）お客様は、次の条件に該当する場合にのみ、本ソフトウェアを第三者に譲渡することができます。
a）本ソフトウェアおよび関連資料ならびにそれらのすべての複製物を第三者に譲渡し手元に一切を残さないこと。
かつ、
b）前号の定めに基づく譲渡を受けた第三者が、本使用許諾契約に合意すること。

（2）前項に明示した場合をのぞき、お客様は、いかなる場合であっても本ソフトウェアの使用権につき、再使用許諾、譲渡、移転その他の処分を行うことはできません。

5. 逆コンパイル等

お客様は、本ソフトウェアをリバース・エンジニア、逆コンパイルまたは逆アセンブルすることはできません。ただし、本条に定める行為が、適用ある法令により明示的に認められる場合はこの限りではありません。

6. 保証の制限

(1) 本ソフトウェアは、現状のままで提供されるものとし、本使用許諾契約に明示されたものを除き、弊社は、商品性および特定目的との合致性に関する保証ならびに第三者の権利を侵害しないことを含め、本ソフトウェアに関していかなる保証も行いません。

(2) 本ソフトウェアの記録媒体に本ソフトウェアの使用に支障をきたすような重大な欠陥があった場合において、お客様が本ソフトウェアの記録媒体をお受取りになった日から1 ヶ月以内に、本製品の保証書の写しを添えて、弊社または本製品をお求めになった取扱店に当該記録媒体を返却された時には、弊社は当該記録媒体を無償で交換するものとします。ただし、当該交換は、弊社が当該欠陥を自己の責によるものと認めた場合に限り、行うものとします。

7. 責任の制限

弊社は、いかなる場合も、お客様の逸失利益、特別な事情から生じた損害（損害発生につき弊社が予見し、または予見し得た場合を含みます。）および第三者からお客様に対してなされた損害賠償請求に基づく損害について一切責任を負いません。

8. その他

(1) 本使用条件は、日本法によって解釈されるものとします。

(2) お客様は、適用ある法令により輸出を禁止されたいかなる国にも本ソフトウェアを輸出することはできません。

6-2. ソフトウェアの概要／動作環境

本機には、プレゼンテーションをより簡単に効果的に行っていただけるように、便利なソフトウェアを添付しています。本章では、本機に添付されているソフトウェア（User Supportware CD-ROMに収録）の概要や使用方法について説明しています。各ソフトウェアのヘルプとあわせてご覧ください。

ソフトウェアの概要

●User Supportware CD-ROMの構成

User Supportware CD-ROM（以降、CD-ROMと省略します）には、次のソフトウェアを収録しています。

- **Dynamic Image Utility 2.0**
- **Viewer PPT Converter 2.0**
- **Image Express Utility 1.0** **注意：本機では使用できません。**

各ソフトウェアの機能や操作方法は、各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

●添付ソフトウェアでできること

Dynamic Image Utility 2.0

- PowerPointファイルやJPEG画像などを変換して、プロジェクタのビューワ機能で表示することができるスライドを作成します。
- ワープロや表計算ソフト、ブラウザなどの画面から、プレゼンテーションに必要な部分をキャプチャすることができます。
- 作成したスライドをフラッシュメモリカード(*1)に保存し、プロジェクタのPCカードスロットにセットすると、パソコンを接続せずにスライドをスクリーンに投写することができます。
- パソコンとプロジェクタを、ネットワーク環境(*2)でつないだり、USBケーブル(*3)や、シリアルケーブルで接続すると、次のことが行えます(ネットワーク環境、USBケーブル(*3)の場合は、複数台への対応が可能)。
  (1) パソコンからプロジェクタへ画像やスライドを送信し、スクリーンに投写することができます。Microsoft PowerPoint 2000/2002をお使いの場合は、スライドショーのページ送りに同期してスライドを送信できます。
  (2) パソコンを使ってプロジェクタの電源の入／切や画質の調整などを制御したり、ランプの残り時間を表示したりできます(プロジェクタコントロール機能)。

Viewer PPT Converter 2.0

- Microsoft PowerPoint 95/97/2000/2002で作成したファイルを、プロジェクタのビューワ機能で直接再生できるように独自のIndex 形式に簡単な操作で変換します。
- Microsoft PowerPoint 2000/2002をお使いの場合は、PowerPoint からViewer PPT Converter 2.0を起動することができます(PowerPointへアドイン登録)。

Image Express Utility 1.0　**注意：本機では使用できません。**

- パソコンで表示している画面を、ネットワーク環境(*2)を使ってプロジェクタに送信し、スクリーンに投写することができます。
- プロジェクタへ画面を送信する方法として、一定時間ごとにパソコンの画面を自動的に送信する「リアルタイム送信」と、画面のボタンをクリックして(または、キーを押して)画面を送信する「ワンショット送信」の2つがあります。

＊1：市販されているPCMCIA-Type 2（ATA仕様）のフラッシュメモリカードをお買い求めください。
＊2：本機ではネットワーク環境を使用できません。
＊3：本機ではUSBケーブルを使った通信はできません。

●本ソフトウェアのバージョンアップ情報について

NEC Projector User Supportware(Dynamic Image Utility、Viewer PPT Converter、Image Express Utility)のバージョンアップ情報については、当社プロジェクタのサポートページ(http://support.nevt.co.jp/vlclub/download/index.html)をご覧ください。

動作環境

●対応プロジェクタ

以下のNECプロジェクタに対応しています。

GTシリーズ	**GT6000 / GT5000**
MTシリーズ	**MT1065J / MT1060J**
LTシリーズ	**LT260J / LT260SJ / LT220J / LT260JK / LT260SJK**
WTシリーズ	**WT600J**
VTシリーズ	**VT770J**

●ソフトウェアの動作環境（本機で使用する場合）

対応機種	DOS/V対応機（IBM PC/AT互換機） NEC PC98-NXシリーズ ・CD-ROMドライブ必須（インストール時に必要）
CPU	Pentium MMXプロセッサ以上必須 PentiumIII 800MHz以上推奨
メモリ	Windows XPの場合 ・128メガバイト以上必須 ・192メガバイト以上推奨 その他の場合 ・64メガバイト以上必須 ・128メガバイト以上推奨 ※同時に実行するアプリケーションによっては、さらに必要になる場合があります。
対応ＯＳ	Windows 98、Windows 98 SecondEdition、Windows Me、Windows 2000 Professional、Windows XP HomeEdition、Windows XP Professional、 Windows XP Tablet PC Edition ※以上の環境において、Microsoft Internet Explorer 5.01以上が必要 ※Windowsの省電力機能には対応していません。
解像度	1024ドット×768ラインを推奨
画面の色	High Color （15ビット、16ビット） True Color （24ビット、32ビット）

6-3. 機器の接続

●できること

- Dynamic Image Utility 2.0を使って、画像やスライドをプロジェクタに送信しスクリーンに投写することができます。
- Dynamic Image Utility 2.0を使って、パソコンからプロジェクタの電源の入/切や信号選択、画質の調整などの操作を行うことができます（プロジェクタコントロール機能）。

●準備する機器

・プロジェクタ（本機）
・パソコン
・シリアルケーブル（本機では市販のRS-232Cクロスケーブルを使用します。）

●プロジェクタ側の接続

シリアルケーブルを、PCコントロール端子（PC CONTROL）に差し込んでください。
（19ページ）

●パソコン側の接続

シリアルケーブルを、シリアル端子（RS-232C）に差し込んでください。

6-4. ソフトウェアのインストール

注意
- ここでは、Windows XPでの操作を例に説明しています。
- Windows 2000の場合、ソフトウェアのインストール／アンインストールは、「Administrators」権限で行ってください。また、Windows XPの場合は「コンピュータの管理者」権限で行ってください。
- お使いのパソコンにNEC Projector User Supportware (Dynamic Image Utility 2.0、Viewer PPT Converter 2.0)がインストールされている場合は、インストールする前にNEC Projector User Supportware (Dynamic Image Utility 2.0、Viewer PPT Converter 2.0)をアンインストールしてください。

インストール

Dynamic Image Utility 2.0とViewer PPT Converter 2.0を一括してインストールします。
各々のソフトウェアを個別にインストールすることはできません。

準備：Windowsを起動してください。
Windowsがすでに起動している場合は、起動中のアプリケーションソフトをすべて終了してください。終了させないと、インストールが正常終了しない場合があります。

1 CD-ROM をCD-ROMドライブへセットする。

User Supportware CD-ROMのセットアップ画面が表示されます。

参考
- セットアップ画面が表示されないときは...
  1. ［スタート］をクリックする。
  2. ［ファイル名を指定して実行（R)］をクリックする。
     「ファイル名を指定して実行」画面が表示されます。
  3. ［名前（O)］にCD-ROM ドライブ名（例：「Q：￥」）と「SETUP.EXE」を続けて入力する。
     ・CD-ROMドライブ名は、お使いのパソコンによって異なります。
  4. ［OK］をクリックする。
     セットアップ画面が表示されます。

2 「はじめにお読みください」をクリックする。

「NEC Projector User Supportwareの概要」（readme.txt）が表示されます。

3 記載内容を確認したら、readme.txtウインドウの☒をクリックする。

readme.txtウインドウが閉じます。

4 **[Dynamic Image Utility 2.0 をインストールする] をクリックする。**

しばらくすると、インストールの準備が始まります。
インストールの準備が終わると、「ようこそ」画面が表示されます。

5 **「ようこそ」画面で [次へ (N)>] をクリックする。**

「ソフトウェア使用許諾契約」画面が表示されます。
・「ソフトウェア使用許諾契約」の内容をよくお読みください。

6 **同意する場合は、[はい (Y)] をクリックする。**

・同意しない場合は、[いいえ (N)]をクリックして、インストーラを終了してください。

7 **以降、画面のメッセージに従って操作する。**

・Dynamic Image Utility 2.0がインストールされる際に、Viewer PPT Converter 2.0も一緒にインストールされます。
・再起動を要求するメッセージが表示されたら、Windowsを再起動してください。
・インストールが終了したら、CD-ROMドライブからCD-ROMを取り出してください。

本機では、Image Express Utility 1.0は使用できません。

参考

●添付ソフトウェアのインストール操作の途中で、中止したいときは [キャンセル] をクリックして、ダイアログボックスの指示に従ってください。

アンインストール

Dynamic Image Utility 2.0とViewer PPT Converter 2.0を一括してアンインストールします。
各々のソフトウェアを個別にアンインストールすることはできません。

1 **Windows の [スタート] をクリックする。**

2 **[コントロールパネル (C)] をクリックする。**

「コントロールパネル」画面が表示されます。

3 **[プログラムの追加と削除] をダブルクリックする。**

「プログラムの追加と削除」画面が表示されます。

4 一覧の中から「Dynamic Imame Utility 2.0」をクリックする。

5 [削除] をクリックする。
「コンピュータからDynamic Image Utility 2.0を削除しますか？」と表示されます。

6 メッセージを確認し、[はい（Y)] をクリックする。

7 以降、画面のメッセージに従って操作する。
アンインストールが終了すると、「プログラムの追加と削除」画面に戻ります。

8 [閉じる(O)] をクリックする。
「コントロールパネル」画面に戻ります。

6-5. ソフトウェアの起動／終了

注意 ●ここでは、Windows XPでの操作を例に説明しています。

Dynamic Image Utility 2.0

●ソフトウェアを起動する

準備：CD-ROMからパソコンへインストールしてください。（84ページ）
CD-ROMからは起動できません。

1 [スタート] メニューから [すべてのプログラム(P)] → [NEC Projector User Supportware] → [Dynamic Image Utility 2.0] をクリックする。
Dynamic Image Utility 2.0 が起動します。

参考 ●Dynamic Image Utility 2.0でPowerPointファイルを選択し、[ツール（T)] → [PowerPointファイル変換（P)] をクリックすると、Viewer PPT Converter 2.0に相当する機能を実行することができます。

●ヘルプを表示する

準備：Dynamic Image Utility 2.0を起動してください。

1 [ヘルプ(H)] をクリックする。
「ヘルプ」メニューが表示されます。

2 **[ヘルプ(H)]をクリックする。**
「ヘルプ」画面が表示されます。

●ソフトウェアを終了する

1 **[ファイル(F)]をクリックする。**
「ファイル」メニューが表示されます。

2 **[終了(X)]をクリックする。**
Dynamic Image Utility 2.0が終了します。

Viewer PPT Converter 2.0

●ソフトウェアを起動する

準備：(1) Microsoft PowerPointがインストールされていることを確認してください。PowerPointがインストールされていないと、Viewer PPT Converter 2.0は使用できません。
(2) CD-ROMからパソコンへインストールしてください。(84ページ)
CD-ROMからは起動できません。

1 **[スタート]メニューから[すべてのプログラム(P)]→[NEC Projector User Supportware]→[Viewer PPT Converter 2.0]をクリックする。**
Viewer PPT Converter 2.0が起動します。

参考
- Dynamic Image Utility 2.0の［ツール（T)］→［PowerPointファイル変換（P)］メニューから、Viewer PPT Converter 2.0に相当する機能を実行することもできます。
- Viewer PPT Converter 2.0は、Microsoft PowerPoint 2000/2002の［ツール（T)］→［NEC Projector User Supportware］→［ビューワ出力］メニューから起動することもできます。

●ヘルプを表示する

準備：Viewer PPT Converter 2.0を起動してください。

1 **[ヘルプ]をクリックする。**
「ヘルプ」画面が表示されます。

●ソフトウェアを終了する

1 **[終了]をクリックする。**
Viewer PPT Converter 2.0が終了します。

6-6. トラブルシューティング

※この章ではソフトウェア名を次のように省略しています。
Dynamic Image Utility 2.0→「DIU2.0」、Viewer PPT Converter 2.0→「PPTC2.0」

《現象》インストールが正常に終わらない。

チェックポイント	対　処
Windows 2000の場合「Administrators」権限でログオンしていますか？ また、Windows XPの場合「コンピュータの管理者」権限でログオンしていますか？	Windows 2000、およびWindows XPの場合は、左記の権限でログオンしてからインストールを行ってください。
インストールするパソコンにMicrosoft PowerPoint 2000/2002がインストールされていますか？ PowerPoint 2000/2002 がインストールされていないパソコンに本ソフトウェアをインストールすると、インストールの途中で“PPTViewer2.dllの自動登録に失敗した”という意味のメッセージが表示されます。	インストール途中に左記のメッセージが表示された場合は、PowerPointへアドイン登録されません。ただし、本ソフトウェアのインストールは正常に終了しています。 PowerPointへアドイン登録する場合は、PowerPoint 2000/2002がインストールされているパソコンに本ソフトウェアをインストールしてください。

《現象》Viewer PPT Converter 2.0が機能しない（PPTC2.0）。

チェックポイント	対　処
パソコンにMicrosoft PowerPointがインストールされていますか？	パソコンにPowerPointをインストールしてください。または、PowerPointがインストールされているパソコンにViewer PPT Converter 2.0をインストールしてください。

《現象》プロジェクタコントロール機能を使って、プロジェクタの電源が入らない（DIU2.0）。

チェックポイント	対　処
パソコンとプロジェクタがシリアルケーブルで接続されていますか？	シリアルケーブルで、パソコンとプロジェクタを接続してください。

《現象》PowerPointのアドイン登録を削除したい（PPTC2.0）。

チェックポイント	対　処
パソコンにMicrosoft PowerPoint 2000/2002がインストールされている場合、本ソフトウェアをインストールすると、PowerPointへのアドインが自動的に登録されます。	PowerPointのアドイン登録を削除する方法は、PowerPointのヘルプをご覧ください。 本ソフトウェアをアンインストールしてもPowerPointのアドイン登録は削除されません。

第7章

オンスクリーンメニュー

7-1. オンスクリーンメニューの基本操作 … 90

7-2. オンスクリーンメニュー一覧 …… 95

7-3. 調整 …… 97

7-4. 画像 …… 102

7-5. セットアップ …… 105

7-6. 情報 …… 117

7-7. リセット …… 118

7-8. 信号リスト …… 119

7-1. オンスクリーンメニューの基本操作

オンスクリーンメニュー画面の構成

本機で投写する画像の画質調整や本機の動作モードの切り替えなどは、オンスクリーンメニューを表示して行います。以降、「オンスクリーンメニュー」を「メニュー」と省略して記載します。
メニューを表示するには (MENU) ボタンを押します。また、メニューを消す場合は (CANCEL) ボタンを押します。

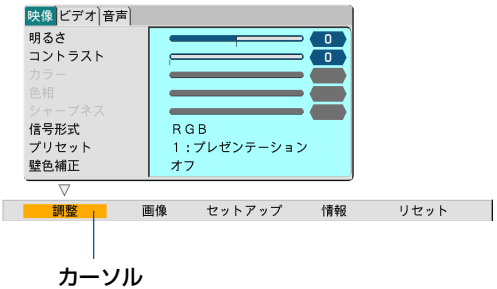
注意

- メニューを表示した状態で45秒間（工場出荷時の設定）操作しないと、メニューは自動的に消えます。その場合、(MENU) ボタン、(ENTER) ボタン、(CANCEL) ボタン、(SELECT ▼/▲) ボタンのいずれかを押すと、消える前の状態のメニューが表示できます。
- メニューが自動的に消えるまでの時間は変更することができます。（112ページ）
- インターレース信号の動画を映しているときにメニューを表示すると、画面が乱れる場合があります。

メニューを操作する

準備：本機の電源を入れて、スクリーンに画像を投写してください。

1 (MENU) ボタンを押す。
本機の工場出荷状態では、カーソルは［調整］に合っています。



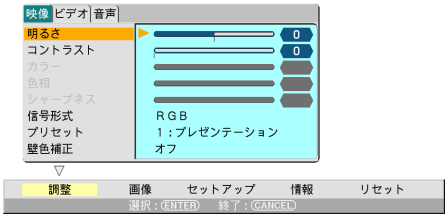
2 (SELECT ◀/▶) ボタンを押す。
カーソルがメニューバーの項目を移動し、ポップアップメニューが切り替わります。

3 メニューバーの [調整] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
ページタブ [映像] にカーソルが移動します。
・(SELECT ▼/▲) ボタンを押しても、カーソルをページタブへ移動できます。

4 (SELECT ▶) ボタンを3回押す。
ポップアップメニューが [映像] → [ビデオ] → [音声] → [映像] と切り替わり、それに応じてポップアップメニューも切り替わります。

5 カーソルが [映像] に合っていることを確認し、(SELECT ▼) ボタンを押す。

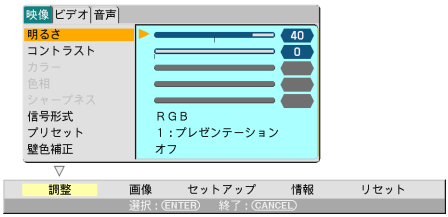
注意
● 入力信号によって、選択できない項目があります。
(97ページ)



6 [明るさ] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
[明るさ] のサブメニュー (調整バー) が表示されます。
・ポップアップメニューで調整したい項目にカーソルを合わせ、(SELECT ▶) ボタンを押してもサブメニューを表示できます。

7 (SELECT ◀/▶) ボタンを押す。
画像の明るさを調整できます。

8 調整が終わったら、(ENTER) ボタンを押す。
ポップアップメニューに戻ります。
・調整を取り消す場合は、(CANCEL) ボタンを押します。



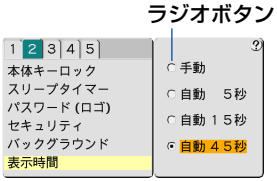
9 (CANCEL) ボタンを2回押す。
メニューが消えます。

調整画面、設定画面の操作例

●ラジオボタンの選択

2～4個の選択肢から１つ「◉」を選びます。

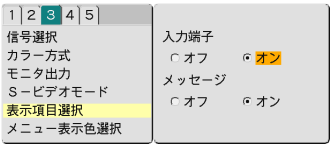
【例１】［表示時間］の選択



1 (SELECT ▼/▲) ボタンを押す。
選択されているマーク（◉）が移動します。

2 選択する項目に「◉」を移動したら、(ENTER) ボタンを押す。

【例２】［表示項目選択］の選択



1 (SELECT ▼/▲) ボタンを押して、設定する項目にカーソルを合わせる。
この画面の場合は「入力端子」と「メッセージ」のどちらを設定するかを選びます。

2 (SELECT ◀/▶) ボタンを押して、選択肢にカーソルを合わせる。
選択されているマーク（◉）が移動します。

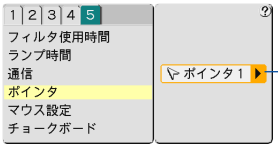
3 必要があれば手順 **1** **2** を繰り返す。

4 選択する項目に「◉」を移動したら、(ENTER) ボタンを押す。

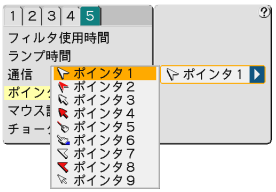
●プルダウンリストからの選択

リストの中から項目を選択します。
プルダウンリストには、項目名の右側に「▶」マークが付いています。

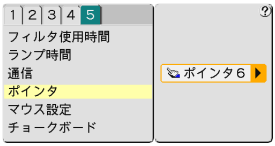
【例3】［ポインタ］の選択



1 選択する項目にカーソルを合わせ、(SELECT ▶) ボタンを押す。
プルダウンリストが表示されます。



2 (SELECT ▼/▲) ボタンを押して項目にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
項目が選択されて、プルダウンリストが閉じます。
・再度プルダウンリストを表示する場合は、もう一度 (SELECT ▶) ボタンを押してください。

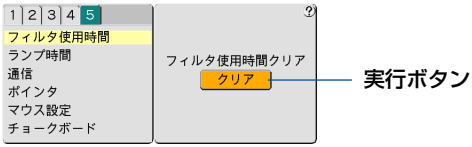


3 項目を選選択したら、もう1度 (ENTER) ボタンを押す。
選択した項目が決定されます。

●実行ボタン

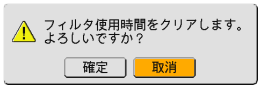
機能を実行します。
実行ボタンを選択して機能を実行すると、サブメニュー画面で (CANCEL) ボタンを押しても実行を取り消すことができません。

【例4】[フィルタ使用時間] のクリア



1 [クリア] (実行ボタン) にカーソルが合っていることを確認する。

2 (ENTER) ボタンを押す。
確認メッセージが表示されます。



3 実行する場合は、(SELECT ◀/▶) ボタンを押して [確定] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
機能が実行されます。
・機能を実行しない場合は、確認メッセージで [取消] を選択し、(ENTER) ボタンを押します。

●英数字の入力方法

[パスワード (ロゴ)] や [セキュリティ] のキーワード入力などの項目には英数字を入力します。

1 文字を入力する項目にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
文字入力画面が表示されます。
・USBマウスで操作している場合は、文字入力欄左側の▼を左クリックします。

【パスワード (ロゴ) のとき】

【セキュリティのとき】

2 (SELECT ▼▲◀▶) ボタンを押して、文字などにカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

文字が入力されます。

・文字以外の項目は、次のような働きをします。

- [◀] [▶]……英数字入力欄のカーソルを左右に移動します。
- [モード] ……英大文字、英小文字、特殊文字の切り替えを行います。
- [SP]……スペースを入力します。
- [BS]……カーソルの左側にある 1 文字を消します。
- [確定] ……入力した文字を確定して、文字入力画面を閉じます。
- [取消] ……入力した文字を取り消して、文字入力画面を閉じます。

3 (SELECT ▼▲◀▶) ボタンを押して、[確定] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

入力した文字が確定して、文字入力画面が閉じます。

7-2. オンスクリーンメニュー一覧

は、各項目の工場出荷時の値を表しています。

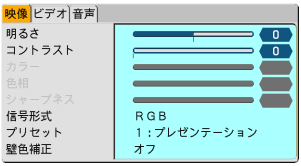
メニューバー	ページタブ	ポップアップメニュー	サブメニュー1	サブメニュー2	参照ページ
調整	映像	明るさ	暗←→明		97
		コントラスト	手動（淡←→濃）／自動判別		
		カラー	淡←→濃		
		色相	緑←→赤		
		シャープネス	弱←→強		
		信号形式	RGB／コンポーネント		97
		プリセット	1／2／3／4／5		98
			詳細設定 1 参照	プレゼンテーション／ビデオ／ムービー／グラフィック／sRGB	
			ガンマ補正	ダイナミック／ナチュラル／ソフト	
			色温度	5000／6500／7200／7800／8500／9300	
			詳細設定 2 ﾎﾜｲﾄﾊﾞﾗﾝｽ	明るさ赤／明るさ緑／明るさ青／コントラスト赤／コントラスト緑／コントラスト青	
			詳細設定 3 色補正	赤／緑／青／イエロー／マゼンタ／シアン	
		壁色補正	オフ／黒板／ライトイエロー／ライトグリーン／ライトブルー／スカイブルー／ライトローズ／ピンク		99
	ビデオ	ノイズリダクション	オフ／弱／中／強		100
		カラーマトリクス	ＨＤＴＶ／ＳＤＴＶ		100
		Ｙ／Ｃディレイ	0←→15		100
		３Ｄ Ｙ／Ｃ分離	オフ／オン（静止画／ノーマル／ムービー）		100
		垂直輪郭補正	オフ／１／２／３		101
		Ｉ／Ｐ 変換	デインターレース（自動判別）／デインターレース（静止画）／インターレース		101
	音声	音量	小←→大		101
		低音	小←→大		
		高音	小←→大		
画像		アスペクト	(スクリーンタイプが4：3のとき) 4：3／レターボックス／16：9／ワイドズーム (スクリーンタイプが16：9のとき) 4：3／レターボックス／16：9／スタジアム		102
		画素調整	クロック周波数		103
			位相		
		表示位置	水平		103
			垂直		
		オーバースキャン	0%／5%／10%		104
セットアップ	1	スクリーン設定	スクリーンタイプ	4：3／16：9	105
			表示位置		
		投写方法	デスク/フロント／天吊り/リア／デスク/リア／天吊り/フロント		105
		表示言語	English／Deutsch／Français／Italiano／Español／Svenska／Suomi／Norsk／Nederlands／Türkçe／Polski／ Русский／Ελληνικά ／Português ／Čeština ／ تشيكي／日本語／ 한국어／中文		106

7

		ランプモード	ノーマルモード／エコモード		106
		台形補正	垂直（自動判別／手動）／調整		107
		4点補正			107
	2	本体キーロック	アンロック／ロック		107
		スリープタイマー	残り時間		108
			登録時間	オフ／0:30／1:00／2:00／4:00／8:00／12:00／16:00	
		パスワード（ロゴ）	登録／削除		108
		セキュリティ	有効／無効		109
			キーワード		
			プロテクトキーを使用	オフ／オン	
			ドライブ／読込／登録／削除（フラッシュメモリカード使用時）		
		バックグラウンド	ブルーバック／ブラックバック／ロゴ		112
		表示時間	手動／自動　5秒／自動15秒／自動45秒		112
	3	信号選択	コンピュータ1	RGB/コンポーネント／RGB／コンポーネント	113
			コンピュータ2	RGB/コンポーネント／RGB／コンポーネント／Scart	
			コンポーネント	自動判別／コンポーネント／ビデオ	
		カラー方式	コンポーネント（ビデオ）	自動判別／NTSC3.58／NTSC4.43／PAL／PAL-M／PAL-N／PAL60／SECAM	113
			ビデオ	自動判別／NTSC3.58／NTSC4.43／PAL／PAL-M／PAL-N／PAL60／SECAM	
			S－ビデオ	自動判別／NTSC3.58／NTSC4.43／PAL／PAL-M／PAL-N／PAL60／SECAM	
		モニタ出力	ラスト／コンピュータ1／コンピュータ2／コンポーネント		113
		S－ビデオモード	オフ／S2		113
		表示項目選択	入力端子	オフ／オン	114
			メッセージ	オフ／オン	
		メニュー表示色選択	カラー／モノクロ		114
	4	パワーマネージメント	オフ／オン		114
		電源オフ確認メッセージ	オフ／オン		114
		ファンモード	自動／高速		115
		スタンバイモード	アイドルモード／省電力モード		115
		オートスタート	オフ／オン		115
		リモコン受光部設定	前側	オフ／オン	115
			後側	オフ／オン	
	5	フィルタ使用時間	フィルタ使用時間クリア［クリア］		116
		ランプ時間	ランプ時間クリア［クリア］		116
		通信	スピード	4800／9600／19200／38400	116
		ポインタ	ポインタ1／・・・／ポインタ9		116
		マウス設定	マウスポインタ	ポインタ1／・・・／ポインタ9	116
			ボタン設定	右手用／左手用	
			スピード設定	高速／標準／低速	
		チョークボード			116
情報	1	信号名／入力端子／登録番号／水平同期周波数／垂直同期周波数			117
	2	信号形式／ビデオ標準／同期形態／インターレース／同期極性			
	3	ランプ残量／ランプ使用時間／フィルタ使用時間／機器使用時間			
	4	バージョン情報（BIOS／ファームウェア／データ）			
リセット		表示中の信号／全データ／全データ（信号リストを含む）			118

7-3. 調整

映像



●明るさ／コントラスト／カラー／色相／シャープネス

スクリーンに投写している映像の調整を行います。

明るさ	映像を明るくしたり、暗くします。
コントラスト	映像の暗い部分と明るい部分の差をはっきりしたり、淡くします。
カラー	色を濃くしたり、淡くします。
色相	赤みがかった映像にしたり、緑がかった映像にします。
シャープネス	映像をくっきりしたり、やわらかくします。

注意

- 各調整項目は入力信号によって調整できない場合があります。

入力信号	明るさ	コントラスト	カラー	色相	シャープネス
RGB（コンピュータ）	○	○	×	×	×
コンポーネント	○	○	○	○	○
ビデオ、S-ビデオ	○	○	○	○	○

（○：調整可、×：調整不可）

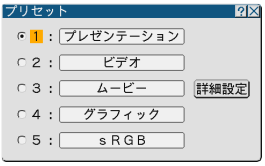
- ［コントラスト］を「自動判別」に設定すると、コントラストの自動調整機能が働きます。
  ただし、コントラストの自動調整機能は、本機が表示するオンスクリーンメニューやメッセージが画面に表示されているときには働きません。

●信号形式

RGB（コンピュータ1,2）またはコンポーネント信号を投写したとき、画像の色彩が不自然な場合に設定を切り替えます。

RGB	RGB入力に切り替えます。
コンポーネント	コンポーネント信号入力に切り替えます。

●プリセット



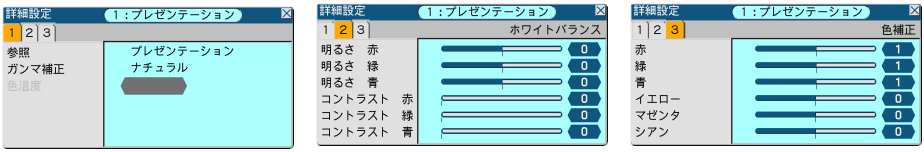
映像ソースに最適な設定を選択する

投写した映像に最適な設定を選択します。
鮮やかな色調にしたり、淡い色調にしたり、ガンマ（階調再現性）を設定できます。
本機の工場出荷時は、プリセット項目1～5に、あらかじめ次の設定がされています。
また、お好みの色調およびガンマにするための細かな調整ができ、調整値をプリセット項目1～5に登録できます。

1：プレゼンテーション	PowerPointなどでプレゼンテーションを行うときに適した設定にします。
2：ビデオ	テレビ番組や一般的な映像ソースを投写するときに適した設定にします。
3：ムービー	映画を投写するときに適した設定にします。
4：グラフィック	グラフィック画面に適した設定にします。
5：sRGB	sRGBに準拠した色が再現されます。
詳細設定	お客様のお好みに調整した設定にします。 調整値を登録するには、プリセット項目1～5のいずれかを選択し、［詳細設定］にカーソルを合わせ、（ENTER）ボタンを押します。

参考
- 「sRGB」は、機器間の色再現の違いを統一するために、パソコンやモニタ、スキャナ、プリンタなどの色空間を規定・統一した国際標準規格です。1996年にHewlett-Packard社とMicrosoft社が策定し、1999年にIECの国際規格となりました。

詳細設定



ガンマ補正、色温度、ホワイトバランス、色補正の項目について、細かな調整ができます。

参照（ページ1）

［詳細設定］のもとになるモードを選択します。

ガンマ補正（ページ1）

映像の階調を選択します。これにより暗い部分も鮮明に表現できます。

ダイナミック	メリハリのある映像設定です。
ナチュラル	標準的な設定です。
ソフト	信号の暗い部分が鮮明になります。

色温度 (ページ1)

色 (R, G, B) のバランスを調整して色再現性を最良にします。

右 ↕ 左	色温度が高くなり、青みがかった白になります。 色温度が低くなり、赤みがかった白になります。

ホワイトバランス (ページ2)

信号の白レベルと黒レベルを調整して色再現性を最良にします。

明るさ　赤 明るさ　緑 明るさ　青	画像の黒色を調整します。
コントラスト　赤 コントラスト　緑 コントラスト　青	画像の白色を調整します。

注意

- [参照] で「プレゼンテーション」を選択した場合は、[色温度] は選択できません。
- [ホワイトバランス] を操作した場合は、[色温度] の数値と実際の色合いが異なります。

色補正 (ページ3)

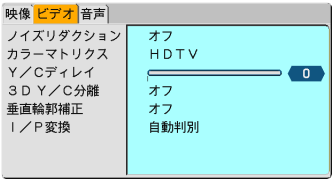
赤、緑、青、イエロー、マゼンタ (紫)、シアン (明るい青緑) の各色の色味と色の濃さを調整できます。

赤	赤色を中心とした赤色付近の色を調整します。 黄あるいはマゼンタがかった赤色に調整できます。
緑	緑色を中心とした緑色付近の色を調整します。 黄あるいはシアンがかった緑色に調整できます。
青	青色を中心とした青色付近の色を調整します。 紫あるいはシアンがかった青色に調整できます。
イエロー	黄色を中心とした黄色付近の色を調整します。 赤あるいは緑がかった黄色に調整できます。
マゼンタ	マゼンタを中心としたマゼンタ付近の色を調整します。 赤あるいは青がかったマゼンタに調整できます。
シアン	シアンを中心としたシアン付近の色を調整します。 緑あるいは青がかったシアンに調整できます。

●壁色補正

画像を投写する面がスクリーンではなく、部屋の壁などの場合、メニューから壁の色に近い項目を選択すると、壁の色に適応した色合いに補正して投写できます。

ビデオ



●ノイズリダクション

映像のざらつきや色彩の濁りの原因となるノイズを低減させます。

注意 ● RGB信号のときは選択できません。

●カラーマトリクス

信号のタイプを選択します。

HDTV	ハイビジョン放送仕様の信号です。
SDTV	デジタル放送仕様の信号です。

注意 ● RGB信号のときは選択できません。

●Y／Cディレイ

輝度（Y）信号と色（C）信号の位相調整を行います。映像の輪郭の色がおかしい場合に調整します。

注意 ● RGB信号のときは選択できません。

●3D Y／C分離

ビデオ映像入力端子から入力された映像を投写するとき、「オン」に設定すると高画質で投写することができます。
「オン」を選択した場合に、プルダウンリストから映像に応じた項目を選択します。

静止画	静止画を投写する場合に選択します。
ノーマル	本機が映像を自動判別して補正します。
ムービー	動画を投写する場合に選択します。

参考

- 画質が悪い映像を投写するときに［3D Y/C分離］を「オン」にしても画質が改善されない場合は、［I/P変換］を「インターレース」にしてみてください。
  または、［3D Y/C分離］を「オフ」にし、［I/P変換］を「デインターレース（自動判別）」にしてみてください。

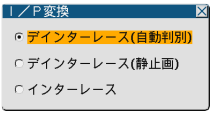
●垂直輪郭補整

垂直方向のエッジ（輪郭）を強調します。

注意

- RGB信号のときは選択できません。

●I／P変換



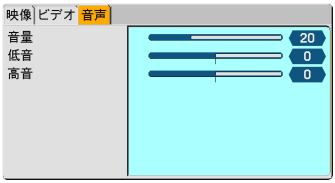
インターレース信号が入力された場合、インターレースとデインターレース（インターレース解除）を切り替えることができます。

デインターレース（自動判別）	動画と静止画を自動判別して鮮明な状態にします。 ジッターやノイズが目立つ場合は、「インターレース」を選択してください。
デインターレース（静止画）	静止画を投写するときに選択します。 動画を投写すると映像がちらつきます。
インターレース	動画を投写するときに選択します。 ジッターやノイズが多い信号に適しています。

参考

- 工場出荷時、ビデオ／S-ビデオ映像入力は「インターレース」に設定されています。

音声

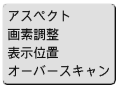


本機の内蔵スピーカ、および音声出力端子（AUDIO）から出される音声の音量、低音、高音を調整します。

参考

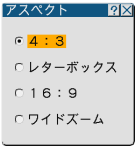
- 工場出荷時、音量は20に設定されています。
- 音量は、メニューが表示されていないとき、本体操作部の〔SELECT ◀/▶〕ボタン、およびリモコンの〔VOLUME +/−〕ボタンでも調整できます。

7-4. 画像

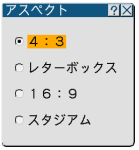


アスペクト

［スクリーンタイプ］が「4：3」のとき

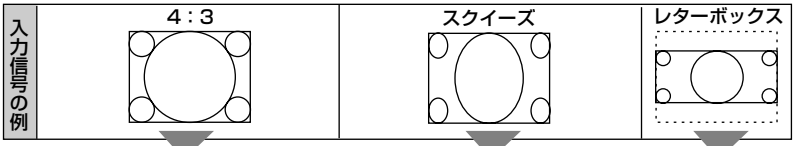


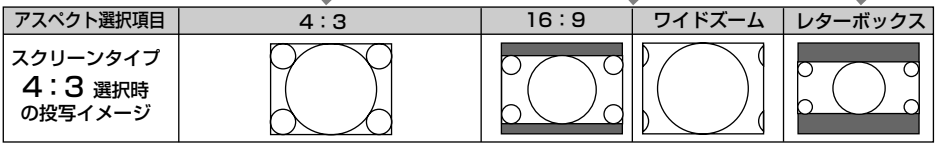
［スクリーンタイプ］が「16：9」のとき

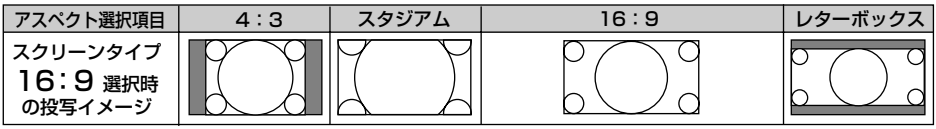


画面の縦横の比率を選択します。

4：3	通常の画面サイズです。4：3の入力信号を4：3の画面サイズで映します。
レターボックス	16：9のレターボックス信号を映します。
16：9	16：9のスクイーズ信号入力時、垂直方向を圧縮して16：9の画面サイズで映します。
ワイドズーム	［スクリーンタイプ］が「4：3」のときに選択できます。16：9のスクイーズ信号入力時、左右に引き伸ばして4：3の画面サイズで映します。そのため、左右の両端は表示されません。
スタジアム	［スクリーンタイプ］が「16：9」のときに選択できます。4：3の入力信号を左右に引き伸ばして16：9の画面サイズで映します。







注意

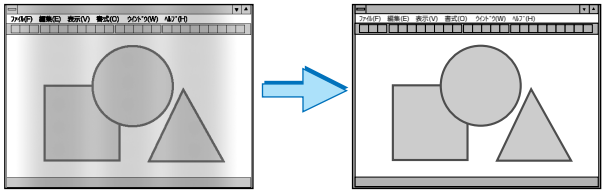
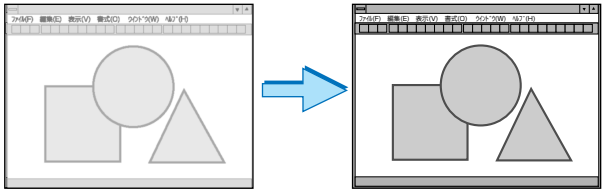
- アスペクトを設定する前に、［スクリーンタイプ］(4：3／16：9) を選択してください。(105ページ)
- 営利目的または公衆に視聴させることを目的として、本機を使って映像を投写する場合、［アスペクト］や［スクリーンタイプ］などの画面サイズ切り替え機能を使って画面の圧縮や引き伸ばしを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがあります。

●台形補正または4点補正で投写画面の台形歪みを調整している場合、[アスペクト]の設定を変更できないことがあります。そのときは、台形補正または4点補正の調整値をいったんクリアし、[アスペクト]の設定を変更したあと、再度台形補正または4点補正で投写画面を調整してください。
[アスペクト]の設定を変更した場合、台形補正および4点補正の調整範囲が狭くなることがあります。

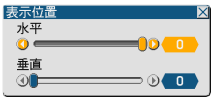
参考

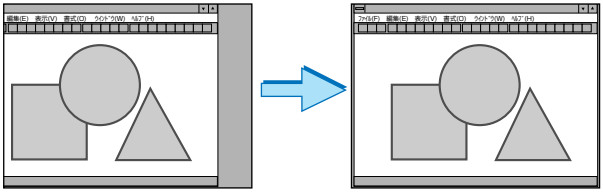
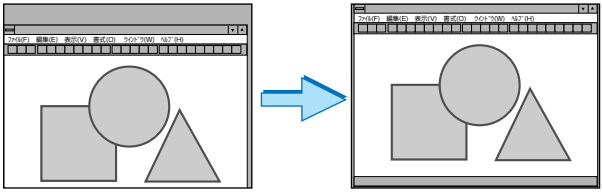
- スクリーンタイプを16：9にしているときは、[表示位置]で垂直位置を調整できます。(105ページ)
- ビデオ映像の標準アスペクト比4：3より横長の映像を、「レターボックス」と呼びます。映画フィルムのビスタサイズ1.85：1やシネマスコープ2.35：1のアスペクト比があります。
- アスペクト比16：9の映像を横方向にスクイーズ（圧縮）して4：3にした映像を、「スクイーズ」と呼びます。

画素調整

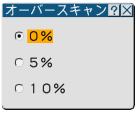
クロック周波数	画面の明るさが一定になる（明暗の縦帯が出なくなる）ように調整します。 
位相	画面の色ずれ、ちらつきが最小になるように調整します。 

表示位置

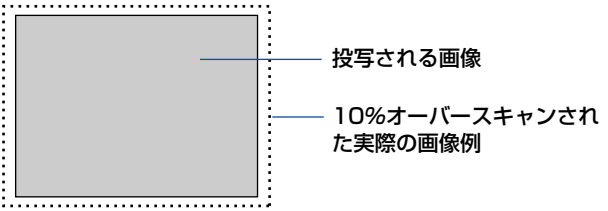


水平	画面を水平方向に移動します。 
垂直	画面を垂直方向に移動します。 

オーバースキャン



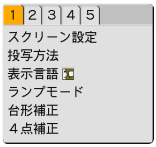
オーバースキャン（画面周囲のフレーム部分をカットする処理）の割合を設定します。



注意

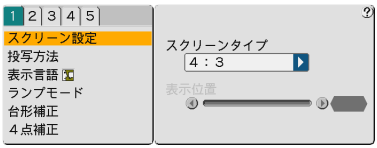
- ［アスペクト］で［スタジアム］および［ワイドズーム］を選択しているときは、灰色の文字になり選択できません。
- 入力信号によっては、0%が選択できない場合があります。

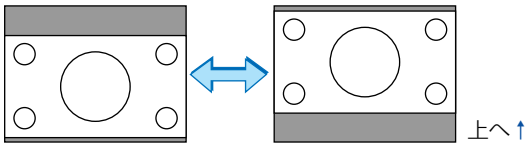
7-5. セットアップ



ページ1

●スクリーン設定



スクリーンタイプ	投写するスクリーンの比率を設定します。 4：3 縦横比が4：3のスクリーンの場合 16：9 縦横比が16：9のスクリーンの場合
表示位置	[スクリーンタイプ] が「16：9」のときに、表示領域の垂直位置を調整します。 下へ↓  上へ↑

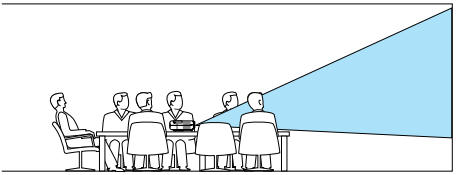
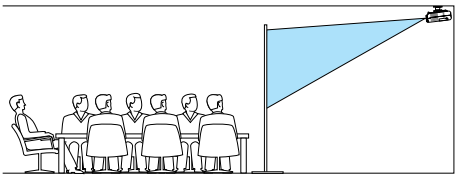
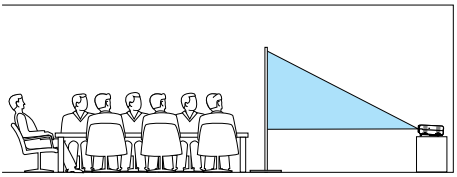
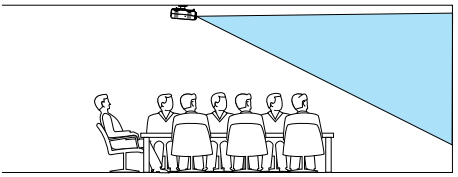
注意

- スクリーンタイプを変更したら、必ず [アスペクト] の設定を確認してください。（102ページ）
- [スクリーンタイプ] が「4：3」のとき、および [アスペクト] が「レターボックス」のときは、[表示位置] は灰色の文字になり選択できません。
- 台形補正または4点補正で投写画面の台形歪みを調整している場合、[スクリーンタイプ] および [表示位置] の設定を変更できないことがあります。そのときは、台形補正または4点補正の調整値をいったんクリアし、[スクリーンタイプ] や [表示位置] の設定を変更したあと、再度台形補正または4点補正で投写画面を調整してください。
  [スクリーンタイプ] や [表示位置] の設定を変更した場合、台形補正および4点補正の調整範囲が狭くなることがあります。

●投写方法

本機やスクリーンの設置状況に合わせて選択してください。

⚠警告	天吊りなどの特別な工事が必要な設置についてはお買い上げの販売店にご相談ください。 お客様による設置は絶対にしないでください。

デスク／フロント	テーブルに設置してスクリーンの前面から投写 
天吊り／リア	天井に設置してスクリーンの背面から投写 
デスク／リア	テーブルに設置してスクリーンの背面から投写 
天吊り／フロント	天井に設置してスクリーンの前面から投写 

注意 ●「デスク／フロント」以外を選択すると、「台形補正」の設定が「自動」から「手動」切り替わります。

●表示言語

メニューに表示される言語を選択します。

参考 ● 表示言語は、［リセット］を行っても変更されません。

●ランプモード

小さいスクリーンサイズで映して画面が明るすぎるときや、暗い室内で映す場合、ランプモードを「エコモード」にし、ランプ寿命を延ばすことができます。

ノーマルモード	ランプの輝度が100%になります。明るい画面になります。
エコモード	ランプの輝度が約76%になります。ランプ寿命が延びます。 ランプの輝度がさがるのと連動し、冷却ファンの回転数もさがります。

注意
- ノーマルモードで使用時、室温が高いことにより本機内部の温度が上昇すると、一時的にエコモードに切り替わることがあります。これは、本機の保護機能の一つで「強制エコモード」と呼びます。
  強制エコモードになると、画面が少し暗くなります。
  本機内部の温度が下がると、強制エコモードは解除され、ノーマルモードに戻ります。

●台形補正

台形補正を行います。

垂直	自動判別	垂直方向の自動台形補正を行います。(42ページ)
	手動	手動で台形補正を行います。 下の [調整] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押してください。
調整		[台形補正] 画面を表示して、投写画面の台形歪みを調整します。 操作について詳しくは、「3-5.台形歪みを調整する」(42ページ) をご覧ください。

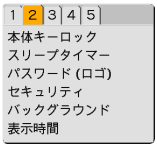
注意
- 本機の電源を入れたとき、前回使用時から本機の傾きが変わっていると、前回使用時の台形補正または4点補正の調整値はクリア (工場出荷状態に戻す) されます。本機の傾きが前回と同じであれば、台形補正または4点補正の調整値は保持されます。
  本機の傾きを変えても前回使用時の台形補正または4点補正の調整値を保持したい場合は、[台形補正] を「手動」に設定してください。
- [4点補正] で画面調整している場合は、[調整] は灰色になり選択できません。

●4点補正

[4点補正] 画面を表示して、投写画面の台形歪みを調整します。
操作について詳しくは、「4-9.台形歪みを調整する (4点補正)」(56ページ) をご覧ください。

注意
- [台形補正] で画面を調整している場合は、灰色表示になり選択できません。

ページ2



●本体キーロック

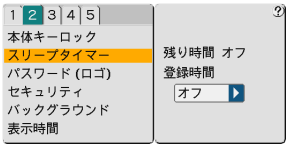
プロジェクタ本体にある操作ボタンを動作しないようにします。

アンロック	本体操作部のボタンが働きます。
ロック	本体操作部のボタンがきかなくなります。

注意
- 本体キーロックの解除方法
  本体の操作ボタンが「ロック」されているときに、本体の (CANCEL) ボタンを約10秒間押すと、ロックが解除されます (本体キーロックの設定が「アンロック」になります)。

参考
- 本体の操作ボタンがロックされていてもリモコンのボタンは動作します。

●スリープタイマー

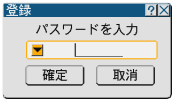


スリープタイマーを設定しておくと、本機の電源の切り忘れ防止になり、省エネになります。[登録時間] 後に本機の電源が切れます（アイドルモードまたは省電力モードになります）。[残り時間] には、本機の電源が切れるまでの残り時間が表示されます。

●パスワード（ロゴ）

ロゴ用パスワードを設定すると、バックグラウンドを切り替えるとき（112ページ）、およびビューワでロゴデータを変更するとき（76ページ）に、パスワード確認画面を表示します。

登録



パスワードを登録します（英数字で最大15桁）。

1 パスワードを入力する。
- パスワード入力欄にカーソルを合わせ、(ENTER)ボタンを押すと、文字入力画面が表示されます。（93ページ）
- USBマウスで操作している場合は、パスワード入力欄左側の▼を左クリックします。
- 1文字入力するごとに、パスワード入力欄に「＊」が表示されます。

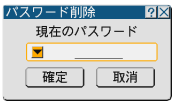
重要 ●パスワードは、忘れないように必ずメモしておいてください。

2 パスワードを入力したら、[確定] にカーソルを合わせ、(ENTER)ボタン押す。
パスワード確認画面が表示されます。

3 手順**1**で入力したパスワードを、再度入力する。
- 1文字入力するごとに、パスワード入力欄に「＊」が表示されます。

4 [確定] にカーソルを合わせ、(ENTER)ボタンを押す。
パスワードが登録されメニューに戻ります。

削除



登録しているパスワードを削除します。

1 パスワードを入力する。
- 1文字入力するごとに、パスワード入力欄に「＊」が表示されます。

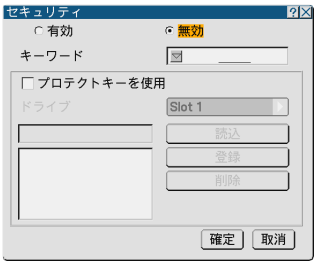
2 [確定] にカーソルを合わせ、(ENTER)ボタンを押す。
パスワードが削除されメニューに戻ります。

参考
- 登録したロゴ用パスワードを忘れてしまった場合は、お客様問い合わせ窓口（NECプロジェクタ・カスタマサポートセンター）にご連絡ください。

●セキュリティ

キーワードを設定することで、本機を無断で使用されないようにすることができます。また、フラッシュメモリカードをプロテクトキーとして登録することで、本機の電源を入れたときに、登録したカードが本機にセットされていないと投写できないようにします。

詳しい操作は「4-12.セキュリティを設定して無断使用を防止する」をご覧ください。（62ページ）



有効/無効	セキュリティを有効にするか、無効にするかを選択します。
キーワード	セキュリティを使用する際に必要なキーワードを入力します（最大10文字）。 キーワードを入力しないとセキュリティは有効になりません。
プロテクトキーを使用	セキュリティロックの方法を設定します。 ☑（チェックマークを付ける）：キーワードとフラッシュメモリカードの両方を登録してセキュリティロックをかけます。 ☐（チェックマークを外す）：キーワードのみでセキュリティロックをかけます。
ドライブ	プロテクトキーの場所（PCカードスロットまたはUSB）を切り替えます。
読込	登録するフラッシュメモリカードの情報を読み込みます。
登録	読み込んだフラッシュメモリカードの情報を登録します。 ［プロテクトキーを使用］に☑（チェックマーク）を付けた場合、フラッシュメモリカードが1枚も登録されていないとセキュリティは有効になりません。 最大カード5枚まで登録できます。
削除	登録したフラッシュメモリカードの情報を削除します。

セキュリティを有効にする

フラッシュメモリカードを使用しない場合

1 SELECT▼/▲ボタンで［キーワード］にカーソルを合わせ、キーワードを入力する。

重要
- キーワードは、忘れないように必ずメモしておいてください。

2 (SELECT ▼/▲) ボタンで [無効] にカーソルを合わせ、(SELECT ◀/▶) ボタンで [有効] にカーソルを合わせる。

3 (SELECT ▼/▲) ボタンで [確定] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
セキュリティが有効になります。

フラッシュメモリカードをプロテクトキーとして使用する場合

準備：フラッシュメモリカードを本機のPCカードスロットにセットしてください。（71ページ）

1 (SELECT ▼/▲) ボタンで [プロテクトキーを使用] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
☑ (チェックマーク) が付きます。

2 (SELECT ▼/▲) ボタンで [読込] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
フラッシュメモリカードの情報が読み込まれます。

3 (SELECT ▼/▲) ボタンで [登録] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
読み込まれたフラッシュメモリカードの情報が登録され、登録リストに表示されます。

4 (SELECT ▼/▲) ボタンで [キーワード] にカーソルを合わせ、キーワードを入力する。

重要 ● キーワードは、忘れないように必ずメモしておいてください。

5 (SELECT ▼/▲) ボタンで [無効] にカーソルを合わせ、(SELECT ◀/▶) ボタンで [有効] にカーソルを合わせる。

6 (SELECT ▼/▲) ボタンで [確定] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

セキュリティを有効にしているときの電源の入れかた

フラッシュメモリカードを使用しない場合

1 POWER (ON/STAND BY) ボタンを2秒以上押す。
・リモコンで操作する場合は、POWER (ON) ボタンを2秒以上押します。
本機の電源が入り、セキュリティロック中のメッセージが表示されます。

2 メニューの [セットアップ] → [ページ2] → [セキュリティ] を選択して、(ENTER) ボタンを押す。
キーワード入力画面が表示されます。

3 キーワード入力画面にキーワードを入力する。
セキュリティロックが解除され、選択されている信号を投写します。

フラッシュメモリカードをプロテクトキーとして使用する場合

準備：情報を登録したフラッシュメモリカードを本機のPCカードスロットにセットしてください。（71ページ）

1 POWER (ON/STAND BY) ボタンを2秒以上押す。
・リモコンで操作する場合は、POWER (ON) ボタンを2秒以上押します。
電源が入り、フラッシュメモリカードが認識されると入力信号を投写します。
電源が入ったあとはフラッシュメモリカードを抜いてもそのまま動作します。

注意

- 本機は、FAT32形式やNTFS形式でフォーマットされたフラッシュメモリカードやUSBメモリを認識できません。
  本機にセットしたフラッシュメモリカードやUSBメモリが認識されない場合は、フォーマット形式を確認してください。
  本機のビューワやセキュリティで使用するフラッシュメモリカードやUSBメモリは、FAT16形式またはFAT形式でフォーマットしてください。
  フォーマット方法については、お使いのWindowsの取扱説明書またはヘルプファイルを参照してください。
- 本機の電源を入れたとき、情報を登録したフラッシュメモリカードが本機のPCカードスロットにセットされていないと、セキュリティロック中のメッセージが表示され画面が投写されません。その場合は、情報を登録したフラッシュメモリカードを本機のPCカードスロットにセットすると、セキュリティロックを解除することができます。
- セキュリティロックの解除状態は、主電源をOFFする（主電源スイッチを「O（切）」にするか、電源コードを抜く）まで保持されます。
  次の場合に、プロテクトキーのチェック、もしくはキーワードの要求を行います。
  (1) セキュリティ設定画面で［確定］して電源をOFFしたあと電源をONしたとき。
  (2) セキュリティ有効中に主電源をOFFしたあと再び主電源をONにし電源をONしたとき。
  (3) セキュリティ有効中にセキュリティ設定画面を表示しようとしたとき。
- キーワードに空白（スペース）は使用できません。

登録したカード情報を削除する

1 SELECT ▼/▲ ボタンで［削除］にカーソルを合わせ、SELECT ◀ ボタンで登録リスト内にカーソルを移動する。

2 SELECT ▼/▲ ボタンで削除したいフラッシュメモリカードの情報を選択する。

3 SELECT ▶ ボタンで［削除］にカーソルを合わせ、ENTER ボタンを押す。
フラッシュメモリカードの情報が削除されます。

注意

- フラッシュメモリカードによってはプロテクトキーとして登録できないものもあります。
- 登録したフラッシュメモリカードが破損、紛失したときのために、複数のフラッシュメモリカードを登録しておくことをおすすめします。
- プロテクトキーとして登録したあと、カードをフォーマットすると、プロテクトキーとして認識できなくなります。

参考

- プロテクトキーとして登録したカードを紛失してしまったときの対応

  1 POWER（ON/STAND BY）ボタンを2秒以上押す。
  ・リモコンで操作する場合は、POWER（ON）ボタンを2秒以上押します。
  本機の電源が入り、セキュリティロック中のメッセージが表示されます。

  2 メニューの［セットアップ］→［ページ2］→［セキュリティ］を選択して、（ENTER）ボタンを押す。
  キーワード入力画面といっしょにお問い合わせコード（Request Code）（英数字24文字）が表示されます。

● セキュリティ設定画面で登録したキーワードと、表示されたお問い合わせコードの2つをお客様問い合わせ窓口（NECプロジェクタ・カスタマサポートセンター）にご連絡ください。解除コード（Release Code）をお知らせします。

3 キーワード入力画面に解除コードを入力する。
セキュリティロックが解除されます。

●キーワードを忘れたときの対処
お客様問い合わせ窓口（NECプロジェクタ・カスタマサポートセンター）にご連絡ください。

●バックグラウンド

入力信号が無いときの背景色を選択します。

ブルーバック	背景色が青
ブラックバック	背景色が黒
ロゴ	背景に画像を表示

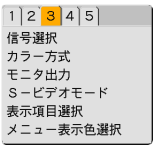
参考
- 「ロゴ」を選択すると、工場出荷状態ではNECロゴが表示されます。
- 自作の背景をバックグラウンドに設定するには、ビューワの「バックグラウンドロゴを登録する」をご覧ください。（76ページ）
- [ランプモード]を「ノーマルモード」に設定しているとき、投写画面が「ブルーバック」または「ブラックバック」になるとランプの輝度がさがります（エコモードになります）。
  その後、信号が入力され映像が投写されるとランプの輝度がもとに戻ります（ノーマルモードに戻ります）。

●表示時間

メニューを表示しているとき、次のボタン操作がない場合にメニューを自動で閉じる時間を選択します。

注意
- メニューが自動的に画面から消えたあとに（MENU）ボタン、（ENTER）ボタン、（CANCEL）ボタン、（SELECT ◀/▶）ボタンのいずれかを押すと、閉じる前に表示していた状態のメニューが表示されます。
  ただし、メニューが閉じている間に入力信号を切り替えた場合は、閉じる前に表示していたメニューは表示されず、通常のメニュー操作と同様になります。

ページ3



●信号選択

本機の各映像入力端子の信号モードを選択します。

コンピュータ1、2	DVDプレーヤなどのコンポーネント出力を、コンピュータ 1 映像入力端子（COMPUTER1）およびコンピュータ 2 映像入力端子（COMPUTER2）に専用ケーブルで接続する場合に選択します。（28ページ） また、コンピュータ 2 映像入力端子（COMPUTER2）には、欧州で使用されているSCARTケーブルを接続することができます。
コンポーネント	本機のコンポーネント映像入力端子（COMPONENT）のY端子に、ビデオ信号（コンポジット信号）を接続する場合に選択します。（29ページ）

●カラー方式

NTSCやPALなど、国によって異なるテレビジョン映像信号方式を選択します。

●モニタ出力

[スタンバイモード] を「アイドルモード」に設定しているとき、本機がスタンバイ状態のときにモニタ出力端子（MONITOR OUT）および音声出力端子（AUDIO）から出力する信号を選択します。

ラスト	コンピュータ1、コンピュータ2、コンポーネントのうち、スタンバイ状態になる前に出力していた信号を出力します。
コンピュータ1	コンピュータ1映像入力端子（COMPUTER1）とその音声入力端子の信号を出力します。
コンピュータ2	コンピュータ2映像入力端子（COMPUTER2）とその音声入力端子の信号を出力します。
コンポーネント	コンポーネント映像入力端子（COMPONENT）とその音声入力端子の信号を出力します。

●S-ビデオモード

S-ビデオ入力信号に含まれているS2識別信号を検知して、16：9のスクイーズ信号を適切なアスペクト比で表示できます。

オフ	S2識別信号を判別しません。
S2	S2識別信号を判別します。

注意

- S2識別信号を検知しているときは、[アスペクト] を切り替えることができません。

参考

- アスペクト比16：9の映像を横方向にスクイーズ（圧縮）して4：3にした映像を、「スクイーズ」と呼びます。

●表示項目選択

入力端子	画面右上に入力信号を表示するか、しないかを選択します。 「オン」を選択した場合は、次の表示を行います。 ・入力信号を切り換えたときに、画面右上に［コンピュータ1］などの信号名を表示します。 ・信号が入力されていないとき、画面右上に［無信号］と表示されます。
メッセージ	投写画面下側に本機のメッセージを表示するか、しないかを選択します。 「オフ」を選択すると、次のメッセージを表示しません。 ・ランプ時間の警告 ・パワーオフ３分前の予告 ・「しばらくお待ちください。」 ・「フィルタ清掃時期です。」

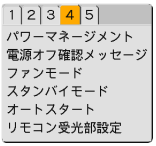
注意

● 画面右上の端子表示は、［表示時間］で設定している時間だけ表示されます。［表示時間］で「手動」を選択している場合、画面右上の表示は消えません。

●メニュー表示色選択

本機のメニューをカラーで表示するか、モノクロで表示するかを選択します。

ページ4



●パワーマネージメント

入力選択がコンピュータ1、コンピュータ2、コンポーネント、ビデオ、S-ビデオのとき、5分以上信号入力がないと自動的に本機の電源を切りアイドルモードまたは省電力モードにします。

オフ	パワーマネージメント機能は働きません
オン	自動的にアイドルモードまたは省電力モードになります。

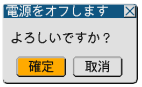
●電源オフ確認メッセージ

電源を切るときに確認表示を出します。

オフ	確認メッセージがでません。
オン	確認メッセージを表示します。

参考

● 設定を「オン」にすると、本機の電源を切るときに次のようなメッセージが表示されます。



●ファンモード

本機内部の温度を下げるため冷却ファンを、常に高速で回転させます。

自動	本機内部の温度センサにより、適切な速度で回転します。
高速	常に高速で回転させます。

注意 ● 数日間連続して本機を使用する場合は、必ず「高速」にしてください。

●スタンバイモード

本機のスタンバイ状態をアイドルモードまたは省電力モードに切り替えます。

アイドルモード	本機の電源を切ったときにアイドルモードになります。 アイドルモードではモニタ出力端子（MONITOR OUT）から映像・音声信号が出力されます。
省電力モード	本機の電源を切ったときに省電力モードになります。 省電力モードでは、アイドルモードのときと比べ消費電力が低くなります。

●オートスタート

本機の電源プラグに電源が供給されると自動的に電源が入るように設定します。
本機を制御卓などでコントロールする場合に使用します。

オフ	アイドルモードまたは省電力モードになります。
オン	オートスタートが動作し本機の電源が入ります。

● オートスタートを有効にする場合は、本機の主電源スイッチを常に「入」にしておいてください。

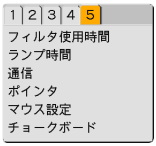
●リモコン受光部設定

リモコンを赤外線送信で使用するとき、本機の前後2箇所にあるリモコン受光部を有効／無効にします。

オフ	この方向からのリモコンの赤外線送信を受け付けません（リモコン操作ができなくなります）。
オン	この方向からのリモコンの赤外線送信を受け付けます（リモコン操作ができます）。

注意 ● 前後とも「オフ」にすると、リモコン操作ができなくなります。

ページ5



●フィルタ使用時間

フィルタの清掃または交換を行ったときに［フィルタ使用時間］をクリアします。

注意
- ●確定をすると、［セットアップ］画面で取消をしてももとには戻りません。
- ●フィルタ使用時間は、［リセット］ではクリアされません。

●ランプ時間

ランプ交換を行ったときに［ランプ残量］と［ランプ使用時間］をクリアします。

注意
- ● 確定をすると、［セットアップ］画面で取消しをしてももとには戻りません。
- ● ランプ時間は、［リセット］ではクリアされません。

●通信

PCコントロール端子（PC CONTROL）のデータ転送速度の設定を行います。接続する機器と転送速度を合わせてください。

●ポインタ

投写画面にポインタを表示する（50ページ）ときのポインタの形状（デザイン）を選択します。

●マウス設定

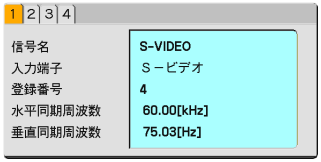
市販のUSBマウスを本機と接続すると、マウスを使用してメニュー操作ができます。（53ページ）
このときのマウスの設定です。

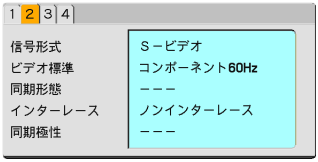
マウスポインタ	投写画面に表示されるマウスポインタの形状（デザイン）を選択します。
ボタン設定	マウスの左右ボタンの役割を入れ替えます。 右手用：マウスボタンが右手用の動作をします。 左手用：マウスボタンが左手用の動作をします。
スピード設定	マウスを動かしたときのポインタの速度を3つのレベルから選択します。

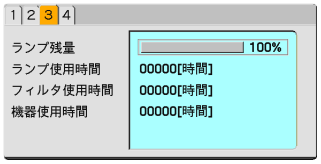
●チョークボード

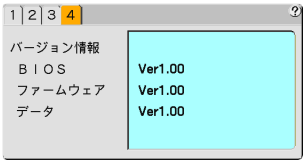
市販のUSBマウスを本機に接続すると「チョークボード」機能が使用できます。
操作について詳しくは、「4-10.投写画面に文字や図形を描く（チョークボード）」（58ページ）をご覧ください。

7-6. 情報









入力選択されている入力信号の詳細、ランプ使用時間、本機の使用時間を表示します。

- ページ1，ページ2は、色が極端におかしかったり、画面流れたり、映像が映らない場合、入力信号が本機に適しているかの確認に使います。「対応解像度一覧」（141ページ）もあわせてご覧ください。
- ページ3は、ランプの寿命時間の確認に使います。
- ページ4は本機のBIOSやファームウェアなどのバージョンの確認に使います。

参考

● ランプ残量／ランプ使用時間の表示について

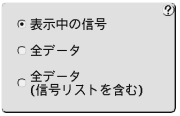
本機にはエコモード機能があります。ノーマルモードとエコモードではランプの寿命が異なります。

［ランプ使用時間］はランプの通算使用時間を示し、［ランプ残量］はランプの使用時間に対する残量をパーセントで表示しています。

- 0%になると画面上に「ランプの交換時期です。取扱説明書に従って早めに交換してください。」のメッセージが表示されます（メッセージは、投写中も表示され続けます）。
  新しいランプと交換してください。交換のしかたは「8-4．ランプとフィルタの交換」をご覧ください。（127ページ）
- ランプ寿命に到達（ランプ残量0%）後、［ランプ残量］表示は赤色の時間表示に変わります。このとき、［ランプ残量］表示は「100時間」と表示され、そのあとランプを投写しただけ時間がマイナスされていきます。そして［ランプ残量］表示が「0時間」になると、本機の電源が入らなくなります。

	ランプ使用時間		
	ノーマルモードでのみ使用（最小）	エコモードでのみ使用（最大）	ランプ残量
工場出荷時	0000時間		100%
ランプ寿命	2000時間	3000時間	0%

7-7. リセット



本機に記憶されている全調整・設定値、または表示中の信号について、調整した調整値を工場出荷状態に戻します。
リセットの処理には多少時間がかかります。

重要 ● USBマウス操作しているときに[リセット]を実行する場合は、ラジオボタンを選択後、リセット画面内にマウスポインタを移動し、右クリックします。

表示中の信号

表示中の信号について、調整した調整値が工場出荷状態に戻ります。

注意 ● 信号リストでロックされている信号調整値は変更されません。

全データ

すべての調整・設定値が工場出荷状態に戻ります。

【リセットされないデータ】
[表示言語]・[通信速度]・[ランプ残量]・[ランプ使用時間]・[フィルタ使用時間]・[機器使用時間]・[セキュリティ]・[パスワード(ロゴ)]・[バックグラウンド]・[スタンバイモード]・[信号リスト](フィルタ使用時間およびランプ使用時間のクリア方法は116ページをご覧ください。)

全データ(信号リストを含む)

信号リストに登録されている内容を含め、すべての調整・設定値が工場出荷状態に戻ります。

【リセットされないデータ】
[表示言語]・[通信速度]・[ランプ残量]・[ランプ使用時間]・[フィルタ使用時間]・[機器使用時間]・[セキュリティ]・[パスワード(ロゴ)]・[バックグラウンド]・[スタンバイモード](フィルタ使用時間およびランプ使用時間のクリア方法は116ページをご覧ください。)

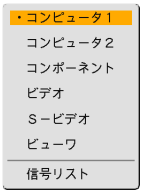
注意 ● 信号リストでロックされている信号の調整値は削除されません。

7-8. 信号リスト

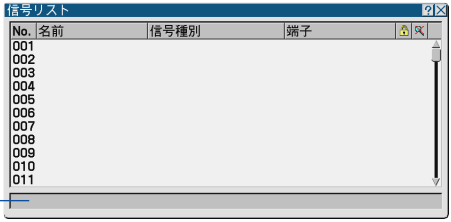
画像設定を少しでも行うと、信号の調整値が本機の「信号リスト」に自動的に登録されます。登録された信号（の調整値）は、必要なときに信号リストから呼び出すことができます。
信号リストには100パターンまで登録できます。信号リストへの登録数が100パターンに達すると、それ以降メッセージを表示して登録できなくなります。必要なくなった信号（の調整値）は、信号リストから削除してください。

信号リストを表示する

1 (SOURCE) ボタンを押す
信号選択画面が表示されます。



2 (SELECT ▼/▲) ボタンを押して［信号リスト］にカーソルを合わせ (ENTER) ボタンを押す。
信号リストが表示されます。



投写している信号を登録する［登録］

1 信号リストで (SELECT ▼/▲) ボタンを押して登録する番号にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
信号編集コマンド画面が表示されます。

2 (SELECT ◀/▶) ボタンを押して［登録］にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

信号リストから信号を選択する［呼出］

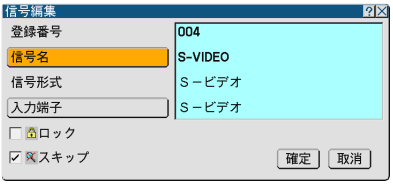
1 信号リストで (SELECT ▼/▲) ボタンを押して選択する信号にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
信号編集コマンド画面が表示されます。

2 (SELECT ◀/▶) ボタンを押して［呼出］にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

信号リストの項目を編集する［編集］

1 信号リストで（SELECT ▼/▲）ボタンを押して編集する信号にカーソルを合わせ、（ENTER）ボタンを押す。
信号編集コマンド画面が表示されます。

2 （SELECT ◀/▶）ボタンを押して［編集］にカーソルを合わせ、（ENTER）ボタンを押す。
信号編集画面が表示されます。



信号名	最大英数18文字で、信号名を入力します。
入力端子	入力端子の変更ができます。RGB信号は、コンピュータ1／コンピュータ2の切り替えができます。 ビデオ、S-ビデオ信号は、ビデオ／S-ビデオ／コンポーネントの切り替えができます。
ロック（🔒）	☑（チェックマーク）を付けておくと、［全削除］を行ったときに残しておくことができます。
スキップ（✂）	☑（チェックマーク）を付けておくと、入力信号を自動検出するときにスキップすることができます。

3 各項目を設定し、［確定］にカーソルを合わせ、（ENTER）ボタンを押す。

注意
- 現在投写中の信号を編集する場合、入力端子は変更できません。

信号リストの項目を削除する［カット］

1 信号リストで（SELECT ▼/▲）ボタンを押して削除する信号にカーソルを合わせ、（ENTER）ボタンを押す。
信号編集コマンド画面が表示されます。

2 （SELECT ◀/▶）ボタンを押して［カット］にカーソルを合わせ、（ENTER）ボタンを押す。
信号リストから削除され、信号リストの一番下の「クリップボード」に、削除した信号が表示されます。

注意
- 現在投写中の信号を削除することはできません。
- 信号編集画面で「ロック」した信号を選択した場合は、［カット］は灰色の文字になり選択できません。

参考
- クリップボードの内容は、信号編集コマンドの［貼付け］で信号リストに貼り付ける（複製する）ことができます。
- クリップボードの内容は、信号リストを閉じても消えません。

信号リストの項目をコピーする [コピー] [貼付け]

1 信号リストで (SELECT ▼/▲) ボタンを押してコピーする信号にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
信号編集コマンド画面が表示されます。

2 (SELECT ◀/▶) ボタンを押して [コピー] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
信号リストの一番下の「クリップボード」に、コピーする信号が表示されます。

3 (SELECT ▼/▲) ボタンを押して、コピーしたい項目へカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
信号編集コマンド画面が表示されます。

4 (SELECT ◀/▶) ボタンを押して [貼付け] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
クリップボードの内容がコピーされます。

信号リストの項目をすべて削除する [全削除]

1 信号リストで、(ENTER) ボタンを押す。
信号編集コマンド画面が表示されます。

2 (SELECT ◀/▶) ボタンを押して [全削除] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
確認メッセージが表示されます。

3 (SELECT ◀/▶) ボタンを押して [確定] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

注意 ● 信号編集画面で「ロック」した信号は削除されません。

第8章

本体のお手入れ／ランプの交換

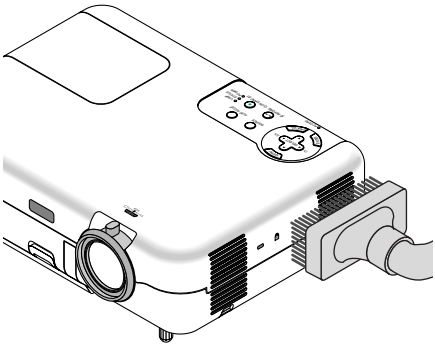
8-1. フィルタの清掃 …… 124
8-2. レンズの清掃 …… 125
8-3. キャビネットの清掃 …… 126
8-4. ランプとフィルタの交換 …… 127

8-1. フィルタの清掃

吸気孔のフィルタはプロジェクタ内部をほこりや汚れから守っています。
フィルタにほこりがたまると、空気のとおりが悪くなり内部の温度が上昇し、故障の原因となりますので、こまめに掃除をしてください。設置場所にもよりますが100時間を目安に掃除をしてください。

1 フィルタを掃除する。

フィルタは本体右側面に2個あります。
電源を切り電源プラグをコンセントから抜きます。
掃除機で吸気口越しにフィルタの清掃を行ってください（フィルタカバーを外す必要はありません）。

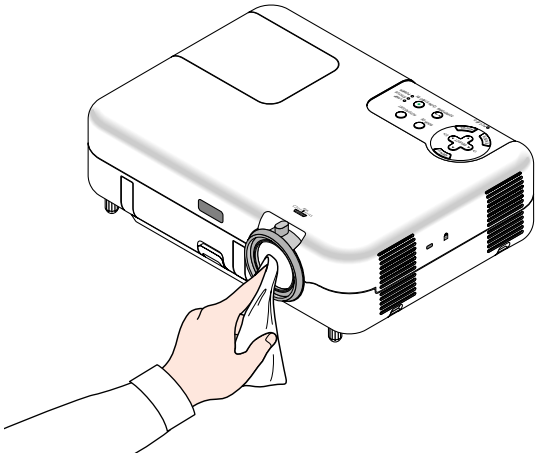


2 フィルタ使用時間をクリアする。

電源プラグをコンセントに差し込み、本体の電源を入れます。
オンスクリーンメニューの［セットアップ］→［ページ5］→［フィルタ使用時間］で「フィルタ使用時間クリア」を実行してください。
（116ページ）

8-2. レンズの清掃

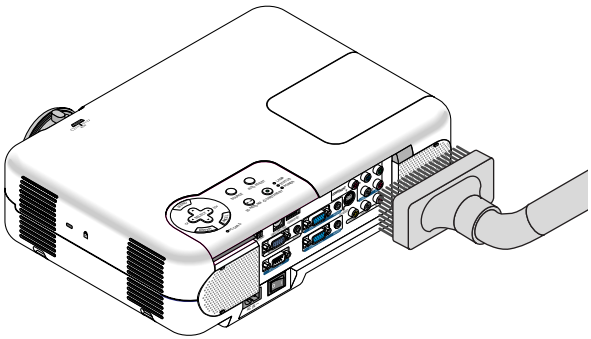
カメラのレンズと同じ方法で（市販のカメラ用ブローワーやメガネ用クリーニングペーパーを使って）クリーニングしてください。その際レンズを傷つけないようにご注意ください。



8-3. キャビネットの清掃

お手入れの前に必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 毛羽立ちの少ない柔らかい乾いた布でふいてください。
  汚れのひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
  化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書に従ってください。
- シンナーやベンジンなどの溶剤でふかないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。
- 通風孔やスピーカ部のほこりを取り除く場合は、掃除機のブラシ付きのアダプタを使用して吸い取ってください。なお、アダプタを付けずに直接当てたり、ノズルアダプタを使用することは避けてください。



正面、側面、背面の通気孔とスピーカ部のほこりを吸い取ります。

- 通風孔にほこりがたまると、空気のとおりが悪くなり内部の温度が上昇し、故障の原因となりますので、こまめに掃除をしてください。設置環境にもよりますが100時間を目安に掃除をしてください。
- キャビネットを爪や硬いもので強くひっかいたり、当てたりしないでください。傷の原因となります。
- 本体内部の掃除については、お買い上げの販売店またはNECプロジェクタ·カスタマサポートセンターにお問い合わせください。

注意

- キャビネットやレンズおよびスクリーンに殺虫剤など揮発性のものをかけたりしないでください。
  また、ゴムやビニール製品などを長時間接触したままにしないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

8-4. ランプとフィルタの交換

光源に使われているランプの使用時間が2000時間（ノーマルモードのみ使用時）を超えるとLAMPインジケータが赤く点滅し、メッセージ「ランプの交換時期です。取扱説明書に従って早めに交換してください。」が画面上に表示されます。
この場合は光源ランプの交換時期ですので、新しいランプと交換してください。
なお、エコモードで使用している割合が多いとランプ寿命が延びます。したがってこの場合ランプ使用時間は延びることになります。現在のランプ使用残量の目安は117ページをご覧ください。

- 交換用ランプは販売店でお求めください。ご注文の際は交換用ランプ形名VT77LPとご指定ください。
- 交換用ランプにはフィルタが添付されていますので、ランプを交換したあとにフィルタも交換してください。
- 指定のネジ以外は外さないでください。
- ランプハウスには、ランプ保護のためガラスが付いています。誤って割らないよう取り扱いには注意してください。
  また、ガラス表面には触れないでください。輝度にかかわる性能劣化の原因となります。
- メッセージが表示されてもなお使用を続けると、ランプが切れることがあります。ランプが切れるときには、大きな音をともなって破裂し、ランプの破片がランプハウス内に散らばります。この場合は、NECプロジェクタ･カスタマサポートセンターまたは販売店に交換を依頼してください。
- ランプ寿命に到達後100時間を超えて使用すると、LAMPインジケータが赤く点灯するとともにスタンバイ状態になり電源が入らなくなります。

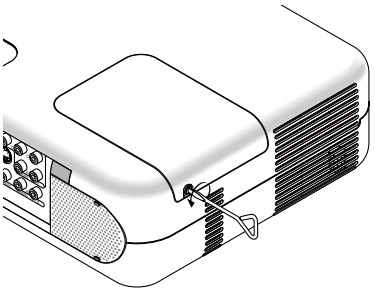
⚠注意	ランプの交換は、電源を切り約10秒間待って、冷却ファン停止後、電源プラグをコンセントから抜き、約60分おいてから行ってください。動作中や停止直後にランプを交換すると高温のため、やけどの原因となることがあります。

ランプの交換

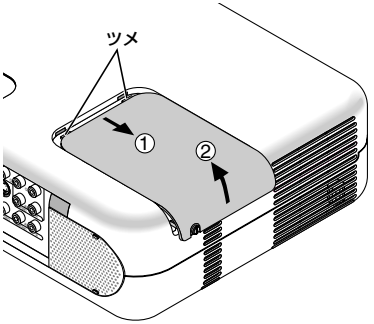
準備：交換用ランプにはマイナスドライバー（1本）を添付しています。添付のマイナスドライバーは、ランプカバーやランプハウスの取り外しに使用します。

1 **ランプカバーを外す。**

❶ランプカバーネジを左に空転するまでゆるめる。
・ネジは外れません。

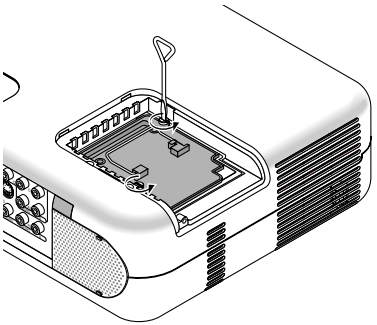


❷ランプカバーを①の方向へツメが外れるまでスライドさせ、②の方向へ持ち上げて外す。

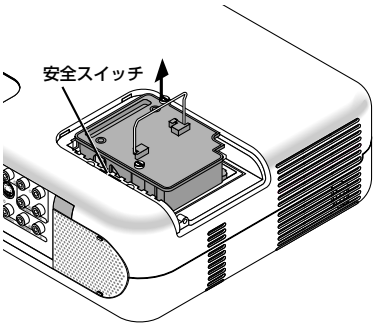


2 ランプハウスを外す。

❶ランプハウス固定のネジ（2箇所）を左に空転するまでゆるめる。
・ネジは外れません。

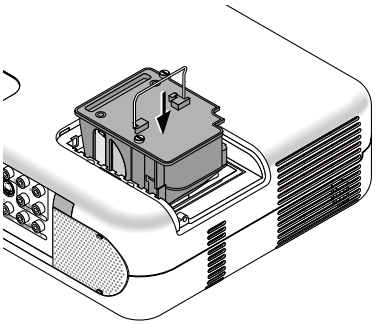


❷ランプハウスの取っ手を持ち上げる。
・本機には安全スイッチが付いています。
安全スイッチには触れないでください。



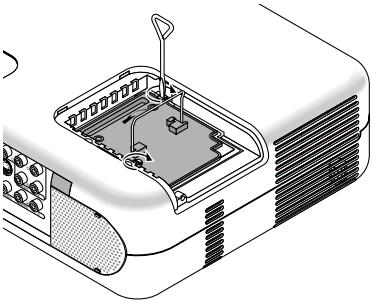
3 新しいランプハウスを取り付ける。

❶ランプハウスを静かに入れる。



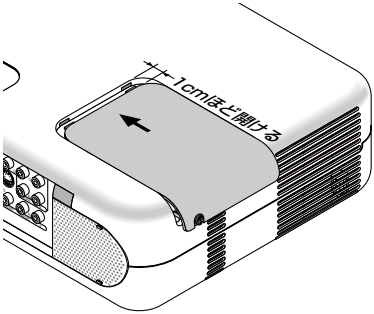
❷ランプハウス固定のネジ（2箇所）を右に回してしめる。
・ネジは確実にしめてください。

❸ランプハウスの取っ手を倒す。

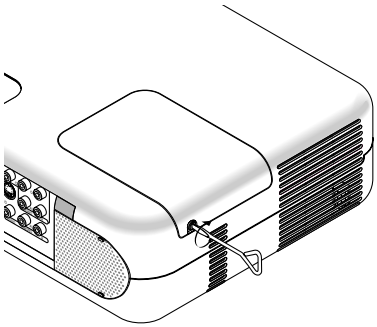


4 ランプカバーを取り付ける。

❶ランプカバーを水平になるよう、1cmほど開けた状態で置き、矢印の方向にスライドさせて閉める。



❷ランプカバーネジを右に回してしめる。
・ネジは確実にしめてください。



5 電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れる。

6 ランプ残量とランプ使用時間をクリアする。

オンスクリーンメニューの［セットアップ］→［ページ5］→［ランプ時間］で、「ランプ時間クリア」を実行してください。（116ページ）
これで、ランプ交換が終わりました。

参考

- ランプ寿命（ノーマルモードのみ使用時2000時間）に到達後100時間を超えて使用すると、電源が入らなくなります。その場合は、スタンバイ状態でリモコンのHELPボタンを10秒以上押すことでランプ残量とランプ使用時間をクリアできます。クリアされたかどうかは、LAMPインジケータが消灯することで確認できます。

フィルタの交換

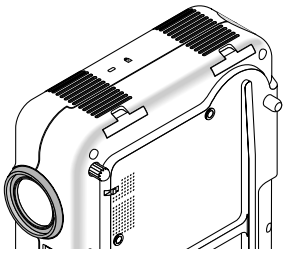
重要

- フィルタを交換するときは、プロジェクタ本体のほこりをよくふき取ってから行ってください。
- プロジェクタは精密機器ですので、内部にほこりが入らないようにご注意ください。
- フィルタは水洗いしないでください。目づまりの原因となります。

準備：先にランプの交換を行ってください。（127ページ）
新しいフィルタ（2枚）をお手元に用意してください。
新しいフィルタ（2枚）は、交換用ランプに添付されています。

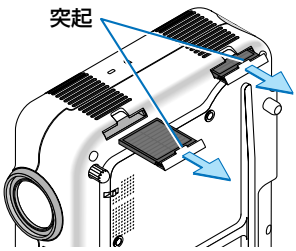
1 フィルタ部分が上になるよう、本体左側面を下にして本体を立てる。

傷を付けないように、柔らかい布などを敷いた上に静かに立ててください。
また、本体が倒れないよう手でしっかりと固定してください。

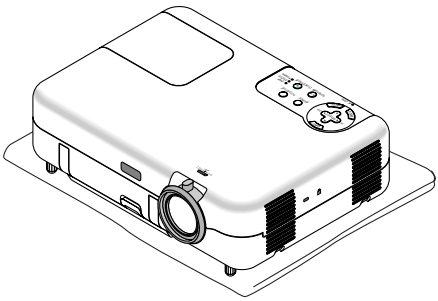


2 突起に指をかけ、矢印の方向にフィルタカバーを引き抜いて外す。

本機にはフィルタカバーが2枚装着されています。2枚とも引き抜いてください。

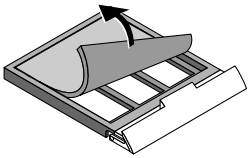


3 本体を水平に戻す。



4 フィルタを交換する。

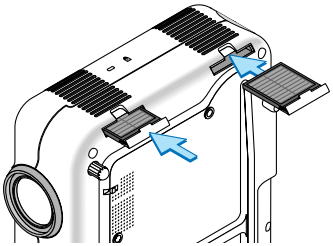
❶ フィルタを外して、フィルタカバーを清掃する。
❷ 新しいフィルタの両面テープをはがし、フィルタカバーに取り付ける。



5 もう一度、本体左側面を下にして本体を立てる。

6 フィルタカバーを取り付ける（2枚とも）。

・「カチッ」と音がしてフィルタカバーが固定されるまで差し込みます。



7 本体を水平位置に戻す。

8 電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れる。

9 フィルタ使用時間をクリアする。

オンスクリーンメニューの［セットアップ］→［ページ5］→［フィルタ使用時間］で、「フィルタ使用時間クリア」を実行してください。
（116ページ）

第9章

付録

故障かな？と思ったら …… 134

インジケータ表示一覧 …… 137

投写距離とスクリーンサイズ …… 139

対応解像度一覧 …… 141

外観図 …… 142

関連商品一覧 …… 143

コンピュータ1, 2映像入力端子の
ピン配列と信号名 …… 143

仕様 …… 144

トラブルチェックシート …… 145

保証と修理サービス（必ずお読みください） … 147

海外でご使用になる場合：トラベルケアのご紹介 … 148

索引 …… 155

ビューライトクラブのご案内 …… 158

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、もう一度接続や設定および操作に間違いがないかご確認ください。それでもなお異常なときはお買い上げの販売店またはNECプロジェクタ･カスタマサポートセンターにお問い合わせください。

現象と確認事項

このようなとき	確認してください	参照ページ
電源が入らない	電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	31ページ
	主電源スイッチは「｜（入）」になっていますか。	35ページ
	ランプカバーが正しく取り付けられていますか。	129ページ
	ランプ寿命を超えて使用していませんか。 新しいランプとフィルタ交換してください。 交換後、本機をスタンバイ状態にして、リモコンの（HELP）ボタンを10秒以上押し続けてください。本機内部で管理しているランプ時間の値がクリアされ電源が入るようになります。	117ページ
	内部温度が高くなっていませんか。内部の温度が異常に高いと保護のため電源は入りません。しばらく待ってから電源を入れてください。	138ページ
使用中に電源が切れる	オンスクリーンメニューの「パワーマネージメント」を「オン」にしていませんか。	114ページ
映像が出ない	接続している入力を選んでいますか。	37ページ
	入力端子のケーブルが正しく接続されていますか。	26ページ～30ページ
	[映像] の明るさ、コントラストが最小になっていませんか。	97ページ
	DVDプレーヤをコンピュータ1または2映像入力端子と接続しているとき、RGB/コンポーネントの選択を行っていますか。	113ページ
	RGB（コンピュータ1,2）入力の場合、標準信号以外の信号が入力されていませんか。	141ページ
	RGB（コンピュータ1,2）入力の場合、画面調整を正しく行っていますか。	44ページ
	パソコンの画面がうまく投写できない場合は、136ページをご覧ください。	—
	各設定が正しく調整・設定されていますか。	95ページ
	それでも解決しない場合は、[リセット] を行ってみてください。	118ページ
	セキュリティが有効になっている場合は、本機の電源を入れたときに、あらかじめ登録しておいたキーワードを入力しないと映像は投写されません。	64ページ
映像が歪む	正しく設置されていますか。	39ページ
	台形状に歪む場合は台形補正を行ってください。	42ページ

映像がぼやける	レンズのフォーカスは合っていますか。	41ページ
	投写画面と本機が正しい角度で設置されていますか。	39ページ
	投写距離がフォーカスの範囲を超えていませんか。	139ページ 140ページ
	レンズなどが結露していませんか。 気温が低い所に保管しておいて温かい所で電源を入れるとレンズや内部の光学部が結露することがあります。このような場合は結露がなくなるまで数分お待ちください。	—
映像が突然暗くなった	次の場合、自動的に［ランプモード］がノーマルモードからエコモードに切り替わります。 ・無信号時にブルーバックまたはブラックバックが表示されたとき。→入力信号を選択し、映像が投写されるとノーマルモードに戻ります。 ・リモコンの(PIC-MUTE)ボタンを押して、映像を一時的に消したとき。→もう一度(PIC-MUTE)ボタンを押して、映像が投写されるとノーマルモードに戻ります。 ・室温が高くなり、本機内部の温度が上昇したとき。 →室温を下げるなどして、本機内部の温度が下がるとノーマルモードに戻ります。	106ページ
映像の画質が悪い	RGB（コンピュータ1,2）の場合は、本体の(AUTO ADJUST)ボタンまたはリモコンの(AUTO ADJ.)ボタンを押してください。	44ページ
水平または垂直方向に映像がずれて正常に表示されない	RGB（コンピュータ1,2）入力の場合、［表示位置（水平、垂直）］を正しく調整しましたか。	103ページ
	RGB（コンピュータ1,2）入力の場合、入力信号が対応している解像度、周波数になっていますか。 パソコンの解像度を確認してください。	141ページ
RGB（コンピュータ1,2）入力で文字がチラついたり色がずれている	オンスクリーンメニューの［クロック周波数］と［位相］を調整してください。	103ページ
リモコンで操作できない	リモコンのリモコン送信部を本体のリモコン受光部に向けていますか。	22ページ
	リモコンの電池が消耗していませんか。新しい電池と交換してください。	22ページ
	リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物がありませんか。	22ページ
	リモコンの有効範囲（7m）を超えていませんか。	22ページ
	(SELECT ▼▲◀▶)ボタン、(CANCEL)ボタン、(ENTER)ボタンで本機を操作するとき、リモコンがプロジェクタモード（(PJ)ボタンが赤く点灯）になっていますか。	48ページ
	オンスクリーンメニューの［リモコン受光部設定］が「オフ」になっていませんか。	115ページ
	本機のリモコンを使って、パソコンのマウス操作を行う場合は、添付のUSBケーブルで、本機とパソコンを接続してください。	54ページ
インジケータが点滅する	インジケータ表示一覧をご覧ください。	137ページ

パソコンの画面がうまく投写できない場合

パソコンを接続して投写する際、うまく投写できない場合は、次のことをご確認ください。

●パソコンの起動のタイミング

パソコンと本機を接続したあとにパソコンを起動してください
特にノートパソコンの場合、接続してからパソコンを起動しないと外部出力信号が出力されないことがあります。

参考

- 本機のオンスクリーンメニューを表示して、[情報]の[水平同期周波数]を確認してください。
  水平同期周波数が「_ _ _」と表示されているときは、パソコンから外部出力信号が出力されていません。（117ページ）

●パソコンの起動後に操作が必要な場合

ノートパソコンの場合、起動したあとに外部出力信号を出力させるため、さらに操作が必要な場合があります（ノートパソコン自身の液晶画面に表示されていても、外部出力信号が出力されているとは限りません）。

参考

- PC98-NXシリーズ、DOS/V対応機（IBM PC/AT 100%互換機）の場合は、[Fn]キー＋[F1]～[F12]キーのいずれか（機種によって異なります）を押します。

●ノートパソコンの同時表示時の外部出力信号が正確ではない場合

ノートパソコンの場合、自身の液晶画面は正常に表示されていても投写された画面が正常ではない場合があります。
多くの場合、ノートパソコンの制限（パソコン自身の液晶画面と外部出力を同時に出力する場合は、標準規格に合った信号を出力できない）によることが考えられます。このときの外部出力信号が、本機で対応可能な信号の範囲から大きく外れている場合、調整を行っても正常に表示されないことがあります。
上記の場合は、ノートパソコンの同時表示をやめ、外部出力のみのモードにする（液晶画面を閉じると、このモードになる場合が多い）操作を行うと、外部出力信号が標準規格に合った信号になることがあります。

●Macintoshを起動させたとき、画面が乱れたり何も表示しない場合

Macintosh用信号アダプタ（市販品）を使って接続したとき、ディップスイッチの設定を、Macintoshおよび本機の対応外の表示モードにした場合、表示が乱れたり、何も表示できなくなることがあります。万一表示できない場合は、ディップスイッチを13インチ固定モードに設定し、Macintoshを再起動してください。そのあと表示可能なモードに変更して、もう一度再起動してください。

●PowerBookと本機を同時に表示させる場合

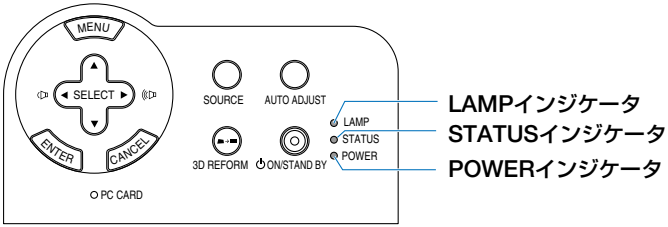
PowerBookディスプレイの「ビデオミラーリング」を「切」にしないと外部出力を1024×768ドットに設定できないことがあります。

●Macintoshの投写画面からフォルダなどが切れている場合

Macintoshに接続していたディスプレイを本機より高い解像度で使用していた場合、本機で投写した画面では、画面の隅にあったアイコンなどが画面からはみ出したり消えたりすることがあります。このような場合は、MacintoshのFinder画面で「option」キーを押した状態で「表示」→「整頓する」を選択してください。はみ出したり消えたりしたアイコンが画面内に移動します。

インジケータ表示一覧

本体操作部の3つのインジケータが点灯、点滅しているときは、以下の説明を確認してください。



●POWERインジケータ

インジケータ表示		本機の状態	行ってください
消灯		主電源OFF	—
点滅	緑色	電源ON準備中	しばらくお待ちください。
	オレンジ色	本体冷却中	しばらくお待ちください。
点灯	緑色	電源ON状態	—
	オレンジ色	スタンバイ状態 (アイドルモード／省電力モード)	—

●STATUSインジケータ

インジケータ表示		本機の状態	行ってください
消灯		異常なし	—
点滅	赤色(1回周期)	カバー異常	ランプカバーが正しく取り付けられていません。正しく取り付けてください。(129ページ)
	赤色(2回周期)	温度異常	温度プロテクタが動作しています。室温が高い場合は、本機を涼しい場所へ移動してください。(138ページ)
	赤色(4回周期)	ファン異常	冷却ファンの回転が停止しています。販売店へ修理を依頼してください。
	赤色(6回周期)	ランプ不点灯	ランプが点灯しません。60秒以上待って再度電源を入れてください。それでも点灯しない場合は販売店にご相談ください。
	緑色	ランプ再点灯処理中	ランプ再点灯処理中(本体冷却中)です。
点灯	オレンジ色	本体キーロック中にボタンを押したとき	本体キーロック中です。操作する場合は、設定を解除する必要があります。(107ページ)
	緑色	アイドルモード	—

●LAMPインジケータ

インジケータ表示		本機の状態	行ってください
消灯		異常なし	—
点滅	赤色	ランプ交換猶予時間中	ランプ残量が0%になり、ランプ交換の猶予時間（100時間）中です。すみやかにランプを交換してください。（127ページ）
点灯	赤色	ランプ使用時間超過	ランプ使用時間を超過しています。ランプを交換するまで本機の電源は入りません。（127ページ）
	緑色	ランプエコモード	—

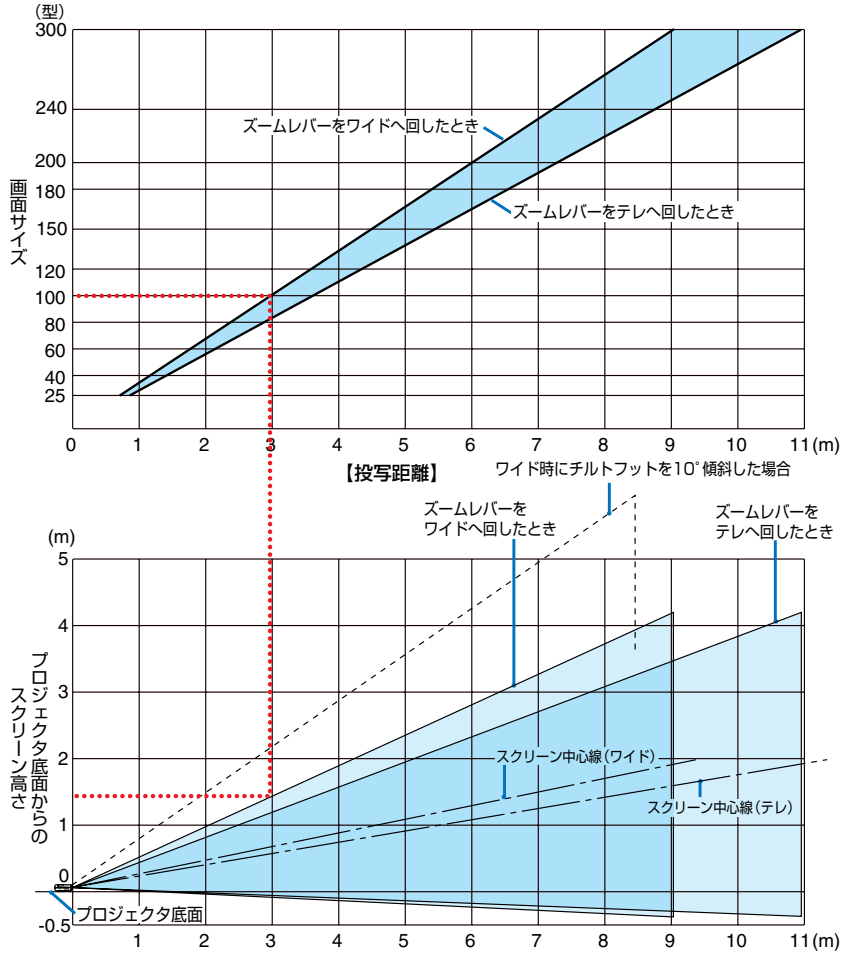
●温度プロテクタが働いたときは

本機内部の温度が異常に高くなると、ランプが消灯し、STATUSインジケータが点滅します（2回点滅の繰り返し）。
同時に本機の「温度プロテクタ」機能が働いて、本機の電源が切れることがあります（この場合インジケータは点灯しません）。
このようなときは、以下のことを行ってください。

- 主電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 周囲の温度が高い場所に置いて使用しているときは、涼しい場所に設置しなおしてください。
- 通風孔にほこりがたまっていたら、掃除してください。（124ページ）
- 本機内部の温度が下がるまで、約60分間そのままにしてください。

投写距離とスクリーンサイズ

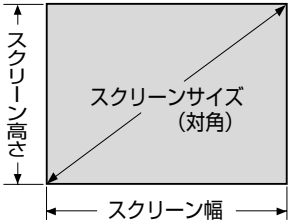
この場所に設置するとどのくらいの画面サイズになるか、どのくらいのスクリーンを用意すればいいのか、また、目的の大きさで映すにはどのくらいの距離が必要かを知りたいときの目安にしてください。
フォーカス（焦点）の合う投写距離は、レンズ前面から0.7m（25型の場合）～11m（300型の場合）です。この範囲で設置してください。



【表のみかた】

100型スクリーンにワイドで映すには表より、3m付近に設置することになります。
また、下の表はプロジェクタ底面からスクリーンの上端までが約1.4m必要となりますので、プロジェクタを置いた台から天井までの高さやスクリーンを設置する高さが確保できるかの目安にお使いください。（図はプロジェクタを水平に調整したとき）チルトフットにより上へ最大約10° 上げることができます。

スクリーンサイズと寸法表

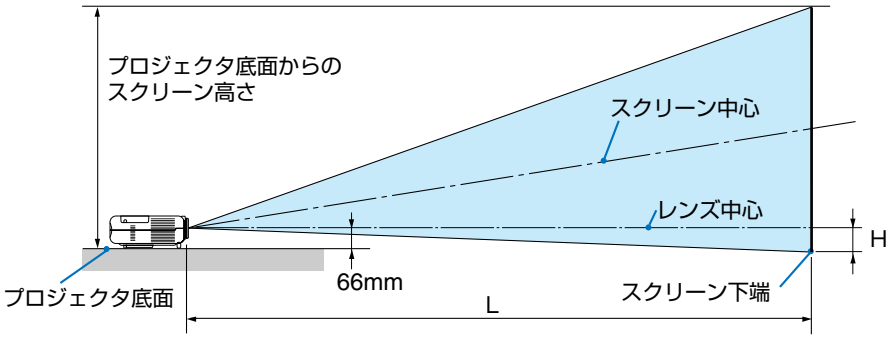


サイズ（型）	スクリーン幅（cm）	スクリーンの高さ（cm）
300	609.6	457.2
240	487.7	365.8
200	406.4	304.8
180	365.8	274.3
150	304.8	228.6
120	243.8	182.9
100	203.2	152.4
80	162.6	122.0
60	121.9	91.4
40	81.3	61.0
30	61.0	45.7

デスクトップの例

下の図はデスクトップで使用するときの例です。
水平投写位置……レンズを中心に左右均等
垂直投写位置……（下表参照）

スクリーンサイズ（型）	投写距離L（m）		プロジェクタ底面からのスクリーン高さ（cm）	寸法H（cm）
	ワイド時	テレ時		
300	9.05	10.96	418.1	45.7
240	7.23	8.76	335.0	36.6
200	6.02	7.29	280.9	30.5
180	5.41	6.56	253.5	27.4
150	4.50	5.46	212.3	22.9
120	3.59	4.36	171.2	18.3
100	2.99	3.62	143.8	15.2
80	2.38	2.89	116.3	12.2
60	1.77	2.16	88.9	9.1
40	1.17	1.42	61.5	6.1
30	0.86	1.05	47.7	4.6



参考

- 設計値のため、±5%の誤差があります。

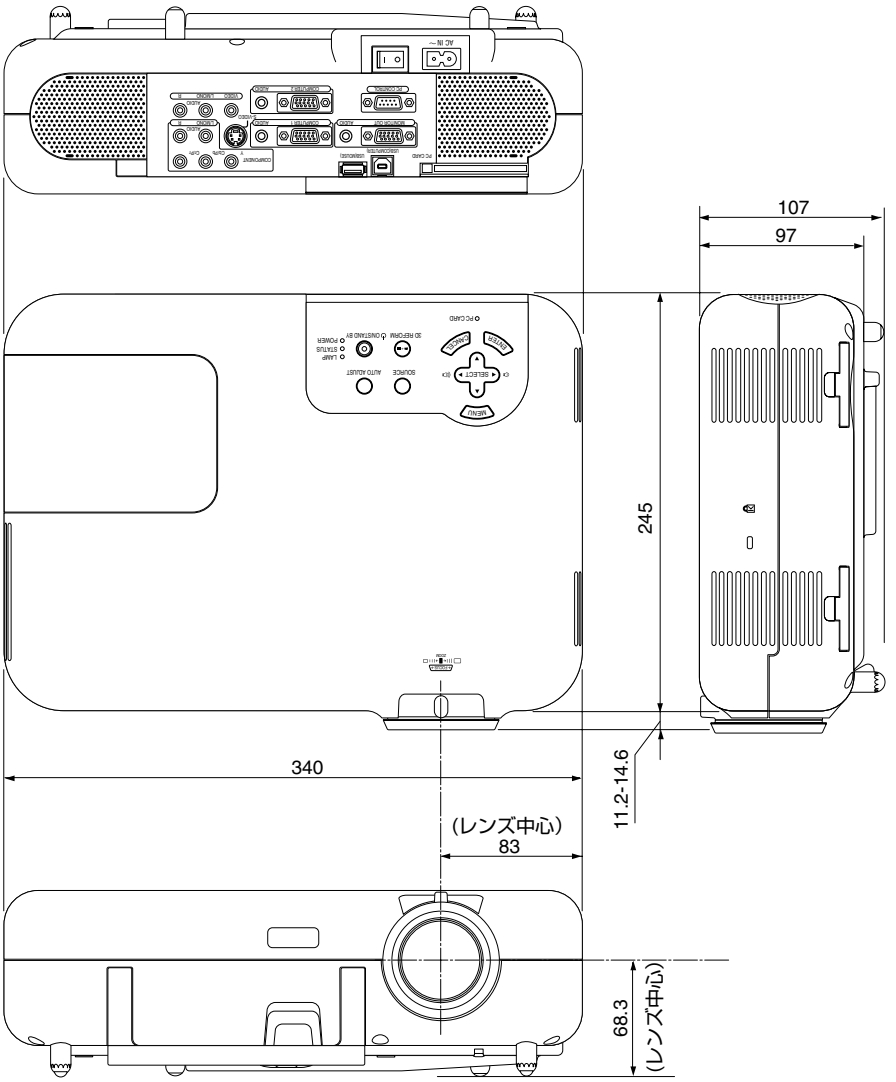
対応解像度一覧

機種		解像度	走査周波数		対応状況
			水平 (kHz)	垂直 (Hz)	
ビデオ	NTSC/PAL60	−	15.734	60.0	◎
	PAL/SECAM	−	15.625	50.0	◎
PC-9800シリーズ		640 × 400	24.8	56.4	◎
		640 × 400	31.5	70.0	◎
		640 × 480	31.5	60.0	◎
		1024 × 768	56.5	70.1	◎
		1024 × 768	60.0	75.0	◎
NEC PC98NXシリーズ IBM PC/AT互換機 DOS/V対応機		640 × 350	37.9	85.1	◎
		640 × 400	31.5	70.0	◎
		640 × 400	37.9	85.1	◎
		640 × 480	31.5	60.0	◎
		640 × 480	37.9	72.8	◎
		640 × 480	37.5	75.0	◎
		640 × 480	39.4	75.0	◎
		640 × 480	43.3	85.0	◎
		720 × 350	31.5	70.1	◎
		720 × 350	39.4	87.6	◎
		720 × 400	39.4	87.6	◎
		800 × 600	35.2	56.3	◎
		800 × 600	37.9	60.3	◎
		800 × 600	46.9	75.0	◎
		800 × 600	48.1	72.2	◎
		800 × 600	53.7	85.1	◎
		1024 × 768	35.5	43.0	◎
		1024 × 768	48.4	60.0	◎
		1024 × 768	56.5	70.1	◎
		1024 × 768	60.0	75.0	◎
		1024 × 768	68.7	85.0	◎
		1152 × 864	54.4	60.1	○
		1152 × 864	67.5	75.0	○
		1280 × 960	60.0	60.0	○
		1280 × 960	85.9	85.0	○
		1280 × 1024	64.0	60.0	○
		1280 × 1024	80.0	75.0	○
		1280 × 1024	91.1	85.0	○
		1400 × 1050	—	—	○
		1600 × 1200*	75.0	60.0	○
		1600 × 1200*	81.3	65.0	○
		1600 × 1200*	87.5	70.0	○
		1600 × 1200*	93.8	75.0	○
Apple Macintosh®		640 × 480	35.0	66.7	◎
		832 × 624	49.7	74.6	◎
		1024 × 768	60.2	74.9	◎
		1152 × 870	68.7	75.1	○
		1280 × 1024	69.9	69.9	○
SUN		1152 × 900	61.8	66.0	○
SGI		1152 × 900	71.7	76.1	○
HDTV	750p (720p)	1280 × 720	45.0	60.0	○
	1125i (1080i)	1920 × 1080	28.1	50.0	○
	1125i (1080i)	1920 × 1080	33.75	60.0	○
SDTV /DVD	525i (480i)	−	15.7	59.9	◎
	525p (480p)	720 × 480	31.5	59.9	◎
	625i (576i)	−	15.6	50.0	◎
	625p (576p)	720 × 576	31.25	50.0	◎

・出荷時はその表示解像度／周波数の標準的な信号に合わせていますが、パソコンの種類によっては調整が必要な場合があります。
・ワークステーションとの接続に関しての詳細は、当社にお問い合わせください。
・コンポジット同期信号などの場合は、正常に表示できない場合があります。
・アドバンスド・アキュブレンド表示の場合、文字や罫線の太さなどが不均一になる場合があります。
＊ U-XGAはセパレート信号のみ対応です。
◎：リアル表示
○：アドバンスド・アキュブレンド対応

外観図

単位：mm

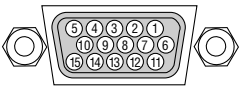


関連商品一覧

商　品　名		形　名
ランプ	交換用ランプ	VT77LP
天吊り金具	天井取付けユニット	VT77CM
スクリーン	100型広視野角スクリーン	VL-S100E
	100型ハイコントラストスクリーン	VL-NS100B
	80型広視野角スクリーン	VL-S80E
	80型ハイコントラストスクリーン	VL-NS80B
	60型広視野角スクリーン	VL-S60E
	60型ハイコントラストスクリーン	VL-NS60B
	60型／80型共通ハイコントラストスクリーンスタンド	VL-NS6080ST
	40型広視野角スクリーン	VL-S40
置き台	専用置き台	VL-T6
スイッチャ	RGB信号入力切替ユニット	VL-SW401
分配器	RGB信号分配ユニット	VL-DA102
資料提示装置	XGAデジタル資料提示装置	DV11J
ケーブル	マルチシンク10mケーブル	VL-CA10MD
	アナログRGB信号ケーブル（2m）	VL-CA02MD
	コンポーネントビデオ接続ケーブル（3m）	VL-CA03V
アダプタ	コンポーネントビデオ変換アダプタ	ADP-CV1
	D端子変換アダプタ	ADP-DT1

コンピュータ1,2 映像入力端子のピン配列と信号名

各ピンの接続と信号レベル



信号レベル

ビデオ信号：0.7Vp-p（アナログ）
同期信号　：TTLレベル

ピン番号	RGB信号（アナログ）	YCbCr 信号
1	赤	Cr
2	緑またはシンクオングリーン	Y
3	青	Cb
4	接　地	
5	接　地	
6	赤　　接　地	Cr　接　地
7	緑　　接　地	Y　接　地
8	青　　接　地	Cb　接　地
9	非接続	
10	同期信号　　接　地	
11	SCART同期入力*1	
12	Bi-directional DATA（SDA）*2	
13	水平またはコンポジット同期	
14	垂直同期	
15	Data Clock*2	

＊1　コンピュータ2映像入力端子（COMPUTER 2）のみ対応
（欧州で使用されているSCARTケーブル用の同期入力です。）
＊2　コンピュータ1映像入力端子（COMPUTER 1）のみ対応
（DDC 2対応）

仕様

	形名		VT770J
	方式		三原色液晶シャッタ投映方式
主要部品仕様	液晶パネル	サイズ	0.8型　MLA付き（アスペクト比 4:3）
		画素数*1	786,432画素（1024ドット×768ライン）
	投写レンズ	ズーム	マニュアル（1.2倍、 f=24.0～28.8mm）
		フォーカス	マニュアル
	光源		200W ACランプ　（ランプエコモード時152W）
	光学装置		ダイクロイックミラーによる光分離･クロスダイクロプリズムによる合成方式
	画面サイズ（投写距離）		25～300型（0.7～11m）
	色再現性		フルカラー1,677万色
	音声出力		5W×2　ステレオスピーカ内蔵
	走査周波数	水平	15～100kHz（RGB入力は24kHz以上）
		垂直	50～120Hz
	調整機能		マニュアルズーム、マニュアルフォーカス 入力信号切替（コンピュータ1/コンピュータ2/コンポーネント/ビデオ/S-ビデオ/ビューワ）、画像自動調整、画面拡大、自動台形補正、画面位置調整、ミュート（映像/音声とも）、電源オン/オフ、オンスクリーン表示/選択（明るさ、コントラスト、カラー*2、色相*2、シャープネス*2）
	最大表示解像度（横×縦）		1600×1200（アドバンスド・アキュブレンドによる表示）
入力信号	R,G,B,H,V		RGB：0.7Vp-p／75Ω 正極性
			Y：1.0Vp-p／75Ω 正極性(With Sync)
			Cb,Cr（Pb, Pr）：0.7Vp-p／75Ω
			H/V Sync：4.0Vp-p／TTL 正極性／負極性
			Composite Sync：4.0Vp-p／TTL 正極性／負極性
			Sync on G：0.3Vp-p／75Ω 負極性
	コンポジットビデオ		75Ω　1.0Vp-p
	S-ビデオ		Y：75Ω　1.0Vp-p
			C：75Ω　0.286Vp-p
	コンポーネント		DTV：1125i（1080i）、750p（720p）、525p（480p）、525i（480i）
			DVDコンポーネントビデオ信号
	音声		22kΩ以上　0.5Vrms
入出力端子	コンピュータ	映像入力	ミニD-Sub 15ピン×2
		映像出力	ミニD-Sub 15ピン×1
		音声入力	ステレオミニジャック×2
		音声出力	ステレオミニジャック×1
	コンポーネント	映像入力	RCA(Y/Cb/Cr)×1
		音声入力	RCA(L/MONO.R)×1
	ビデオ	映像入力	RCA×1
		音声入力	RCA(L/MONO.R)×1
	S-ビデオ	映像入力	ミニDIN 4ピン×1
		音声入力	（ビデオの音声入力と共通）
	USBポート		タイプA×1、タイプB×1
	PCコントロール端子		D-Sub 9ピン×1
	PCカードスロット		TYPEⅡ×1
	水平解像度		NTSC：540TV本
	使用環境		動作温度：0～35℃　　動作湿度：20～80%（ただし結露しないこと）
			保存温度：-10～50℃　　保存湿度：20～80%（ただし結露しないこと）
	電源		AC 100V 50/60Hz*3
	消費電力		ランプノーマルモード時：280W
			ランプエコモード時：225W
	スタンバイ時消費電力		アイドルモード時：9W
			省電力モード時：6W
	定格入力電流		3.2A
	外形寸法		340(幅)×97(高)×245(奥行)mm（突起部含まず）
	質量		約3.6kg

＊1：有効画素数は99.99%です。

＊2：NTSC/PAL/SECAM/ビデオ/コンポーネント入力時のみ調整可能です。

＊3：本製品は経済産業省の「家電汎用品高調波抑制対策ガイドライン」に基づいた適合品です。

●USBポートはUSB規格 Ver.1.1に準拠。

●この仕様･意匠はお断りなく変更することがあります。

トラブルチェックシート

本シートはトラブルに関するお問い合わせの際、迅速に故障箇所を判断させていただくためにご記入をお願いするものです。本書の「故障かな？と思ったら」をご覧いただき、それでもトラブルが回避できない場合、本シートをご活用いただき、具体的な症状をＮＥＣプロジェクタ・カスタマサポートセンターの受付担当者へお伝えください。

※このページと次のページを印刷してお使いください。

発生頻度 □常時 □時々（　　回中　　回） □その他（　　）

電源関係

- □ 電源が入らない（POWERインジケータが緑色に点灯しない）。
  - □ 電源プラグはコンセントにしっかり挿入されている。
  - □ 主電源スイッチは「入」になっている。
  - □ ランプカバーは正しく取り付けられている。
  - □ ランプを交換した場合、ランプ時間をクリアした。
  - □ (POWER)ボタンを2秒以上押しても電源が入らない。
- □ 使用中、電源が切れる。
  - □ 電源プラグはコンセントにしっかり挿入されている。
  - □ ランプカバーは正しく取り付けられている。
  - □ パワーマネージメント機能のある機種においてパワーマネージメントは「動作」に設定されている。

映像・音声関係

- □ パソコンの画面が投写されない。
  - □ パソコンと本機を接続したあとにパソコンを起動してもなおらない。
  - □ ノートパソコンにおいて外部出力信号が出力されている。

    PC98-NXシリーズ、DOS/V対応機の場合は、[fn]キー+[F1]～[F12]キーのいずれかを押すと外部出力信号が出力されます（パソコンによって異なります）。
- □ 映像が出ない（ブルーバック ・ ロゴ ・ 表示なし）。
  - □ (AUTO ADJUST) ボタンを押してもなおらない。
  - □ ［リセット］を実行してもなおらない。
  - □ 入力端子にケーブルが、しっかり挿入されている。
  - □ 画面に何かメッセージが出ている。（　　）
  - □ 接続している入力を選択している。
  - □ 明るさ・コントラストを調整してもなおらない。
  - □ 入力は対応している解像度・周波数の信号である。
- □ 映像が暗い。
  - □ 明るさ・コントラストを調整してもなおらない。
- □ 映像が歪む。
  - □ 台形に歪む（台形補正を実行してもなおらない）。
- □ 映像が切れる。
  - □ (AUTO ADJUST)ボタンを押してもなおらない。
  - □ ［リセット］を実行してもなおらない。
  - □ 水平または垂直方向に映像がずれる。
  - □ コンピュータ映像入力の場合、水平位置・垂直位置は正しく調整されている。
  - □ 入力は対応している解像度・周波数の信号である。
  - □ 数ドット欠けている。
- □ 映像がチラつく。
  - □ (AUTO ADJUST)ボタンを押してもなおらない。
  - □ ［リセット］を実行してもなおらない。
  - □ コンピュータ映像入力で文字がチラついたり、色がずれている。
- □ 映像がぼやける・フォーカスが合わない。
- □ 音声が出ない。
  - □ 音声入力端子にケーブルが、しっかり挿入されている。
  - □ 音量を調整してもなおらない。

その他

- □ リモコンが効かない。
  - □ リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物はない。
  - □ 蛍光灯の近くに本体が設置されている。
  - □ リモコン受光部設定のある機種においてリモコン受光部設定は「有効」に設定されている。
- □ 本体操作パネルのボタンが効かない。
  ［本体キーロック］設定のある機種において
  - □ 本体キーロック設定は「非動作」または「無効」に設定されている。
  - □ 本体の(CANCEL)ボタンを10秒以上押してもなおらない。

症状を具体的に記入してください。

使用状況・環境

プロジェクタ

形名：**VT770J**

製造番号：

購入時期：

ランプ使用時間：

ランプモード：□ノーマル　□エコ

入力信号情報：

水平同期周波数　[kHz]

垂直同期周波数　[Hz]

同期極性　H □(+) □(−)

V □(+) □(−)

同期形態　□セパレート　□コンポジット

□シンク オン グリーン

STATUSインジケータの状態

点灯（オレンジ・緑）

点滅（　回周期）

設置環境

スクリーンサイズ：　型

タイプ：□ホワイトマット　□ビーズ　□偏光

□広視野角　□ハイコントラスト

投写距離：　m

投写方法：□天吊り　□床置き

電源コンセントは？

□壁からのコンセントを直接利用している。

□電源用テーブルタップを利用している。

（他、接続機器の数：　台）

□電源ドラム（ロール式）を利用している。

（他、接続機器の数：　台）

コンピュータ

メーカー：

形名：

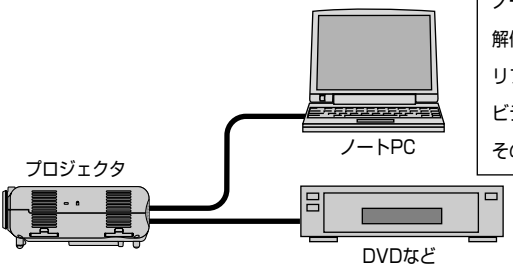
ノートＰＣ・デスクトップ一体型

解像度：

リフレッシュレート：

ビデオボード：

その他：



信号ケーブル

純正・その他
（形名：　長さ：　m）

分配器
形名：

スイッチャ
形名：

アダプタ
形名：

接続機器

ビデオ・ＤＶＤ・カメラ・ゲーム・その他

メーカー：

形名：

保証と修理サービス（必ずお読みください）

保証書

この商品には、保証書を別途添付しております。
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと大切に保存してください。

●保証期間

本体：お買い上げ日から1年間です。
ただし、本体に付属のランプは6か月間です。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、このプロジェクタの補修用性能部品を製造打切後、最低8年保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご質問は

製品の故障、修理に関するご質問はお買い上げの販売店またはNECプロジェクタ・カスタマサポートセンターにお願いいたします。

修理を依頼されるときは

「故障かな？と思ったら」（134ページ）に従って調べていただき、あわせて「トラブルチェックシート」（145、146ページ）で現象を確認してください。
その上でなお異常があるときは、電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店またはNECプロジェクタ・カスタマサポートセンターにご連絡ください。

●保証期間は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　　名	投映型フルカラープロジェクタ
形　　名	VT770J
お買い上げ日	年　　月　　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	付近の目印なども合わせてお知らせください。
お　名　前	
電話番号	
訪問ご希望日	

べんり メモ	お買い上げ 店名	☎（　　）　　－

●保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み

- 技術料
  故障した製品を正常に修復するための料金です。
  技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
  ＋
- 部品代
  修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
  ＋
- 引取費用
  製品を引き取りするための費用です。

海外でご使用になる場合:トラベルケアのご紹介

この商品には、NECビューテクノロジーの国際保証「トラベルケア」が適用されています。
なお、このトラベルケアの内容は、お買い上げ時に、本機に添付された保証書の記載内容とは一部異なります。

トラベルケアで受けられるサービス

本保証では、出張や旅行などの理由により一時的に海外に本機を持ち出した場合につき、本書に記載された国のNECビューテクノロジー指定サービスステーションで下記のサービスを受けることができます。
本サービスをご利用の際は、本書記載のトラベルケア窓口リストの各サービスステーションに電話もしくはEメールにてご連絡いただいたあと、巻末に添付されている申し込み用紙"Application Sheet for TravelCare Service Program" に必要事項をご記入のうえ、FAX にて送信してください。
各サービスステーションのサービス内容については、トラベルケア窓口リストにてご確認ください。

1 修理サービス

輸送期間を除く、実働10日以内に修理してお届けいたします。
保証期間内の場合は、保守部品代、修理工賃、および各サービスステーションの対応地域内のお届けにかかる輸送費が保証範囲です。

2 代替機貸出サービス

お客様の製品修理の間、ご希望があれば有償にて代替機を貸し出しいたします。
料金：12日間US$ 200 −
料金は、現地のサービスステーションにて現金またはクレジットカードにてお支払いください。
代替機は、実働3日以内にお届けいたします。
ただし、本サービスが受けられない国または地域がございますので、トラベルケア窓口リストにてご確認ください。
また、保証期間を経過している場合は、代替機貸出サービスは受けられません。

輸出に関する注意事項

本製品の輸出（個人による携行を含む）については、日本国および外国の法に基づいて許可が必要となる場合があります。
必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。
輸出に際しての許可の要否については、NECプロジェクタ･カスタマサポートセンター（150ページ）にお問い合わせください。

保証期間

1 a お買い上げ時の保証書またはレシートをご提示いただいた場合：

保証書に記載された期間、もしくはご購入された国の通常の保証期間まで有効。

b 本機のみ持ち込まれた場合：

本機に貼付されている製造番号（SERIAL NO.）の製造年月より14 か月以内。

2 保証期間を経過した製品を持ち込まれた場合：

有償にて修理対応いたします。ただし、代替機貸出サービスは受けることはできません。

3 次のような場合には、保証期間中でも有償修理になる場合があります。

1 ） 保証書に、お買い上げ日、形名、および製造番号（SERIAL NO.）、販売店名の記入のない場合、または字句を書き変えられた場合。
2 ） お客様による輸送、移動時の落下、衝撃等お客様の取り扱いが適正でないために生じた故障、損傷の場合。
3 ） お客様による使用上の誤り、あるいは不当な改造、修理による故障および損傷。
4 ） 火災、塩害、ガス害、地震、落雷、および風水害、その他天災地変、あるいは異常電圧などの外部要因に起因する故障および損傷。
5 ） 高温・多湿の場所、車輌、船舶等で使用された場合に生ずる故障および損傷。
6 ） 本機に接続している当社指定以外の機器および消耗品に起因する故障および損傷。
7 ） 正常なご使用状態のもとで部品が自然消耗、磨耗、劣化により故障した場合。
8 ） ランプ等の消耗品、および添付品、オプション品が故障および損傷した場合。
9 ） その他、本機に添付された保証書の保証規定が適用されます。

⚠注意	海外でご使用になる場合は、使用する国の規格・電源電圧に適合する電源コードを使用することにより100-240Vで使用可能です。 使用する国の規格・電源電圧に適合する電源コードを必ず使用してください。 詳細に関しては、NECプロジェクタ・カスタマサポートセンター（次ページ参照）までお問い合わせください。

トラベルケア窓口リスト

このリストは、2003年10月1日現在のものです。
最新の連絡先に関しては、トラベルケア窓口リストに記載されている各国のサービスステーションのホームページもしくは当社**ViewLight CLUB ホームページhttp://www.nevt.co.jp/vlclub/**をご覧ください。
また、詳細に関しては、NECプロジェクタ・カスタマサポートセンターまでお問い合わせください。
NECプロジェクタ･カスタマサポートセンター　0120-610-161
（受付 9:00～12:00、13:00～17:00、土･日･祝祭日、および当社指定日は除く）

〔欧州〕In Europe

NEC Europe, Ltd. / European Technical Centre
Address: Unit G, Stafford Park 12, Telford TF3 3BJ, U.K.
Telephone: +44 1952 237000
Fax Line: +44 1952 237006
Email Address: AFR@uk.neceur.com
WEB Address: http://www.neceur.com
（対応地域） <Regions Covered>
EU: Austria *, Belgium *, Denmark *, Finland *, France *, Germany *, Greece *, Ireland *, Italy *, Luxembourg *, The Netherlands *,Portugal *, Spain *, Sweden * and the United Kingdom *
EEA: Norway *, Iceland and Liechtenstein

〔北米〕In North America

NEC Solutions (America), Inc.
Address: 1250 Arlington Heights Road, Itasca, Illinois 60143, U.S.A.
Telephone: +1 800 836 0655
Fax Line: +1 800 356 2415
Email Address: vsd.tech-support@necsam.com
WEB Address: http://www.necvisualsystems.com
（対応地域） <Regions Covered>
U.S.A. *, Canada *

〔大洋州〕In Oceania

NEC Australia Pty., Ltd.
Address: 84A Richmond Road, Keswick SA 5035, Australia
Telephone: 13 16 32 （オーストラリア国内からかける場合）
61 8 8375 5706 （オーストラリア国外からかける場合）
Fax Line: 61 8 8375 5757
Email Address: lee.gramola@nec.com.au
WEB Address: http://www.nec.com.au
（対応地域） <Regions Covered>
Australia *, New Zealand

＊：代替機貸出サービスが受けられます。

〔アジア・中近東〕In Asia and Middle East

NEC Hong Kong Ltd.
Address: 11th Floor, Tower B, New Mandarin Plaza, 14 Science Museum Road, Tsim Sha Tsui East, Kowloon,Hong Kong
Telephone: +852 2369 0335
Fax Line: +852 2795 6618
Email Address: esmond_au@nechk.nec.com.hk
WEB Address: http://www.nec.com.hk
（対応地域） <Regions Covered>
Hong Kong

NEC Taiwan Ltd.
Address: 7F, No.167, SEC.2, Nan King East Road, Taipei, Taiwan, R.O.C.
Telephone: +886 2 8500 1734
Fax Line: +886 2 8500 1420
Email Address: weblord@nec.com.tw
WEB Address: http://www.nec.com.tw
（対応地域） <Regions Covered>
Taiwan

NEC Solutions Asia Pacific Pte. Ltd
Address: 401 Commonwealth Drive, #07-02, Haw Par Technocentre, Singapore 149598
Telephone: +65 6 273 8333
Fax Line: +65 6 274 2226
Email Address: tehgh@rsc.ap.nec.com.sg
WEB Address: http://www.nec.com.sg/ap
（対応地域） <Regions Covered>
Singapore

Nautilus Hyosung Inc.
Address: 7th Floor, Cheongdam Building, 52, Cheongdam-Dong, Kangnam-Ku, Seoul, Korea 135-100
Telephone: +82 2 510 0234
Fax Line: +82 2 540 3584
Email Address: hds-ykc@hyosung.com
（対応地域） <Regions Covered>
South Korea

Lenso Communication Co., Ltd.
Address: 292 Lenso House 4, 1st Floor, Srinakarin Road, Huamark, Bangkapi, Bangkok 10240, Thailand
Telephone: +66 2 375 2425
Fax Line: +66 2 375 2434
Email Address: pattara@lenso.com
WEB Address: http://www.lenso.com
（対応地域） <Regions Covered>
Thailand

ABBA Electronics L.L.C.
Address: Tariq Bin Ziyad Road, P.O.Box 327, Dubai, United Arab Emirates
Telephone: +971 4 371800
Fax Line: +971 4 364283
Email Address: ABBA@emirates.net.ae
（対応地域） <Regions Covered>
United Arab Emirates

Samir Photographic Supplies
Address: P.O.Box 599, Jeddah 21421, Saudi Arabia
Telephone: +966 2 6828219
Fax Line: +966 2 6830820
Email Address: vartkes@samir-photo.com
（対応地域） <Regions Covered>
Saudi Arabia

Date: / / , P-1 / ,

TO: NEC Viewtechnology's Authorized Service Station:

FM:

(Company & Name with signature)

Dear Sir (s),

I would like to apply your TravelCare Service Program and agree with your following conditions, and also the Service fee will be charged to my credit card account, if I don't return the Loan units within the specified period. I also confirm the following information is correct.

Regards.

Application Sheet for TravelCare Service Program

Country, product purchased:	
User's Company Name:	
User's Company Address: Phone No., Fax No.:	
User's Name:	
User's Address: Phone No., Fax No.:	
Local Contact office:	
Local Contact office Address: Phone No., Fax No.:	
User's Model Name:	
Date of Purchase:	
Serial No. on cabinet:	
Problem of units per User:	
Required Service:	(1) Repair and Return (2) Loan unit
Requested period of Loan unit:	
Payment method:	(1) Credit Card (2) Travelers Cheque (3) Cash
In Case of Credit Card: Card No. w/Valid Date:	

Condition of your TravelCare Service Program

Enduser is requested to understand the following conditions of TravelCare Service Program and fill necessary information into the application sheet.

1. Service Options:

There are 3 types of "Service" available. Enduser has to understand the following conditions and is required to fill in the Application sheet.

(1). Repair and Return:

The 'Faulty unit' is sent or collected from the customer. It is repaired and returned within 10 days to the customer, excluding transport time.

There may have a case, repair and return can't be done by Local Service Station, because of shortage of spare parts due to same model is not sold in the territory.

(2). Repair and Return with Loan: (This service is limited to some Service Stations)

This service is offered to the Enduser, who cannot wait until their unit is repaired. The customer can borrow a unit for $200 up to 12 days. Customer then sends in inoperable unit to nearest NEC Viewtechnology's Authorised Service Station for service. In order to prevent collection problem, Enduser is required to fill in Application Sheet.

Enduser needs to confirm the availability of the Service to Local Service Stations.

(3). Loan Only:

For this service, the local NEC Viewtechnology's Authorised Service Station supplies the customer with a loan unit for U$200 up to 12 days. Customer keeps the inoperable unit and when customer returns home, customer arranges to have the projector serviced in the home country.

2. Warranty Exclusions:

This program does not apply if the Projector's serial number has been defaced, modified or removed.

If, in the judgement of the NEC Viewtechnology's Authorised Service Station or its agent the defects or failures result from any cause other than fair wear and tear or NEC Viewtechnology's neglect, or fault including the following without limitation:

1) Accidents, transportation, neglect, misuse, abuse, water, dust, smoke or default of or by the Customer its employees or agents or any third party;
2) Failure or fluctuation of electrical power, electrical circuitry, air conditioning, humidity control or other environmental conditions such as use it in smoking area;
3) Any fault in the attachments or associated products or components (whether or not supplied by NEC Viewtechnology or its agents which do not form part of the Product covered by this warranty);
4) Any act of God, fire, flood, war, act of violence or any similar occurrence;
5) Any attempt by any person other than any person authorised by NEC Viewtechnology to adjust, modify, repair, install or service the product.
6) Any Cross-border charges such as, duty, insurance, tax etc.

3. Charges for Warranty Exclusions and Out of Warranty Case:

In case faulty unit is under warranty exclusions case or under Out of Warranty period, Local Service Station will Inform estimation of actual service cost to the Enduser with reason.

4. Dead on Arrival (DOA):

Enduser must take this issue up with their original supplier in the country of purchase.

Local Service Station will repair the DOA unit as a Warranty repair, but will not exchange DOA unit with new units.

5. Loan Service Charges and Conditions:

Upon acceptance of this NEC Projector, Customer agrees to assume liability for this "loan" replacement unit.

The current cost of use of this loan unit is $200.00 USD for 12 calendar days.

If Customer does not return the unit within the 12 calendar days, Customer will be charged the next highest cost up to and including the full list price to Credit Cards, which price will be informed by NEC Viewtechnology's Authorized Service Stations.

Please see the attached listing of contacts for each country to arrange for pickup of the 'loan' unit.

If you return to their country of origin with the 'loan' unit, you will be charged additional freight to return the unit to the loaning country.

Thank you for your understanding of this program.

索引

数字／アルファベット

3D Y/C分離 100
4点補正 56, 107
AC IN 端子 17, 31
CD-ROM 15
Dynamic Image Utility 2.0 86
I/P変換 101
LAMPインジケータ 18, 138
PCカードアクセスインジケータ 18, 72
PCカードスロット 19, 72
PCカード取り出しボタン 72
POWERインジケータ 18, 35
RGB信号ケーブル 15, 26
sRGB 98
STATUSインジケータ 18, 137
S-ビデオモード 113
USBケーブル 15, 54
USBマウス 53
USBメモリ 67
USBメモリカードリーダー 67
User Supportware CD-ROM 15, 81
Viewer PPT Converter 2.0 87
Y/Cディレイ 100

五十音

【ア行】
アイドルモード 115
明るさ 97
アスペクト 102
アドバンスド・アキュブレンド 38
色温度 99
色補正 99
英数字の入力方法 93
映像 97
エコモード 106, 117
オートスタート 115
オーバースキャン 104
オンスクリーンメニュー 90
音声 101
温度プロテクタ 138
音量 44, 101

【カ行】
拡大 51
画像 102
画素調整 103
壁色補正 99
カラー 97
カラー方式 113
カラーマトリクス 100
ガンマ補正 98
キーワード 62
キャプチャ 60
キャリングハンドル 16
吸気口 17
強制エコモード 106
コントラスト 97

【サ行】
サムネイル画面 73
参照 98
色相 97
自動調整 44
シャープネス 97
主電源スイッチ 17, 35, 45
省電力モード 115
情報 117
信号形式 97
信号選択 113
信号リスト 119
垂直輪郭補正 101
ズームレバー 16, 41
スクエアショット 39
スクリーンサイズ 25, 139
スクリーン設定 105
スクロールホイール 54, 58
スクロールボタン 54, 58
スタンバイモード 115
スピーカ 17, 44
スライド画面 73
スライドショウ 76
スリープタイマー 108
静止画 49
セキュリティ 62, 109

接続端子部 17, 19
セットアップ 105
ソフトキャリングケース 15

【タ行】
台形歪み 42, 56
台形補正 107
ダミーカード 72
単 3 乾電池 15, 22
調整 97
チョークボード 58, 116
チルトフット 16, 40
チルトボタン 16, 40
通信 116
電源オフ確認メッセージ 114
電源コード 15, 31
投写距離 25, 139
投写方法 105
盗難防止用ロック 17

【ナ行】
ノイズリダクション 100
ノーマルモード 106, 117

【ハ行】
排気口 16
パスワード（ロゴ） 108
パソコンモード 48
バックグラウンド 112
パワーマネージメント 114
ビデオ 100
ビューワ 69
表示位置 103, 105
表示言語 106
表示項目選択 114
表示時間 112
ファンモード 115
フィルタ 17, 124
フィルタ使用時間 116
フィルタの交換 130
フォーカスリング 16, 41
フラッシュメモリカード 71
プリセット 98
プロジェクタモード 48
ヘルプ 52, 86
ポインタ 50, 116
ホワイトバランス 99
本体キーロック 107
本体操作部 16, 18

【マ行】
マウス設定 116
メニュー表示色選択 114
モニタ出力 113

【ラ行】
ランプカバー 16, 127
ランプカバーネジ 16, 127
ランプ時間 116
ランプ使用時間 117
ランプの交換 127
ランプモード 106
リセット 118
リモコン 15, 20
リモコン受光部 22
リモコン受光部設定 115
レンズ 16
レンズキャップ 16
ロゴ 76, 108, 112

輸出に関する注意事項

本製品の輸出（個人による携行を含む）については、日本国および外国の法に基づいて許可が必要となる場合があります。
必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。
輸出に際しての許可の要否については、NECプロジェクタ･カスタマサポートセンター（裏表紙）にお問い合わせください。

投映型フルカラープロジェクタ
VT770J
取扱説明書

2004年1月　2版

NECビューテクノロジー株式会社

© NEC Viewtechnology, Ltd. 2003－2004
NECビューテクノロジー株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

もう入会はお済みですか？

ビューライトクラブ

ViewLight CLUB

インターネット上に ***ViewLight CLUB*** のホームページを設けています。

http://www.nevt.co.jp/vlclub/

お問い合わせは	NECプロジェクタ・カスタマサポートセンター **0120-610-161** 受付　9:00～12:00　　13:00～17:00 （土･日･祝祭日、および当社指定日は除く）

NECビューテクノロジー株式会社

第二販売推進本部

〒108-0014　東京都港区芝五丁目37番8号　住友三田ビル

TEL（03）5232－6148（ダイヤルイン）